

参 考 资 料

◆用語解説

【あ】

一木割知造り（いちぼくわりはぎづくり：p 45）木彫の造像技法の一種で、一木からある程度彫り出した像に鑿を入れて前後または左右に木目に沿って割り、^{よせぎづくり}寄木造と同程度の内割を施してからふたたびこれを矧ぎ合わせて仕上げる技法。結果、単なる一木造と比較すると重量も軽くなる。

円空（えんくう：p 46）江戸前期の僧で、中部地方を中心に北海道から近畿に至る地域を遍歴し、多数の粗削りの木彫仏を残した。これらの木彫仏は円空仏と呼ばれる。

黄檗宗（おうばくしゅう：p 45）^{そうとうしゅう りんざいしゅう}曹洞宗、臨済宗と並んで、日本三禅宗の一つに数えられる。中国臨済宗の一派で明の黄檗山万福寺の^{まんぶくじ いんげん}隠元が1654年に来日し、京都の宇治に黄檗山万福寺を建立して広めた宗派である。

大津百艘船（おおつひやくそうせん：p 39）豊臣秀吉が天正14～15年（1586～87）に坂本城を大津に移して大津城とし、あわせて大津を北陸・東国から京都・大坂へ運ばれる物資輸送の拠点とした。そこで、大津から運び出される物資と人の輸送を独占する特権を与えることで、坂本・堅田・木浜の船持ちを大津に集め、組織した船持仲間が大津百艘船である。近世の琵琶湖水運の中心的役割を担った。

【か】

崖錐堆積物（がいすいたいせきぶつ：p 20）崖錐とは急崖や急斜面上の風化岩片が落下して形成された地形で、崖錐堆積物は未固結で侵食に弱く透水性が高いために、土砂崩れや地滑りを起こしやすい。

カルスト地形（p 17）石灰岩台地で、鋸歯状の地形（カレンフェルト）、すり鉢状の地形（ドリーネ）・石灰洞などが発達する特有の地形。これらは石灰岩の表面が溶解浸食を受けやすいことや雨水が割れ目に沿ってしみこむことで周囲の岩石が溶解しやすいことが原因となることができる。

カレンフェルト（p 58）石灰岩地帯の地表部において、石灰岩の節理や断層に沿って溶食が進むことで岩柱が形成され、それが林立している地形を指す。

群集墳（ぐんしゅうふん：p 34）古墳時代後期に1～2km四方程度の非常に限られた範囲に数十基から場合によっては百基を超える古墳が密集して築かれる古墳群を呼ぶ。直径10～30mの円墳が多く、内部主体はほとんどが横穴式石室であることが多い。

溪口部（けいこうぶ：p 20） 河川が山地から平地に出る谷口部付近を指す。

国府型ナイフ（こうがたないふ：p 32） 特殊な剥片（翼状剥片^{よくじょうはくへん}）を連続して作り出す技法（瀬戸内技法）によって得られた剥片を素材とするナイフ形石器を指す。

硬水（こうすい：p 23） 水 1000ml 中に溶けているカルシウムとマグネシウムの量を表わした数値を「硬度」といい、カルシウム・マグネシウムを比較的多く溶解・含有している天然水を指す。硬度 0～60mg/l を軟水、60～120mg/l を中程度の軟水、120～180 mg / l を硬水、180mg/l 以上を非常な硬水に分けられている。水道水の硬度は 60mg/l 前後で中程度の軟水であることが多い。

後背湿地（こうはいしっち：p 19） 河川は洪水時に流路の両側に砂などを細長く堆積させて自然堤防を形成する。この自然堤防の外側の粘土などが堆積し、自然堤防に妨げられているため水はけが悪く、乾燥し難い土地を指す。日本では古くから水田となっているところが多い。

五間堂（ごけんどう：p 43） 常行堂を手本として、三間の母屋に四面の庇を廻らしているので、三間四面庇の堂となる。これを五間堂と呼ぶ。

木の葉形尖頭器（このはがたせんとうき：p 32） 概ね木の葉形に薄く仕上げられた尖頭部を有する石器。槍先形尖頭器と呼ぶこともある。後期旧石器時代後半に登場する。

【さ】

三角州（さんかくす：p 17） 河川が運搬した土砂が、河口部に沈積して生じた、ほぼ三角形を呈する土地を指す。

修験道（しゅげんどう：p 36） 役小角^{えんのおすぬ}を祖と仰ぐ日本仏教の一派。日本古来の山岳信仰に基づくもので、山中での修行によって呪力を獲得することを目的としていた。

守護（しゅご：p 37） 鎌倉・室町幕府の職名。元来は、源頼朝が勅許に基づいて国々に配置した軍事的・行政的な役割を担った地方官であったが、次第に任国を領国化していったことにより守護大名と呼ばれるようになった。

石槨（せきかく：p 34） 石を積み上げて造られた埋葬施設。古墳時代前期から中期は竪穴式石室、後期になると横穴式石室に変化する。

扇状地堆積物（せんじょうちたいせきぶつ：p 19） 山から平野あるいは盆地に移り変わる地域に形成されるのが扇状地である。扇状地を構成する河川が運んだ大量の砂礫や土砂

によってできた厚い礫層が扇状地堆積物である。扇状地では河川が伏流することもあり、扇端部ではしばしば湧水が見られる。

【た】

対面所（たいめんじょ：p 45） 室町時代以降、武家屋敷や寺院などで接客に用いた表座敷を指す。

断層破碎帯（だんそうはさいたい：p 20） 断層運動により、地層あるいは岩石が粉々に砕かれたものが一定の幅を持ち、一定の方向に伸びている場所を破碎帯という。

地理的表示保護制度（ちりてきひょうじほごせいどーG I：p 28） 「特定農林水産物等の名称の保護に関する法律」（地理的表示法：平成 26 年法律第 84 号）に基づき、伝統的な生産方法や気候・風土・土壌などの生産地の特徴が品質等の特性に結びついている製品の名称を、知的財産として農林水産大臣が登録し、保護する制度。これにより、生産団体や販売者等がG I マークを使用することができ、製品のブランド価値を高め、保護することができる。

ドリーネ（p 58） 石灰岩地域にあるすり鉢状の凹地を指す。このすり鉢状の凹地は、石灰岩の割れ目に沿って集中的に雨水などによる浸食が進むことで形成される。

【な】

内湖（ないこ：p 20） 琵琶湖沿岸では、本来琵琶湖の一部であった水域が沿岸漂砂や河川から運ばれた土砂の堆積により、水路の一部分以外が琵琶湖と隔てられた水域を指す。琵琶湖湖岸の内（陸）側に生じた池、沼、沢、クリークと呼ばれているものの総称である。

能煩野（のぼの：p 35） 三重県亀山市東部から鈴鹿市西部にかけて広がる鈴鹿川北岸の洪積台地の古称である。

狼煙（のろし：p 77） 戦時、非常時の緊急連絡のための合図として、高く上げる煙を指す。

【は】

浜堤（ひんてい：p 19） 砂浜海岸において、海岸線に平行して形成された砂礫の堤防状の高まりをいう。琵琶湖沿岸では、海岸と同様に湖岸に形成される。

包含層（ほうがんそう：p 32） 河川堆積等、形成過程は様々であるが、遺物を含む土の堆積層を指す。

方形周溝墓（ほうけいしゅうこうぼ：p 33） 弥生時代に造られた方形もしくは長方形の

盛り土の周りに溝を巡らせた墳墓を指す。

ヴォーリス ウィリアム・メレル・ヴォーリス（日本名一柳米来留：ひとつやなぎめれる /1880-1964: p 45) アメリカ出身で、英語教師として来日し、のちに建築事務所を立ち上げ、全国で1,600におよぶ建物の建築設計に携わった。

【ま】

真綿製造業（まわたせいぞうぎょう：p 39）真綿とは繭を引き伸ばして作った綿のことである。白く光沢があり、軽くてやわらかい特性を持つ。真綿作りには大量の水を必要とするため伊吹山や鈴鹿山脈の石灰岩の地層から流れ出る豊富な地下水に恵まれていた米原市では、良質の真綿を生産するのに適していたようで、江戸時代には、真綿産業が始まっており、「近江真綿」としてブランド化していた。

【ら】

流域面積（りゅういきめんせき：p 20）河川に降水が流入する区域（集水区域）を流域と呼ぶ。そしてその区域の面積を指す。

陵墓治定地（りょうぼちていち：p 33）江戸時代末から明治にかけて『日本書紀』『古事記』『延喜式』等の文献の記載内容や現地踏査を踏まえ、天皇家の墓として治定された墳墓。北は山形県から南は鹿児島県まで1都2府30県にわたり、陵188か所、墓555か所のほか、分骨所・火葬塚・灰塚など陵に準ずるもの42か所、髪齒爪塔など68か所、陵墓参考地46か所があり、総計899か所におよぶ。

六波羅探題（ろくはらたんだい：p 37）鎌倉幕府が京都守護に代わって六波羅においた機関のこと。またその機関の長を指すこともある。その役割は、朝廷の監視および尾張、加賀以西地域の政務・裁判を総轄した。承久の乱後は、北条一門から選任されていた。

参考資料

表 1 米原市の指定等文化財

No.	指定区分	種別	名称	時代	時代(大区分)	指定年月日	地域(旧町)	所在地(大字)	所有者・管理者
1	重要文化財	建造物	観音寺本堂・鐘楼・窓門 3棟	江戸	近世	H5.4.20	山東	朝日	観音寺
2	重要文化財	建造物	松尾寺九重塔 1基	鎌倉	中世	S35.2.9	米原	上丹生	松尾寺
3	重要文化財	絵画	絹本着色浄土曼陀羅 1幅	鎌倉	中世	M33.4.7	山東	柏原	成菩提院
4	重要文化財	絵画	絹本着色聖徳太子像 1幅	室町	中世	M33.4.7	山東	柏原	成菩提院
5	重要文化財	絵画	絹本着色不動明王二童子像 1幅	鎌倉	中世	M33.4.7	山東	柏原	成菩提院
6	重要文化財	彫刻	木造薬師如来坐像 1躯	平安	古代	M34.3.27	米原	上多良	真広寺
7	重要文化財	彫刻	木造伝教大師坐像 1躯	鎌倉	中世	S34.3.27	山東	朝日	観音寺
8	重要文化財	工芸品	銅鐘 1口	鎌倉	中世	T6.4.5	米原	番場	蓮華寺
9	重要文化財	工芸品	鈎口 1口	鎌倉	中世	S6.6.9	米原	上丹生	松尾寺
10	重要文化財	工芸品	金銅雲形孔雀文馨 1面	鎌倉	中世	S34.12.18	山東	柏原	成菩提院
11	重要文化財	書跡	紙本墨書陸波羅南北過去帳 1巻	南北朝	中世	T6.4.5	米原	番場	蓮華寺
12	国(選択)	記録作成等の措置を構すべき無形の民俗文化財	朝日豊年太鼓踊		時代を定めず(民俗文化財)	S49.12.4	山東	朝日	朝日豊年太鼓踊保存会 朝日区
13	国指定	史跡	北畠具行墓	南北朝	中世	S5.11.19	山東	柏原	柏原学区史跡保存会
14	国指定	史跡	清滝寺京極家墓所	鎌倉～江戸	中世	S7.3.25	山東	清滝	徳源院
15	国指定	史跡	京極氏遺跡―京極氏城館跡・弥高寺跡	室町	中世	H16.2.27	伊吹	上平寺・弥高・藤川	上平寺推進委員会 弥高さつま会
16	国指定	史跡	鎌刃城跡	室町	中世	H17.3.2	米原	番場	番場の歴史を知り明日を考える会
17	国指定	名勝	青岸寺庭園	江戸	近世	S9.12.28	米原	米原	青岸寺
18	国指定	名勝	福田寺庭園	室町末期	中世	S49.11.26	近江	長沢	福田寺
19	国指定	名勝	醒井峡谷		時代を定めず(記念物)	S16.12.13	米原	上丹生	
20	国指定	特別天然記念物	長岡のゲンジボタルおよびその発生地		時代を定めず(記念物)	S27.3.29	山東	長岡	
21	国指定	天然記念物	了徳寺のオハツキイチョウ 1本		時代を定めず(記念物)	S4.12.17	米原	醒井	了徳寺
22	国指定	天然記念物	伊吹山頂草原植物群落		時代を定めず(記念物)	H15.7.25	伊吹	上野・大久保・藤川	
23	国指定	天然記念物	息長ゲンジボタル発生地		時代を定めず(記念物)	S19.3.7	近江	能登瀬・箕浦ほか	
24	国指定	重要文化的景観	東草野の山村景観		時代を定めず(文化的景観)	H26.3.18	伊吹	甲津原・曲谷・甲賀・吉槻	各自治会
25	国登録	建造物	旧醒井郵便局局舎 1棟	昭和9年	近代以降	H10.9.2	米原	醒井	
26	国登録	建造物	奥伊吹ふるさと伝承館 1棟	江戸後期	近世	H15.1.31	伊吹	甲津原	甲津原区
27	国登録	建造物	柏原宿歴史館 4棟(主屋・展示館・収蔵庫・門)	大正6年	近代以降	H12.2.15	山東	柏原	米原市
28	国登録	建造物	醒井公会堂 1棟	昭和11年	近代以降	H15.3.18	米原	醒井	醒井区
29	国登録	建造物	角田家住宅 3棟(主屋・米蔵・文庫蔵)	江戸後期～明治	近世	H29.10.27	米原	米原	
30	国登録	建造物	旧常喜医院 5棟(主屋・書院・東蔵・西蔵・馬小屋)	明治～大正	近代以降	R1.12.5	山東	堂谷	米原市
31	国登録	建造物	山本家住宅主屋	昭和13年	近代以降	R3.7.16	山東	柏原	
32	県指定	建造物	松井家住宅 1棟 附文書5冊	江戸	近世	S58.3.28	伊吹	上野	
33	県指定	建造物	徳源院三重塔 1棟	江戸	近世	S48.6.27	山東	清滝	徳源院
34	県指定	建造物	福田寺御殿 1棟	江戸初期	近世	S36.4.26	近江	長沢	福田寺
35	県指定	絵画	絹本着色一向上人像 1幅	鎌倉	中世	S48.3.31	米原	番場	蓮華寺
36	県指定	絵画	絹本着色親経変相図 1幅	南北朝	中世	S53.3.17	米原	上丹生	松尾寺
37	県指定	絵画	絹本着色普賢十羅刹女像 1幅	南北朝	中世	S49.11.13	山東	柏原	成菩提院
38	県指定	絵画	絹本着色兜率天曼荼羅図 1幅	南北朝	中世	H18.3.17	山東	柏原	成菩提院
39	県指定	絵画	絹本着色釈迦諸尊集会図 1幅	南宋	中世	R1.12.24	山東	柏原	成菩提院
40	県指定	彫刻	木造毘沙門天立像 1躯	平安	古代	S47.4.1	伊吹	大久保	惣持寺
41	県指定	彫刻	木造天部形立像 1躯	平安	古代	S47.4.1	伊吹	大久保	惣持寺

参考資料

No.	指定区分	種別	名称	時代	時代(大区分)	指定年月日	地域(旧町)	所在地(大字)	所有者・管理者
42	県指定	彫刻	木造獅子頭 1面	江戸	近世	S47.4.1	伊吹	伊吹	伊夫岐神社
43	県指定	工芸品	梵鐘 1口	鎌倉	中世	S34.2.10	近江	顔戸	日撫神社
44	県指定	工芸品	梵鐘 1口	南北朝	中世	H24.3.19	米原	中多良	願乗寺
45	県指定	書跡	伊吹社及び三宮修造 勅進状 2巻 奉加帳 6巻	室町	中世	S49.3.11	伊吹	伊吹	
46	県指定	書跡	大般若経 600帖	平安	古代	S49.11.13	山東	柏原	成菩提院
47	県指定	書跡	大原観音寺文書 625点	鎌倉～江戸	中世	S53.3.17	山東	朝日	観音寺
48	県指定	書跡	紙本墨書後陽成天皇宸翰 1幅	桃山	中世	S16.4.9	近江	宇賀野	神明宮
49	県指定	考古資料	山津照神社古墳出土品	古墳	古代	S32.8.26	近江	能登瀬	山津照神社
50	県指定	歴史資料	章斎文庫資料 46,695点		近代以降	H27.12.18	山東	大野木	米原市寄託
51	県指定	無形民俗(選択)	流星		時代を定めず(民俗文化財)	S42.4.3	米原	樋口・一色・枝折	流星保存会
52	県指定	無形民俗(選択)	米原曳山祭		時代を定めず(民俗文化財)	H4.3.31	米原	米原	米原曳山祭保存会
53	県指定	無形民俗(選択)	太鼓踊 奴奴振		時代を定めず(民俗文化財)	S42.4.3	伊吹	春照	春照太鼓踊保存会
54	県指定	無形民俗(選択)	伊吹山奉納太鼓踊		時代を定めず(民俗文化財)	S54.3.30	伊吹	上野	伊吹山奉納太鼓踊保存会
55	県指定	無形民俗(選択)	大野木豊年太鼓踊		時代を定めず(民俗文化財)	S53.3.17	山東	大野木	大野木太鼓踊保存会 大野木区
56	県指定	無形民俗(選択)	顕教おどり		時代を定めず(民俗文化財)	S42.9.29	伊吹	甲津原	顕教踊り保存会
57	県指定	無形民俗(選択)	奴振		時代を定めず(民俗文化財)	S42.4.3	近江	長沢	長沢区
58	県指定	史跡	山津照神社古墳 1基	古墳	原始	S44.9.12	近江	能登瀬	山津照神社
59	県指定	史跡	松尾寺跡	鎌倉～江戸	中世	H23.3.24	米原	上丹生	松尾寺
60	県指定	名勝	徳源院庭園	江戸	時代を定めず(記念物)	H10.6.19	山東	清滝	徳源院
61	県指定	名勝	来照寺庭園	江戸	時代を定めず(記念物)	S61.9.12	近江	高溝	来照寺
62	県指定	天然記念物	三島池のカモおよびその生息地		時代を定めず(記念物)	S34.2.10	山東	池下	鴨と螢の里づくりグループ
63	県指定	有形民俗	東草野の竹刀製造用具および製品		近代以降	R3.2.16	伊吹	甲賀	米原市
64	市指定	建造物	川口家住宅(旧醒井宿問屋場) 1棟	江戸	近世	H10.12.21	米原	醒井	
65	市指定	建造物	松浦家住宅 5棟	江戸～大正	近世	H13.1.16	山東	柏原	
66	市指定	建造物	観音寺 本坊 1棟	江戸	近世	H17.1.28	山東	朝日	観音寺
67	市指定	建造物	旧田中邸新座敷棟 1棟	江戸	近世	H26.3.20	山東	長岡	西福寺
68	市指定	建造物	石造九重塔 1基	鎌倉	中世	S48.11.2	米原	三吉	八坂神社
69	市指定	建造物	石造宝篋印塔 1基	南北朝	中世	H2.5.28	米原	番場	蓮華寺
70	市指定	建造物	石塔 2基	鎌倉後期	中世	H15.11.4	米原	朝妻筑摩	朝妻神社
71	市指定	建造物	石造宝篋印塔 1基	鎌倉	中世	S46.11.3	伊吹	弥高	平野神社
72	市指定	建造物	石造宝篋印塔 1基	鎌倉	中世	S51.4.1	山東	加勢野	光明院
73	市指定	建造物	石造宝篋印塔 1基	鎌倉	中世	S51.4.1	山東	長岡	
74	市指定	建造物	石造五輪塔 3基	鎌倉	中世	S51.4.1	山東	小田	妙覚寺
75	市指定	絵画	涅槃絵図 1幅	室町	中世	S46.11.3	伊吹	杉澤	成就院
76	市指定	絵画	絹本着色浄土大曼荼羅図 1幅	江戸	近世	S50.4.1	山東	朝日	観音寺
77	市指定	絵画	絹本着色仁空上人像 1幅	南北朝	中世	S56.5.25	近江	西門寺	西門寺
78	市指定	絵画	紙本着色隠元隆琦像 1幅		近世	H8.5.31	近江	西門寺	西門寺
79	市指定	絵画	紙本着色木庵性瑠像 1幅		近世	H8.5.31	近江	西門寺	西門寺
80	市指定	絵画	紙本着色太虚道清像 1幅		近世	H8.5.31	近江	西門寺	西門寺
81	市指定	絵画	上平寺城絵図 1幅	江戸	近世	H20.2.12	伊吹		米原市
82	市指定	彫刻	木造聖観音菩薩立像 1躯	平安	古代	S48.11.2	米原	上丹生	松尾寺
83	市指定	彫刻	木造釈迦如来立像 1躯	鎌倉	中世	S48.11.2	米原	番場	蓮華寺
84	市指定	彫刻	木造阿弥陀如来立像 1躯	鎌倉	中世	S48.11.2	米原	番場	蓮華寺
85	市指定	彫刻	木造不動明王・二童子立像 3躯	室町	中世	S50.2.10	米原	枝折	林蔵坊
86	市指定	彫刻	木造聖観音菩薩坐像 1躯	南北朝	中世	S60.11.25	米原	米原	青岸寺
87	市指定	彫刻	木造十一面観音菩薩立像 1躯	鎌倉	中世	S60.11.25	米原	米原	青岸寺

参考資料

No.	指定区分	種別	名称	時代	時代(大区分)	指定年月日	地域(旧町)	所在地(大字)	所有者・管理者
88	市指定	彫刻	木造阿弥陀如来立像 1 軀	平安	古代	S60.11.25	米原	上丹生	成光寺
89	市指定	彫刻	木造十一面観音立像 1 軀	江戸	近世	S46.11.3	伊吹	春照	大平観音堂
90	市指定	彫刻	木造多聞天像・増長天像 2 軀	鎌倉～室町	中世	S62.11.18	伊吹	村木	地藏堂
91	市指定	彫刻	木造不動明王立像 1 軀	江戸	近世	S42.5.15	山東	加勢野	光明院
92	市指定	彫刻	木造千手観音立像 1 軀	平安	古代	S50.4.1	山東	朝日	観音寺
93	市指定	彫刻	木造阿弥陀如来立像 1 軀	平安	古代	S50.4.1	山東	朝日	観音寺
94	市指定	彫刻	木造薬師如来坐像 1 軀	平安	古代	S51.4.1	伊吹	杉澤	玉泉寺 西福寺
95	市指定	彫刻	木造聖観世音菩薩立像 1 軀	鎌倉	中世	S55.4.1	山東	清滝	徳源院
96	市指定	彫刻	木像如意輪観世音菩薩坐像 1 軀	江戸	近世	S55.4.1	山東	清滝	徳源院
97	市指定	彫刻	木造大日如来坐像 1 軀	南北朝	中世	S55.4.1	山東	大野木	八相宮
98	市指定	彫刻	木造阿弥陀如来立像 1 軀	平安	古代	H17.1.28	山東	梓河内	常福寺
99	市指定	彫刻	木造不動明王立像 1 軀	鎌倉	中世	H17.1.28	山東	梓河内	常福寺
100	市指定	彫刻	木造十一面観音立像 1 軀	平安	古代	H17.1.28	山東	夫馬	春日神社
101	市指定	彫刻	木造阿弥陀如来立像 1 軀	平安	古代	H17.1.28	山東	長岡	安能寺
102	市指定	彫刻	木造聖観音立像 1 軀	平安	古代	S44.5.15	近江	日光寺	日光寺
103	市指定	彫刻	木造聖観音立像 1 軀	平安	古代	S56.5.25	近江	西円寺	西円寺
104	市指定	彫刻	木造十一面観音立像 1 軀	平安	古代	H20.2.12	山東	柏原	成菩提院
105	市指定	彫刻	木造不動明王立像 1 軀	室町	中世	H20.2.12	山東	柏原	成菩提院
106	市指定	彫刻	木造毘沙門天立像 1 軀	鎌倉	中世	H20.2.12	山東	柏原	成菩提院
107	市指定	彫刻	木造獅子頭 1 面	江戸	近世	S46.11.3	伊吹	大清水	泉神社
108	市指定	彫刻	能面 10 面	室町	中世	S46.11.3	伊吹	甲津原	天満神社
109	市指定	彫刻	木造天狗面 1 面	桃山	中世	S46.11.3	伊吹	伊吹	伊夫岐神社
110	市指定	彫刻	阿弥陀三尊石仏 1 基	鎌倉	中世	H30.12.28	近江	岩脇	岩脇区
111	市指定	工芸品	梵鐘 1 口	室町	中世	S46.11.3	伊吹	上野	松尾寺
112	市指定	工芸品	梵鐘 1 口	室町	中世	S46.11.3	伊吹	大清水	泉神社
113	市指定	工芸品	罎口 1 口	室町	中世	S46.11.3	伊吹	杉澤	勝居神社
114	市指定	工芸品	罎口 1 口	南北朝	中世	S51.4.1	山東	大野木	八相宮
115	市指定	工芸品	罎口 1 口	室町	中世	S51.4.1	山東	梓河内	神明神社
116	市指定	工芸品	刺繍阿弥陀如来像 1 面	鎌倉末～室町	中世	S51.11.12	米原	醒井	
117	市指定	工芸品	長尾護国寺山門額 1 枚	室町	中世	H1.5.19	伊吹	大久保	惣持寺
118	市指定	工芸品	古面 1 面	平安	古代	S56.4.1	山東	柏原	泉明院
119	市指定	工芸品	四神四獣鏡 1 面	平安	古代	S44.5.15	近江	新庄	
120	市指定	工芸品	薬師如来懸仏 3 面	室町末	中世	S56.5.25	近江	顔戸	日撫神社
121	市指定	工芸品	石造板碑 2 基	鎌倉	中世	S46.11.3	伊吹	曲谷	白山神社
122	市指定	書跡	紺紙金泥百体名号 1 幅	鎌倉～室町	中世	S46.11.3	伊吹	小泉	
123	市指定	書跡	石田三成掟書十三条 1 点	桃山	中世	S46.11.3	伊吹	伊吹	
124	市指定	書跡	親鸞教行信證 6 巻 巻略分類 1 巻	鎌倉	中世	S62.11.18	伊吹	大清水	大案寺
125	市指定	書跡	長尾寺縁起書 1 巻	江戸	近世	H1.5.19	伊吹	大久保	惣持寺
126	市指定	書跡	大般若経 600 帖	南北朝	中世	S51.4.1	山東	清滝	徳源院
127	市指定	考古資料	内行花文鏡 1 面	古墳	原始	H2.5.28	米原	河南	米原市
128	市指定	考古資料	すも塚出土土器他 30 点	古墳	原始	S42.5.15	山東	鳥脇	
129	市指定	考古資料	山津照神社古墳出土品二	古墳	原始	H8.5.31	近江	能登瀬	山津照神社
130	市指定	考古資料	土偶 1 点	縄文	原始	H20.2.12	米原		米原市
131	市指定	歴史資料	石造地藏菩薩坐像 1 軀	鎌倉	中世	H9.5.30	米原	醒井	法善寺
132	市指定	歴史資料	延命地藏略縁起 3 枚(1合) 及び三水四石并泡兒墓由来記 附 保存箱	江戸	近世	H17.1.24	米原	醒井	法善寺
133	市指定	歴史資料	旧田中家新座敷棟関連資料 10 点	江戸	近世	H29.7.27	山東	長岡	
134	市指定	有形民俗	北陸道中山道分岐点道標 1 基	江戸	近世	H2.5.28	米原	米原	
135	市指定	有形民俗	筑摩太鼓山 1 基	江戸	近世	H10.5.20	米原	朝妻筑摩	筑摩区
136	市指定	有形民俗	上多良太鼓山 1 基	江戸	近世	H10.5.20	米原	上多良	上多良区
137	市指定	有形民俗	中多良太鼓山 1 基	江戸	近世	H10.5.20	米原	中多良	中多良区
138	市指定	有形民俗	下多良太鼓山 1 基	江戸	近世	H10.5.20	米原	下多良	下多良区

参考資料

No.	指定区分	種別	名称	時代	時代(大区分)	指定年月日	地域(旧町)	所在地(大字)	所有者・管理者
139	市指定	有形民俗	松尾寺参詣道丁石 32基	室町～近代	中世	H24.10.24	米原	上丹生・下丹生・西坂	
140	市指定	無形民俗	鍋釜祭(鍋冠り祭)		時代を定めず(民俗文化財)	S56.5.1	米原	朝妻筑摩	筑摩区
141	市指定	無形民俗	磯まぬけ踊り		時代を定めず(民俗文化財)	H7.11.1	米原	磯	まぬけ踊保存会
142	市指定	無形民俗	志賀神社華の頭		時代を定めず(民俗文化財)	S42.5.15	山東	志賀谷	志賀谷区
143	市指定	無形民俗	井之口太鼓踊		時代を定めず(民俗文化財)	S56.4.1	山東	井之口	井之口太鼓踊保存会
144	市指定	無形民俗	清滝大松明		時代を定めず(民俗文化財)	H30.12.28	山東	清滝	松明保存会 清滝区
145	市指定	史跡	番の面縄文遺跡	縄文	原始	S42.5.15	山東	梓河内	
146	市指定	史跡	王子古墳 1基	古墳	原始	S55.4.1	山東	柏原	
147	市指定	史跡	下丹生古墳 1基	古墳	原始	H15.11.4	米原	下丹生	
148	市指定	史跡	長尾寺跡	平安～	古代	H4.9.1	伊吹	大久保	惣持寺
149	市指定	史跡	太尾山城跡	室町	中世	H13.9.19	米原	米原	
150	市指定	史跡	峠のシン垣	江戸	近世	H24.10.24	伊吹	小泉・大久保	
151	市指定	史跡	蒸気機関車避難壕 2基	昭和(戦争末期)	近代以降	H29.7.27	近江	岩脇	岩脇区
152	市指定	天然記念物	乳銀杏 1本		時代を定めず(記念物)	S46.11.3	伊吹	上板並	諏訪神社
153	市指定	天然記念物	公孫樹 1本		時代を定めず(記念物)	S42.5.15	山東	長岡	長岡神社
154	市指定	天然記念物	柏楨 1本		時代を定めず(記念物)	S50.4.1	山東	清滝	
155	市指定	天然記念物	樺 1本		時代を定めず(記念物)	S50.4.1	山東	西山	
156	市指定	天然記念物	八幡神社杉並木 17本		時代を定めず(記念物)	S40.3.5	山東	西山	八幡神社
157	市指定	天然記念物	道誉桜 1本		時代を定めず(記念物)	H17.1.28	山東	清滝	徳源院
158	市指定	天然記念物	山室湿原		時代を定めず(記念物)	H17.1.28	山東	山室	湿原を考える会

参考資料

表 2 米原市の埋蔵文化財包蔵地

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
461 - 001	寺屋敷遺跡	市場	社寺跡	その他	平地	宅地	
461 - 002	出口遺跡	夫馬	散布地	その他	平地	水田	
461 - 003	弾正塚古墳群	夫馬	古墳群	古墳	山麓	山林	円墳 3 基
461 - 004	上向川遺跡	夫馬	集落跡	奈良～平安	平地	水田	須恵器・土師器・掘立柱建物
461 - 005	馬塚古墳	朝日	古墳	古墳	山頂	山林	円墳(長浜市)
461 - 006	ちご塚古墳	朝日	古墳	古墳	山腹	山林	円墳・横穴式石室
461 - 007	観音寺遺跡	朝日	社寺跡	その他	山腹	その他	仁寿年間三修草創伝承
461 - 008	化粧谷遺跡	朝日	生産遺跡	その他	山麓	山林	窯跡・須恵器
461 - 009	朝日古墳	朝日	古墳	古墳	山頂	山林	円墳
461 - 011	横山城遺跡	烏脇	城館跡	その他	山頂	山林	井戸(石組み)(長浜市)
461 - 012	西谷遺跡	烏脇	生産遺跡	平安	山麓	山林 水田 その他	窯跡・須恵器
461 - 013	烏脇遺跡	烏脇	生産遺跡	奈良	平地	畑地	窯跡・須恵器
461 - 014	中の谷古墳	烏脇	古墳	古墳	山頂	山林	
461 - 015	烏脇 A 古墳	烏脇	古墳	古墳	山頂	山林	前方後円墳・通称上塚
461 - 016	西山古墳	烏脇	古墳	古墳	山頂	山林	
461 - 017	猿田彦女命古墳	烏脇	古墳	古墳	山腹	山林	円墳・木棺直葬・通称中塚古墳
461 - 018	すも塚古墳	烏脇	古墳	古墳	平地	畑地	横穴式石室・馬具・須恵器・鉄器
461 - 019	烏脇館遺跡	烏脇	城館跡	その他	平地	宅地	
461 - 020	坂口遺跡	坂口	社寺跡	その他	平地	水田	切石 3 枚・瓦
461 - 023	北平古墳	村居田	古墳	古墳	山頂	山林	円墳(長浜市)
461 - 024	犬飼古墳	村居田	古墳群	古墳	山頂	山林	円墳・横穴式石室(長浜市)
461 - 025	横山古墳群	村居田	古墳群	古墳	山頂	山林	(長浜市)
461 - 026	息長広姫陵古墳群	村居田	古墳群	古墳	平地	水田 その他	息長広姫陵及び付属地・埴輪
461 - 027	堂の前遺跡	村居田	社寺跡	その他	平地	宅地	
461 - 028	永尾遺跡	村居田	その他	その他	山腹	山林	
461 - 029	板戸遺跡	村居田	集落跡	平安～不明	平地	水田	須恵器・陶器
461 - 031	井之口遺跡	井之口	社寺跡	その他	平地	その他	石垣
461 - 032	皇后塚古墳	井之口	古墳	古墳	平地	畑地	横穴式石室・山頂に地蔵
461 - 033	皇后塚東古墳	井之口	古墳	古墳	平地	畑地	横穴式石室
461 - 034	ぬか塚古墳	野一色	古墳	古墳	平地	山林	円墳
461 - 035	今中遺跡	野一色	生産遺跡	その他	平地	畑地	窯跡
461 - 036	正林坊遺跡	野一色	社寺跡	その他	平地	畑地	正林坊と書いた墓石 5 点
461 - 037	野一色城遺跡	野一色	城館跡	その他	平地	水田 宅地	
461 - 038	十禅師遺跡	小田	社寺跡	その他	平地	水田	古文書
461 - 039	間田廃社古墳	間田	古墳	古墳	山麓	山林	円墳
461 - 040	日御社古墳	間田	古墳	古墳	山麓	山林	円墳
461 - 041	唐古塚古墳	間田	古墳	古墳	山麓	畑地	前方後円墳・墓石
461 - 042	番庄塚古墳	間田	古墳	古墳	平地	畑地 宅地	円墳
461 - 043	高岡塚古墳	間田	古墳	古墳	平地	その他	横穴式石室・須恵器
461 - 045	間田城遺跡	間田	城館跡	その他	平地	畑地 宅地	
461 - 046	油里城遺跡	天満	城館跡	中世	平地	水田 宅地	
461 - 047	田別塚古墳	天満	古墳	古墳	平地	水田	円墳
461 - 048	大原氏館跡(判官屋敷跡)	本市場	城館跡	その他	平地	水田	字名あり・石組・堀・大原判官屋敷跡(大原氏館・旧京極城跡)
461 - 049	十禅寺遺跡	本市場	社寺跡	その他	平地	水田 宅地	伝承地・瓦
461 - 050	池下城遺跡	池下	城館跡	その他	山麓	水田 山林	
461 - 051	長禅寺遺跡	池下	社寺跡	その他	山腹	その他	淳和天皇 6 年草創伝承

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
461 - 052	原毛古墳	長岡	古墳	古墳	山麓	山林	須恵器
461 - 053	小林古墳	長岡	古墳	古墳	平地	宅地	須恵器
461 - 054	安能寺遺跡	長岡	社寺跡	その他	山腹	その他	
461 - 055	東福寺遺跡	長岡	社寺跡	その他	平地	宅地	石垣
461 - 056	琴岡山遺跡	長岡	集落跡	奈良～平安	山腹	水田	須恵器・土師器
461 - 057	満願寺遺跡	万願寺	社寺跡	その他	山腹	山林	京極高数の菩提寺・石塔
461 - 058	城山城遺跡	西山	城館跡	その他	山頂	山林	佐々木源氏居城
461 - 059	八王寺遺跡	西山	社寺跡	その他	平地	畑地	字名あり
461 - 060	次郎十遺跡	西山	集落跡	その他	平地	水田	須恵器
461 - 061	王街道塚古墳	西山	古墳	古墳	平地	水田	円墳・須恵器
461 - 062	向山の砦遺跡	長久寺	城館跡	中世	山頂	山林	
461 - 063	長久寺遺跡	長久寺	集落跡 社寺跡	その他	山腹	山林	須恵器・灰釉陶器・瓦
461 - 064	竜宝院閩連遺跡	柏原	城館跡	中世	山頂	山林	
461 - 065	小黒谷遺跡	柏原	城館跡	その他	山腹	山林	
461 - 066	十善寺遺跡	柏原	社寺跡	その他	山腹	山林 畑地	
461 - 067	王子古墳	柏原	古墳	古墳	山腹	山林	前方後円墳？(市史跡)
461 - 068	大山遺跡	柏原	社寺跡	その他	山腹	山林	
461 - 069	花房遺跡	柏原	集落跡	その他	平地	水田	須恵器・土師器(明星遺跡)
461 - 070	宝塔寺遺跡	柏原	社寺跡	その他	山麓	山林	
461 - 071	宝生寺遺跡	柏原	社寺跡	その他	山麓	山林 その他	
461 - 072	中垣内遺跡	柏原	城館跡	その他	平地	水田	
461 - 073	高屋遺跡	柏原	城館跡	その他	山腹	山林	
461 - 074	北島具行卿墓	柏原	その他墓跡	南北朝	山腹	山林	(国史跡)
461 - 075	葉広遺跡	柏原	集落跡	その他	平地	水田	須恵器・土師器
461 - 076	金比羅神社古墳群	柏原	古墳群	古墳	山腹	山林	円墳3基
461 - 077	談議所遺跡	柏原	社寺跡	その他	山麓	その他	弘仁6年最澄草創伝承
461 - 078	小野遺跡	柏原	その他墓跡	室町	山麓	宅地 その他	
461 - 079	向山遺跡	柏原	その他墓跡	その他	山麓	山林 その他	五輪塔
461 - 080	市場寺遺跡	柏原	社寺跡	その他	平地	その他	恵比須神社別当寺
461 - 081	柏原本陣遺跡	柏原	城館跡	江戸	平地	宅地	
461 - 082	箕浦館遺跡	柏原	城館跡	その他	平地	宅地	
461 - 083	柏原御殿遺跡	柏原	城館跡	その他	平地	宅地	
461 - 084	妙法寺遺跡	柏原	社寺跡	その他	平地	その他	津島神社別当寺
461 - 085	長塚古墳	柏原	古墳	古墳	平地	畑地 宅地	円墳
461 - 086	王塚古墳	柏原	古墳	古墳	平地	畑地	円墳1基・横穴式石室・金環・銀環・刀子・須恵器
461 - 087	竜宝院遺跡	柏原	社寺跡	その他	平地	宅地	伊吹弥高百坊の一つ
461 - 088	神宮寺遺跡	柏原	社寺跡	その他	平地	その他	中仙道分間延絵図・八幡神社別当寺
461 - 089	白清水遺跡	柏原	集落跡	その他	山麓	水田	須恵器
461 - 090	平林遺跡	柏原	その他墓跡	その他	山麓	山林	弘仁6年最澄草創伝承
461 - 091	番匠垣内遺跡	柏原	城館跡	その他	平地	水田	
461 - 092	長比砦跡	柏原・長久寺	城館跡	その他	山頂	山林	
461 - 093	須川山城遺跡	須川	城館跡	中世	山頂	山林	
461 - 094	美濃ごえの遺跡	須川	城館跡	中世	山頂	山林	
461 - 095	須川遺跡	須川	集落跡	弥生	平地	水田	
461 - 096	北畑遺跡	須川	集落跡	その他	山麓	畑地 宅地	灰釉陶器・須恵器・土師器
461 - 097	須川館遺跡	須川	城館跡	その他	平地	宅地	
461 - 098	管生寺遺跡	須川	社寺跡	その他	平地	畑地 山林 宅地 その他	建久4年草創伝承

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
461 - 099	須川山砦遺跡	須川	城館跡	中世	山頂	山林	
461 - 100	駒平太塚古墳	須川	古墳	古墳	山腹	山林	円墳・須恵器
461 - 101	青露遺跡	大野木	集落跡	その他	平地	水田	須恵器・土師器
461 - 102	杉の木遺跡	大野木	集落跡	その他	平地	畑地	須恵器
461 - 103	大野木遺跡	大野木	集落跡	その他	平地	水田 宅地	石棒
461 - 104	大野木館遺跡	大野木	城館跡	その他	平地	水田	
461 - 105	御墓遺跡	大野木	集落跡 その他墓跡	弥生・ 平安	平地	水田	石鏃・土師器・伝承地
461 - 106	深谷遺跡	大野木	集落跡	弥生	山麓	畑地	石斧（谷田尾）
461 - 107	五反海戸遺跡	大野木	集落跡	その他	平地	畑地 宅地	須恵器・灰釉陶器
461 - 108	今屋遺跡	大野木	集落跡	その他	山麓	宅地	土師器
461 - 109	神宮寺遺跡	大野木	社寺跡	その他	山腹	山林	元和年間草創伝承
461 - 110	最勝寺遺跡	大野木	社寺跡	その他	山腹	山林	沙叵寺末寺
461 - 111	伝因寺遺跡	大野木	社寺跡	その他	山麓	山林	順慶寺末寺
461 - 112	大峰砦遺跡	大野木	城館跡	その他	山腹	山林	（千疊敷砦跡）
461 - 113	五反田遺跡	大野木	集落跡	弥生	平地	水田	石鏃
461 - 114	石丸遺跡	大野木	集落跡	その他	平地	水田	石斧・須恵器・土師器
461 - 115	妙楽寺遺跡	大野木	社寺跡 経塚	その他	山腹	山林	
461 - 116	小泉遺跡	清滝	集落跡	その他	山麓	水田	須恵器・灰釉陶器
461 - 117	北谷遺跡	清滝	その他 墓跡 社寺跡	その他	平地	山林 宅地	
461 - 118	殿村氏館遺跡	清滝	城館跡	その他	平地	水田 宅地	
461 - 119	勝願寺遺跡	清滝	社寺跡	その他	平地	宅地	京極高光菩提寺
461 - 120	宝持坊遺跡	清滝	社寺跡	その他	山腹	山林	弘仁年間草創伝承
461 - 121	清滝寺遺跡	清滝	社寺跡	その他	山麓	その他	京極氏歴代墓・菩提寺（一部国史跡・一部市史跡）
461 - 122	能仁寺遺跡	清滝	社寺跡	その他	山腹	山林	京極高詮菩提寺（一部国史跡）
461 - 123	柏原城遺跡	清滝	城館跡	その他	山麓	その他	（一部国史跡）
461 - 124	梓ノ関遺跡	梓河内	関跡	中世	山麓	宅地	
461 - 125	黒谷城遺跡	梓河内	城館跡	中世	山麓	山林	
461 - 126	西手遺跡	梓河内	その他	その他	山麓	山林	
461 - 127	馬屋谷遺跡	梓河内	その他	その他	山腹	山林	
461 - 128	黒谷遺跡	梓河内	その他墓跡	その他	山麓	山林	石仏・五輪塔
461 - 129	石田館遺跡	梓河内	城館跡	その他	山麓	山林	
461 - 130	河内城遺跡	梓河内	城館跡	その他	平地	宅地	
461 - 131	猪鼻城遺跡	梓河内	城館跡	その他	山頂	山林	
461 - 132	八講師城遺跡	梓河内	城館跡	その他	山頂	山林	
461 - 133	薬出遺跡	梓河内	その他	その他	山麓	山林	
461 - 134	番の面遺跡	梓河内・柏原	集落跡	縄文	山腹	山林	竪穴建物（市史跡）
461 - 135	西代遺跡	志賀谷	集落跡	古墳～ 平安	平地	水田	須恵器・土師器・古式土師器
461 - 136	時重遺跡	志賀谷	集落跡	その他	平地	水田	須恵器・土師器
461 - 137	馬塚古墳	志賀谷	塚	古墳	平地	水田	円墳
461 - 138	引塚古墳	志賀谷	塚	その他	平地	水田	
461 - 139	森塚古墳	志賀谷	塚	その他	平地	水田	
461 - 141	石塚古墳	志賀谷	塚	その他	平地	水田	
461 - 142	松の木古墳	志賀谷	塚	その他	平地	水田	
461 - 143	南天塚古墳	志賀谷	塚	その他	平地	水田	
461 - 144	柳原遺跡	志賀谷	経塚	その他	平地	水田	
461 - 145	塚本古墳	北方	古墳	古墳	平地	水田	円墳・横穴式石室
461 - 146	東良遺跡	北方	集落跡	奈良～ 平安	平地	水田	
461 - 147	北方田中遺跡	北方	集落跡	奈良～ 鎌倉	平地	水田	建物跡・井戸・門跡・墨書木札・土師器

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
461 - 148	瓢箪山古墳	北方	古墳	古墳	山頂	山林	前方後円墳？
461 - 149	道照寺遺跡	北方・大鹿	社寺跡	奈良～不明	山腹	山林	字名有り・経塚
461 - 150	笹原遺跡	北方	集落跡	鎌倉	平地	水田	
461 - 151	馬塚古墳	菅江	古墳	古墳	山頂	山林	円墳（長浜市）
461 - 152	双林寺遺跡	菅江	社寺跡	その他	山腹	山林	治承元年草創伝承
461 - 153	菅江遺跡	菅江	生産遺跡	奈良	山腹	山林	須恵器・窯体1基
461 - 154	瀧ヶ谷城遺跡	山室	城館跡	中世	山麓	水田 山林	
461 - 155	名越ごえの山城遺跡	山室	城館跡	その他	山頂	山林	（長浜市）
461 - 156	しょうけ塚古墳	山室	古墳	古墳	山麓	山林	円墳
461 - 157	小倉山古墳		古墳	古墳	山麓	山林	円墳
461 - 158	小倉寺遺跡	山室	社寺跡	その他	山腹	山林	山門・9坊跡有り・字名有り
461 - 159	大鹿遺跡	大鹿	社寺跡	その他	平地	水田	土師器・瓦
461 - 160	宝安寺遺跡	山室	社寺跡	その他	山麓	山林	神亀年間行基草創伝承
461 - 161	大鹿館遺跡	大鹿	城館跡	中世	平地	水田 畑地 宅地	
461 - 162	堂谷城遺跡	堂谷	城館跡	中世	平地	水田	
461 - 163	堂谷西の砦遺跡	堂谷	城館跡	その他	山頂	山林	
461 - 164	堂谷東の砦遺跡	堂谷	城館跡	その他	山頂	山林	
461 - 165	極楽寺遺跡	堂谷	社寺跡	その他	山腹	山林	天平宝字6年草創・瓦
461 - 166	堀氏館遺跡	本郷	城館跡	中世	平地	水田 宅地	
461 - 167	本郷城遺跡	本郷	城館跡	中世	平地	宅地	
461 - 168	法泉寺遺跡	本郷	集落跡 社寺跡	白鳳・奈良	平地	水田	須恵器・瓦・字名有り
461 - 169	柏原脇本陣遺跡	柏原	城館跡	江戸	平地	宅地	
462 - 001	治山遺跡	甲津原	城館跡	その他	山麓	水田 山林	
462 - 002	七廻り峠遺跡	吉槻	城館跡	中世	山頂	山林	（長浜市）
462 - 003	長尾寺遺跡	大久保	社寺跡	平安～室町	山腹	山林	仁寿年間三修創建伝承・伊吹4か寺の一つ・石仏・石塔・陶磁器（市史跡）
462 - 004	小泉遺跡	小泉	散布地	弥生	山麓	畑地	弥生土器
462 - 005	峯堂遺跡	小泉	城館跡	中世	山麓	山林 畑地	
462 - 006	伊吹山遺跡	上野	経塚	その他	山頂	その他	石垣
462 - 007	伊吹山山頂遺跡	上野	散布地	縄文	山頂	その他	石鏃
462 - 008	伊吹城遺跡	伊吹	城館跡	室町	山麓	山林	
462 - 009	伊吹遺跡	小泉	集落跡	縄文	山麓	畑地	縄文土器・石鏃・石斧・石棒
462 - 010	高屋端出遺跡	上野	城館跡	中世	山麓	山林	狼煙台
462 - 011	上野中ノ岡遺跡	上野	社寺跡	その他	山麓	山林	（消滅）
462 - 012	上野遺跡	上野	集落跡	縄文	山麓	山林	石斧
462 - 013	観音寺遺跡	上野	社寺跡	平安～鎌倉	山腹	山林	伊吹4か寺の一つ・三修創建伝承・経塚
462 - 014	弥高寺遺跡	弥高	社寺跡	平安～室町	山腹	山林	伊吹4か寺の一つ・三修創建伝承・刈安尾城？・石仏・石塔・陶磁器（国史跡）
462 - 015	上平寺城遺跡	弥高・藤川	城館跡	室町	山腹	山林	佐々木京極氏築城・本丸・二の丸・空濠（国史跡）
462 - 016	堂ノ前遺跡	弥高	集落跡	弥生	山麓	山林	弥生土器・石鏃
462 - 017	禰宜田遺跡	春照	散布地	その他	平地	水田	須恵器・土師器・陶器
462 - 018	篠塚館遺跡	春照	城館跡	室町	平地	山林	
462 - 019	春照館遺跡	春照	城館跡	室町	平地	その他	
462 - 020	高番遺跡	高番	集落跡	縄文～平安	平地	畑地 宅地	縄文土器・勾玉・石棒・石鏃・土師器・須恵器・灰釉陶器
462 - 021	大願寺遺跡	高番	社寺跡	その他	平地	畑地	字名あり
462 - 022	杉沢遺跡	杉澤	集落跡	縄文～平安	平地	畑地	甕棺・縄文土器・石器・多頭石斧・御物石器・土師器・須恵器
462 - 023	十王堂遺跡	杉澤	社寺跡	その他	平地	畑地	字名あり
462 - 024	正明堂遺跡	杉澤	社寺跡	その他	平地	畑地	

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
462 - 025	村木遺跡	村木	集落跡	縄文	平地	畑地	縄文土器・石棒
462 - 026	村木城遺跡	村木	城館跡	室町	平地	水田	
462 - 027	神ノ木塚遺跡	村木	その他墓跡	室町	平地	水田	
462 - 028	竹ヶ鼻遺跡	大清水	散布地	古墳	山麓	水田	須恵器・土師器
462 - 029	井の田遺跡	大清水	集落跡	縄文～平安	山麓	畑地 水田	縄文土器・弥生土器・須恵器
462 - 030	大清水屋敷遺跡	大清水	城館跡	その他	山麓	畑地	
462 - 031	十蓮寺遺跡	大清水	社寺跡	その他	山麓	山林 畑地	字名あり
462 - 032	大清水遺跡	大清水	集落跡	縄文	山麓	畑地	石棒・敲石
462 - 033	岩谷山古墳	大清水	古墳	古墳	山頂	山林	円墳・須恵器・土師器
462 - 034	天清城遺跡	大清水	城館跡	その他	山頂	山林	
462 - 035	今須道遺跡	藤川	城館跡	中世	山頂	山林	岐阜県関ヶ原町との境
462 - 036	藤川城遺跡	藤川	城館跡	中世	山麓	山林 宅地	
462 - 037	暖水寺遺跡	藤川	社寺跡	平安～室町	山麓	山林	
462 - 038	長福寺遺跡	藤川	社寺跡	中世	山麓	山林	
462 - 039	太平寺遺跡	太平寺	集落跡 社寺跡	縄文・中世	山腹	山林	石斧・伊吹4ヵ寺の一つ・三修創建伝承
462 - 041	太平寺城遺跡	太平寺	城館跡	中世	山腹	山林	佐々木京極氏築城・石垣
462 - 042	上平寺館遺跡	上平寺	城館跡	その他	山麓	山林 その他	屋敷・庭園・堀(国史跡)
462 - 043	上平寺遺跡	上平寺	社寺跡 その他 (城下町)	縄文・中世	山麓	宅地	道路遺構・溝・縄文土器・陶磁器・古銭
462 - 044	上平畑遺跡	上平寺	集落跡	縄文	山麓	畑地	石斧
462 - 045	上平寺南館遺跡	上平寺	城館跡	室町	山麓	山林 畑地	屋敷(一部国史跡)
462 - 046	瀬戸山遺跡	甲津原	散布地	その他	山麓	水田	土師器
462 - 047	下津原遺跡	甲津原	散布地	その他	山麓	水田	土師器・須恵器
462 - 048	岩イ谷遺跡	曲谷	その他	鎌倉～近代	谷	山林	石造物未製品(石切場)
462 - 049	サナギ谷遺跡	曲谷	その他	鎌倉～近代	谷	山林	石造物未製品(石切場)
462 - 050	起し又遺跡	曲谷	集落跡	縄文	山麓	水田	縄文土器・石鏃・磨石・凹石・石斧・石錘・竪穴建物・配石・埋葬
462 - 051	ムカイラ遺跡	曲谷	散布地	縄文	山麓	水田	縄文土器
462 - 052	大平遺跡	甲賀	散布地	その他	山麓	水田	土師器
462 - 053	西山遺跡	甲賀	散布地	古墳	山麓	水田	土師器
462 - 054	大カイト遺跡	甲賀	散布地	その他	山麓	水田	土師器・須恵器
462 - 055	カン谷遺跡	甲賀	散布地	平安	山麓	水田	須恵器
462 - 056	内座遺跡	上板並	その他	縄文・室町	山麓	水田	縄文土器・天目茶碗・水田遺構
462 - 057	岩の上遺跡	伊吹	散布地	弥生	山麓	水田	弥生土器・石鏃
462 - 058	行導岩遺跡	上野	その他	その他	山腹	山林	伊吹山修験の行場
462 - 059	松尾寺遺跡	上野	社寺跡	その他	山腹	その他	梵鐘
462 - 060	人塚遺跡	上野	散布地	縄文	山麓	水田	石槍・円墳2基
462 - 061	野頭遺跡	上野	散布地	縄文	山麓	畑地	石鏃・石斧
462 - 062	東野遺跡	弥高	散布地	縄文	山麓	畑地	異形局部磨製石器・スクレイパー・石鏃・石匙
462 - 063	伊豆畑遺跡	弥高	集落跡	古墳	山麓	山林	土師器
462 - 064	赤谷遺跡	弥高	集落跡	平安	山麓	山林	土師器・須恵器
462 - 065	神戸遺跡	大清水	集落跡	古墳～平安	山麓	水田	土師器・須恵器
462 - 066	寺林遺跡	藤川	集落跡	奈良～室町	山麓	水田	竪穴住居・坑・土師器・須恵器
462 - 067	鍵山遺跡	春照	古墳	古墳	平地	山林	(消滅)
462 - 068	峠平遺跡	小泉	散布地	縄文	山麓	畑地	石斧
462 - 069	長谷遺跡	下板並	散布地	縄文～中世	山麓	水田	石斧・土師器・須恵器・陶器

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
462 - 070	谷海道遺跡	村木	社寺跡	平安	山麓	山林	土師器・須恵器・灰釉陶器
463 - 001	平野館遺跡	梅ヶ原	城館跡	中世	山頂	畑地 宅地	
463 - 002	福島城遺跡	梅ヶ原	城館跡	中世	平地	畑地	米原氏の居館
463 - 003	霊水寺遺跡	梅ヶ原	社寺跡	その他	山麓	畑地 その他	天平年間行基創建伝承
463 - 004	善後寺遺跡	梅ヶ原	社寺跡	その他	山麓	畑地 その他	石塔・石仏・字名
463 - 005	菖蒲嶽城遺跡	梅ヶ原	城館跡	中世	山頂	山林	削平地・堀切有り・堅堀(彦根市)
463 - 006	三郎谷古墳	米原	古墳	古墳	丘陵	山林	マウンド有り
463 - 007	米原駅前遺跡	下多良	集落跡	古墳	平地	宅地	須恵器・土師器
463 - 008	米原駅西遺跡	梅ヶ原	集落跡	弥生	平地	水田	弥生土器
463 - 009	岩谷遺跡	米原・岩脇	生産遺跡	近世	山腹	山林	窯壁材・須恵器・土壘・米原焼
463 - 010	太尾山城遺跡	米原・西門寺	城館跡	中世	山頂	山林	米原氏の居城・削平地・土壘・堀切
463 - 012	中多良遺跡	中多良	集落跡	弥生	平地	水田	石皿
463 - 013	立花遺跡	中多良	集落跡	弥生～ 奈良	平地	水田	昭和62年発掘調査・弥生土器・管玉
463 - 014	蘭華寺遺跡	中多良	社寺跡	奈良～ 中世	平地	水田	歎喜光寺・子院ニヶ寺の一・須恵器・瓦
463 - 015	下定使遺跡	下多良	集落跡	古墳	平地	水田	昭和61年発掘調査・土師器・須恵器・古墳時代の包含層
463 - 016	中多良入江内湖 周辺遺跡	下多良	集落跡	古代～ 奈良	平地	水田	万年通宝
463 - 017	大乾古墳群	上多良	集落跡 古墳群	縄文～ 奈良	平地	水田	
463 - 018	本願寺遺跡	上多良	集落跡 社寺跡	古墳～ 中世	平地	水田	昭和62年発掘調査・古式土師器
463 - 019	筑摩御厨跡遺跡	朝妻筑摩	官衙跡	奈良～ 平安	平地	畑地	昭和60年発掘調査・須恵器・緑釉・鉄器・奈良～平安の包含層
463 - 020	筑摩佃遺跡	朝妻筑摩	集落跡	縄文～ 弥生	平地	水田	縄文早～晩期土器
463 - 021	朝妻遺跡	朝妻筑摩	散布地	中世	平地	畑地 その他	灰釉・陶器
463 - 022	朝妻湊跡遺跡	朝妻筑摩	港跡	奈良～ 中世	湖岸 湖	水中	灰釉・須恵器
463 - 023	朝妻城遺跡	朝妻筑摩	城館跡	中世	平地	畑地 その他	新庄氏の居城・堀の痕跡あり
463 - 024	法善寺遺跡	朝妻筑摩	社寺跡	その他	平地	宅地 その他	
463 - 025	今江寺遺跡	朝妻筑摩	社寺跡	古代～ 中世	平地	畑地 その他	筑摩神社の神宮寺・土師器
463 - 026	尚江千軒遺跡	朝妻筑摩	散布地	古代～ 中世	湖岸 湖	水中	須恵器・灰釉
463 - 027	ヒジリ山古墳	磯	古墳	古墳	山頂	山林	マウンド有り
463 - 028	磯湖底遺跡	磯	集落跡	縄文	湖	水中	昭和60年試掘・縄文時代後・晩期の包含層・縄文土器
463 - 029	円山西古墳	磯	古墳	古墳	山麓	山林	(消滅)
463 - 030	宮田遺跡	磯	集落跡	弥生	平地	水田	(彦根市)
463 - 031	虎ヶ城遺跡	磯	城館跡	中世	山頂	山林	削平地有り
463 - 032	神塚古墳	磯	古墳	古墳	山頂	山林	マウンド有り
463 - 033	袖塚遺跡	磯	集落跡	弥生	山麓	水田	石斧
463 - 035	埋塚古墳	磯	古墳	古墳	平地	山林	マウンド有り
463 - 036	矢倉川遺跡	磯	散布地	縄文～ 平安	河川	河川	縄文早期土器(彦根市)
463 - 037	物生山遺跡	磯	集落跡	弥生	平地	水田	弥生土器(彦根市)
463 - 038	磯湖岸遺跡	磯	散布地	弥生～ 古墳	湖岸 湖	水中	須恵器・土師器
463 - 039	磯崎古墳群	磯	古墳群	古墳	丘陵	山林	円墳5基・横穴式石室・須恵器・鉄器(消滅)
463 - 040	磯山遺跡	磯	集落跡	縄文～ 奈良	丘陵 山麓	山林 畑地	昭和59年発掘調査・縄文時代早～晩期の土器
463 - 041	磯山城遺跡	磯	城館跡	中世	山頂	山林	磯野氏の居城・削平地有り

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
463 - 042	堂谷遺跡	磯	社寺跡	白鳳	山麓	山林畑地	瓦片・鴟尾
463 - 043	入江内湖西野遺跡	磯	集落跡	弥生～古墳	平地	水田	掘立柱建物3棟・貯蔵穴・弥生土器・古式土師器
463 - 044	入江内湖遺跡	磯	集落跡	縄文～平安	平地	水田	土器・石器・玉類・丸木舟・木製品・漆器
463 - 045	石淵山古墳群	河南	古墳群	古墳	山腹	山林	円墳数基・横穴式石室・内行花文鏡・馬具・金環出土(半壊)
463 - 046	三吉古墳	三吉	古墳	古墳	平地	宅地	石棺出土と伝えられる(消滅)
463 - 047	樋口城遺跡	三吉	城館跡	中世	平地	宅地	
463 - 048	門根城遺跡	三吉	城館跡	中世	平地	宅地	
463 - 049	神事原遺跡	番場	集落跡	平安～中世	平地	水田	須恵器・白磁
463 - 050	番場遺跡	番場	集落跡	縄文	山麓	宅地	石棒・石斧
463 - 051	殿屋敷遺跡	番場	城館跡	中世	山麓	畑地	堀氏の居館・土塁有り
463 - 052	六波羅山遺跡	番場	その他墓跡	中世	山腹	山林	伝北条仲時の墓・石灰岩製五輪塔
463 - 053	不動谷瓦窯跡	番場	生産遺跡	白鳳	山腹	山林	瓦(消滅)
463 - 054	本授寺遺跡	番場	社寺跡	中世	山麓	その他	
463 - 055	番場城遺跡	番場	城館跡	中世	山頂	山林	城主未詳・削平地・堀切
463 - 056	今福寺遺跡	番場	社寺跡	中世	山麓	山林	石仏・石塔
463 - 057	地頭山城遺跡	三吉・寺倉	城館跡	中世	山頂	山林	堀氏の居城・堅堀・削平地・堀切
463 - 058	蓮華寺遺跡	番場	社寺跡	中世	山麓	その他	聖徳太子創建伝承・備前壺・瀬戸水差
463 - 059	薬師谷遺跡	三吉	社寺跡	その他	山麓	山林	
463 - 060	鎌刃城遺跡	番場	城館跡	中世	山頂	山林	削平地・土塁・石垣・堀切(国史跡)
463 - 061	上野館遺跡	一色	城館跡	中世	山麓	畑地	
463 - 062	等倫寺古墳	一色	古墳	古墳	山麓	その他	円墳1基・横穴式石室
463 - 063	醒井古墓遺跡	醒井	その他墓跡	中世	丘陵	山林	瀬戸三耳壺
463 - 064	醒井城遺跡	醒井	城館跡	中世	丘陵	山林	
463 - 065	醒井神籠石様列石遺跡	醒井・多和田	石塁	その他	山頂	山林	
463 - 066	森の谷古墳	醒井	古墳	古墳	山麓	山林	円墳1基・横穴式石室・人骨・須恵器(消滅)
463 - 067	地藏堂前遺跡	醒井	散布地	弥生	平地	宅地	石斧
463 - 068	片山古墳群	枝折	古墳群	古墳	山腹	山林	円墳3基・横穴式石室
463 - 069	三大廃寺遺跡	枝折	社寺跡	白鳳	平地	水田	甕棺墓・基壇・瓦・須恵器・集落・掘立柱建物13棟
463 - 070	塚原古墳群	枝折	古墳群	古墳	平地	水田	昭和58年発掘調査・円墳3基・横穴式石室・人骨・竪穴建物3棟・須恵器・馬具・玉類
463 - 071	耳谷古墳	枝折	古墳	古墳	山腹	山林	円墳1基・横穴式石室
463 - 072	枝折城遺跡	枝折	城館跡	中世	山頂	山林	土肥氏の居城・削平地・堀切有り
463 - 073	江竜遺跡	下丹生	集落跡	縄文～弥生	山腹	山林	石斧
463 - 074	朝倉B遺跡	下丹生	集落跡	縄文～奈良	平地	水田	石器剥片・縄文土器
463 - 075	朝倉古墳群	下丹生	古墳	古墳	山麓	山林	2基以上の石材露出
463 - 076	朝倉A遺跡	下丹生	集落跡	縄文～奈良	平地	畑地	石器剥片・凹石
463 - 077	下丹生古墳	下丹生	古墳	古墳	山麓	山林	円墳・横穴式石室(市史跡)
463 - 078	上丹生C遺跡	上丹生	集落跡	奈良	平地	畑地	須恵器
463 - 079	松尾寺遺跡	上丹生	社寺跡	奈良～中世	山腹	山林	神護景雲3年役小角創建伝承・土師器・陶器・基壇・坊跡多数(県史跡)
463 - 080	上丹生B遺跡	上丹生	集落跡	縄文～奈良	平地	畑地	石器剥片・須恵器
463 - 081	法惟坊遺跡	上丹生	社寺跡	平安	山腹	山林	石塔
463 - 082	上丹生A遺跡	上丹生	集落跡	縄文～弥生	山麓	その他	石斧
463 - 083	狐塚古墳	上丹生	古墳	古墳	山腹	山林	積石塚状遺構・古墳?
463 - 084	樽ヶ畑遺跡	樽ヶ畑	社寺跡	その他	山腹	山林	
463 - 085	細尾洞窟遺跡	番場	散布地	中世	山腹	山林	
463 - 086	八坂神社遺跡	三吉	散布地	縄文～中世	山麓	その他	鎌倉時代九重石塔・凹石
464 - 001	舟崎山古墳群	舟崎	古墳群 散布地	縄文・古墳	丘陵	山林	円墳数基・横穴式石室・須恵器・石器剥片(長浜市)

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
464 - 002	法勝寺遺跡	高溝	集落跡 社寺跡	縄文～ 中世	平地	水田	縄文土器・前方後方周溝墓
464 - 003	狐塚遺跡	高溝	古墳 集落跡	縄文～ 鎌倉	平地	水田	帆立貝式古墳・円墳3基・埴輪・掘立柱建物・ 井戸・瓦・礎石・縄文土器
464 - 004	高溝遺跡	高溝・顔戸	集落跡	縄文～ 平安	平地	水田 宅地	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・施釉 陶器・埴輪・奈良制遺構
464 - 005	一本木遺跡	顔戸	散布地	縄文～ 平安	平地	畑地	石器剥片・須恵器・灰釉陶器
464 - 006	亀塚遺跡	顔戸	古墳 散布地	弥生・ 奈良	平地	その他	弥生土器・須恵器・土師器・埴輪・古墳(消 滅)
464 - 007	笹塚遺跡	顔戸	古墳	古墳	平地	畑地	須恵器
464 - 008	山ノ前遺跡	顔戸	散布地	縄文	山腹	山林	石斧
464 - 009	神郷遺跡	顔戸	散布地	その他	山麓	その他	柱跡
464 - 010	池野屋敷遺跡	顔戸	城館跡	その他	山麓	宅地	土塁(消滅)
464 - 011	辻ノ前遺跡	顔戸	散布地	古墳～ 平安	平地	水田 宅地	土師器・灰釉陶器
464 - 012	田中屋敷遺跡	顔戸	城館跡	その他	平地	山林	
464 - 013	不明庵遺跡	顔戸	社寺跡	その他	山腹	山林	
464 - 014	鳴子塚古墳	顔戸	古墳	古墳	平地	畑地	
464 - 015	靱井屋敷遺跡	顔戸	城館跡	中世	平地	宅地 山林	
464 - 016	浄蓮寺遺跡	顔戸	集落跡 散布地 社寺跡	縄文・ 奈良・ 中世	平地	水田	字名あり・墓棺・縄文土器・須恵器・輸入陶 磁器
464 - 017	安養寺遺跡	顔戸	散布地 社寺跡	中世	山麓	畑地	石斧・礎石・日撫神社別当神宮寺跡
464 - 018	顔戸遺跡	顔戸	集落跡	縄文～ 古墳	平地	水田 宅地	縄文土器・弥生土器・土師器・灰釉陶器・ 輸入陶磁器
464 - 019	正光寺遺跡	顔戸	社寺跡	その他	平地	水田 宅地	字名あり
464 - 020	長門寺遺跡	顔戸	集落跡 社寺跡	弥生・ 中世	平地	水田 畑地	字名あり・土師器
464 - 021	人塚山古墳	顔戸	古墳	古墳	山麓	山林	三段築成前方後円墳・須恵器
464 - 022	舟崎遺跡	舟崎	経塚	その他	丘陵	山林	陶製経筒・経
464 - 023	日撫山古墳	顔戸	古墳	古墳	丘陵	山林	方墳
464 - 024	仏光寺遺跡	顔戸	社寺跡	その他	山麓	山林	日撫神社別当寺
464 - 025	円光寺遺跡	顔戸	社寺跡	その他	山腹	山林	日撫神社別当寺
464 - 026	勝正寺遺跡	顔戸	社寺跡	その他	山麓	山林	日撫神社別当寺
464 - 027	後別当古墳	顔戸	古墳	古墳	丘陵	山林	帆立貝式古墳
464 - 028	大正寺古墳	顔戸	古墳	古墳	丘陵	山林	円墳
464 - 029	黄牛塚古墳	顔戸	古墳	古墳	山腹	山林	円墳・横穴式石室(消滅)
464 - 030	顔戸山岩遺跡	顔戸	古墳 城館跡	古墳・ 中世	丘陵	山林	埴輪
464 - 031	院内遺跡	顔戸	生産遺跡	江戸	山腹	山林	製鉄跡・鉄滓
464 - 032	甲塚古墳	顔戸・日光寺	古墳	古墳	丘陵	山林	1号墳(円墳・葺石)・2号墳(方墳)
464 - 033	稗田遺跡	顔戸・新庄	散布地	古墳	平地	水田	土師器
464 - 034	長沢城遺跡	長沢	城館跡	その他	平地	宅地	保元3年長沢太郎冠者土佐守築城・字名あり
464 - 035	福田寺遺跡	長沢	社寺跡	その他	平地	その他	白鳳12年名超童子創建伝承
464 - 036	長沢関跡	長沢	関跡	その他	平地	畑地	御陣屋と称する
464 - 037	長沢遺跡	長沢	集落跡	弥生～ 平安	平地	水田	土器・木製品
464 - 038	西火打遺跡	長沢	集落跡	平安	平地	水田 畑地	掘立柱建物
464 - 039	奥松戸遺跡	長沢	集落跡 社寺跡	その他	平地	水田 山林	瓦・法性寺跡・末寺・宿坊残存・方形周溝墓
464 - 040	北松戸遺跡	長沢・宇賀野	散布地	その他	平地	水田 畑地	須恵器
464 - 041	土川湖底遺跡	長沢・宇賀野・高 溝	集落跡	縄文～ 鎌倉	湖	水中	縄文土器・須恵器・山茶碗
464 - 042	宇賀野館遺跡	宇賀野	城館跡	その他	平地	宅地	
464 - 043	遠藤屋敷遺跡	宇賀野	城館跡	中世	平地	宅地 畑地	

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
464 - 044	三田村屋敷遺跡	宇賀野	城館跡	中世	平地	宅地 畑地	
464 - 045	大王寺遺跡	宇賀野	社寺跡	その他	平地	水田	字名
464 - 046	碓遺跡	宇賀野	集落跡	古墳～ 奈良	平地	水田 その他	土師器・須恵器・奈良時代・掘立柱建物・南北地割
464 - 047	五反田遺跡	宇賀野	集落跡	弥生～ 古墳	平地	水田	弥生土器
464 - 048	墓町古墳	宇賀野	古墳	古墳	平地	水田	円墳・土師器
464 - 049	塚町古墳	宇賀野	古墳	古墳	平地	水田	円墳
464 - 050	宇賀野墓町遺跡	宇賀野	集落跡	弥生	平地	水田 畑地	弥生土器
464 - 051	歓喜光寺遺跡	宇賀野	社寺跡	その他	平地	その他	礎石・須恵器・文武天皇元年義淵創建
464 - 052	金光寺遺跡	飯	社寺跡	平安	平地	水田	灰釉陶器
464 - 053	若宮城遺跡	飯	城館跡	その他	平地	宅地 畑地	
464 - 054	出原遺跡	飯	散布地	その他	平地	宅地 水田	須恵器
464 - 055	飯村館遺跡	飯	城館跡	中世	平地	宅地	
464 - 056	飯村城遺跡	飯	城館跡	その他	平地	宅地	
464 - 057	普明庵遺跡	飯	社寺跡	その他	平地	水田	
464 - 058	正恩寺遺跡	飯	社寺跡	その他	平地	水田	瓦・字名あり
464 - 059	地藏堂遺跡	飯	社寺跡	その他	平地	水田	瓦・掘立柱建物
464 - 060	黒田遺跡	顔戸・箕浦	集落跡	縄文～ 平安	平地	水田	須恵器・灰釉陶器・縄文土器・弥生土器
464 - 061	世継館遺跡	世継	城館跡	その他	平地	宅地	
464 - 062	世継遺跡	世継	集落跡	縄文～ 鎌倉	平地	宅地 水田 畑地	縄文土器・石鏃・弥生土器・須恵器・土師器
464 - 063	世継寺遺跡	世継	社寺跡	その他	平地	水田	字名あり
464 - 064	多和田哨峯遺跡	多和田	城館跡	中世	山頂	山林	
464 - 065	多和田城遺跡	多和田	城館跡	その他	山頂 山腹	山林	
464 - 067	聖谷遺跡	多和田	社寺跡	その他	山頂	山林	石塔・石仏
464 - 068	安能寺遺跡	能登瀬	社寺跡	鎌倉	丘陵	山林	山茶碗・青磁・瓦
464 - 069	岩井遺跡	能登瀬	散布地	縄文・ 弥生	平地	水田	縄文土器・石斧
464 - 070	宮ノ前北遺跡	能登瀬	散布地	中世	山麓	水田	須恵器・窯壁片
464 - 071	青木館遺跡	能登瀬	城館跡	中世	山腹	山林	
464 - 072	中村屋敷遺跡	能登瀬	城館跡	中世	平地	山林	
464 - 073	能登瀬遺跡	能登瀬	生産遺跡	その他	丘陵	山林	製鉄跡・鉄滓
464 - 074	能登瀬城遺跡	能登瀬	城館跡	中世	平地	宅地 畑地	
464 - 075	奥深古墳群	能登瀬	古墳群	古墳	丘陵	山林	円墳数基
464 - 076	百如庵遺跡	能登瀬	社寺跡	江戸	丘陵	山林	
464 - 077	善性寺遺跡	能登瀬	社寺跡	その他	丘陵	その他	延喜年間創建という
464 - 078	山津照神社古墳	能登瀬	古墳	古墳	丘陵	その他	前方後円墳・横穴式石室・埴輪・鏡・馬具（ 県史跡）
464 - 079	宮ノ前遺跡	能登瀬	社寺跡	その他	平地	畑地	坊地という
464 - 080	日光寺峯遺跡	日光寺	城館跡	中世	平地	宅地 水田 山林	
464 - 081	日光寺山峯遺跡	日光寺	城館跡	中世	山麓	山林	
464 - 082	定納古墳群	日光寺	古墳群	古墳	丘陵	山林	円墳数基
464 - 083	大林寺遺跡	日光寺	社寺跡	その他	山麓	宅地 畑地	字名あり
464 - 084	日光寺遺跡	日光寺	散布地 社寺跡	その他	山麓	その他	坊跡あり・元慶年間名超童子創建伝承
464 - 085	寺倉遺跡	寺倉	集落跡	中世	平地	宅地 水田	
464 - 086	天皇谷遺跡	寺倉	散布地	その他	山麓	山林	石垣
464 - 088	総寧寺館遺跡	寺倉	城館跡	その他	山麓	山林 その他	土塁

参考資料

遺跡番号	遺跡名	所在地	種類	時代	立地	現状	備考
464 - 089	新庄箕浦城遺跡	新庄	城館跡	その他	平地	水田 畑地	今井氏本城・字名あり・掘立柱建物・堀
464 - 090	塚の越古墳	新庄	古墳	古墳	平地	山林	前方後円墳・鏡・金環・玉類・埴輪・鉄刀
464 - 091	塚の越砦遺跡	新庄	城館跡	その他	平地	山林	土壘
464 - 092	大正寺遺跡	新庄	社寺跡	その他	山麓	その他	日撫神社別当寺
464 - 093	新庄遺跡	新庄・顔戸	集落跡	鎌倉～ 江戸	平地	水田 宅地	須恵器・土師器・山茶碗・陶器・石製硯
464 - 094	井戸村館遺跡	箕浦	城館跡	中世	平地	宅地	
464 - 095	今井屋敷遺跡	箕浦	城館跡	その他	平地	畑地	
464 - 096	箕浦市場遺跡	箕浦	その他	その他	平地	宅地	
464 - 097	誓願寺遺跡	箕浦	社寺跡	その他	平地	宅地	正和年中創建という
464 - 098	埋塚遺跡	箕浦・顔戸	集落跡	弥生～ 平安	平地	水田 畑地	方形周溝墓・掘立柱建物跡
464 - 099	西円寺砦跡	西円寺	城館跡	中世	山頂	山林	
464 - 101	西円寺遺跡	西円寺	集落跡	弥生～ 中世	平地	水田 畑地	弥生土器・灰釉陶器・竪穴建物・円形低墳丘墓
464 - 102	神塚古墳	西円寺	古墳	古墳	丘陵	山林	円墳
464 - 103	西円寺館遺跡	西円寺	城館跡	その他	山腹	山林	
464 - 104	黒堂遺跡	西円寺	生産遺跡	奈良	山腹	山林	窯跡・須恵器
464 - 105	岩脇遺跡	岩脇	集落跡	飛鳥～ 平安	平地	宅地 水田 その他	須恵器・土師器
464 - 107	護寧寺遺跡	岩脇	社寺跡	その他	山麓	山林	歡喜光寺三千別院の一
464 - 108	アマタビ遺跡	顔戸	祭祀跡	その他	山頂	山林	帆立貝形古墳・雨乞祭場
463 - 087	丹生堂山砦跡	上丹生	城館跡	中世	山頂	山林	
463 - 088	米泉寺遺跡	米原	社寺跡	中世	丘陵	その他	
463 - 089	大谷遺跡	西円寺	散布地	古代	山麓	原野	
463 - 090	朝日遺跡	朝日	その他墓跡	中世	山腹	山林	
461 - 170	五色の滝石切り場跡	曲谷	その他	鎌倉～ 近代	谷	谷 山林	
202 - 023	矢倉川遺跡	彦根市松原町	散布地	縄文～ 平安	河川	水田 河川	
202 - 026	松原内湖遺跡	彦根市松原町	集落跡	旧石器～ 近世	平地	水田 山林 その他	小銅鐸・土坑・彦根藩火薬庫跡・竪穴建物・古墳
202 - 086	物生山西遺跡	彦根市宮田町	散布地	その他	山麓	山林	
202 - 100	菖蒲嶽砦跡	彦根市中山町	城館跡	中世	山頂	山林	
203 - 144	馬塚古墳	長浜市石田町	古墳	古墳	山頂	山林	円墳
203 - 158	梶原古墳群	長浜市堀部町	古墳群	古墳	山頂	山林	円墳数基
203 - 160	小倉谷古墳	長浜市堀部町	古墳	古墳	山頂	山林	円墳
203 - 163	横山城遺跡	長浜市堀部町	城館跡	その他	山頂	山林	土壘
203 - 168	北平古墳	長浜市保多町	古墳	古墳	山頂	山林	円墳
203 - 173	堂ノ前古墳群	長浜市垣籠町	古墳群	古墳	山頂	山林	円墳5基
203 - 175	坂南古墳	長浜市垣籠町	古墳	古墳	山頂	山林	前方後円墳
203 - 209	鳥羽上城遺跡	長浜市鳥羽上町	城館跡	室町	山頂	山林	郭
203 - 216	馬塚古墳	長浜市鳥羽上町	古墳	古墳	山頂	山林	円墳
203 - 226	名越ごえの山城遺跡	長浜市名越町	城館跡	その他	山頂	山林	
203 - 229	富施寺遺跡	長浜市布勢町	社寺跡	その他	山腹	山林	字名残存
203 - 237	舟崎山古墳群	長浜市小一条町	古墳群	古墳	山頂	山林	円墳数基・横穴式石室・須恵器
203 - 251	木ノ根町遺跡	長浜市加田今町	集落跡	弥生・ 中世	平地	水田	
481 - 001	七廻り峠遺跡	長浜市鍛冶屋町	城館跡	中世	山腹	山林	

※ 202-023 以下は、市境に位置していることからここではあえて明記している。

『令和3年度 滋賀県遺跡地図』（滋賀県、令和3年）より作成

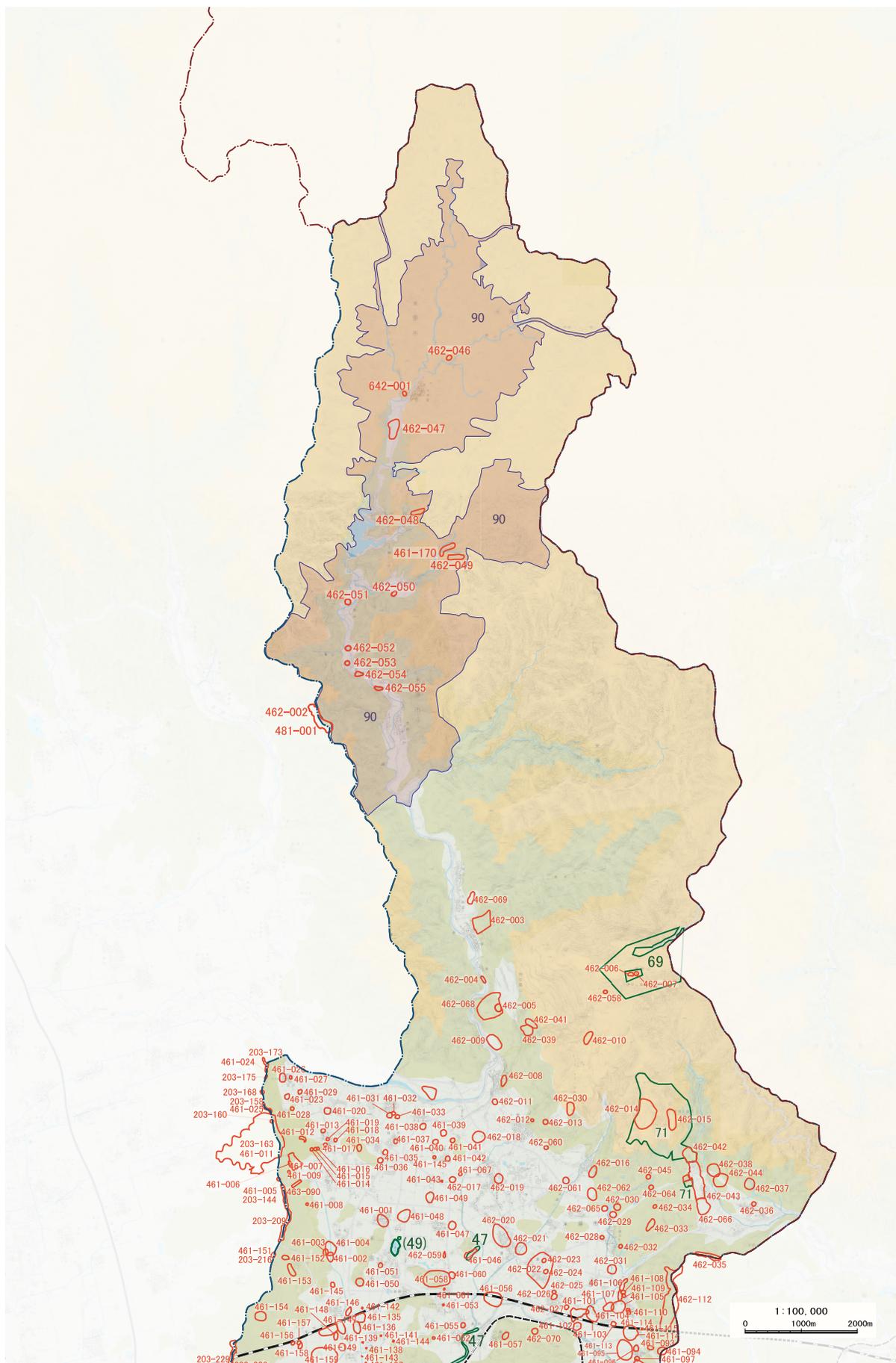


図 1-1 米原市内の埋蔵文化財包蔵地

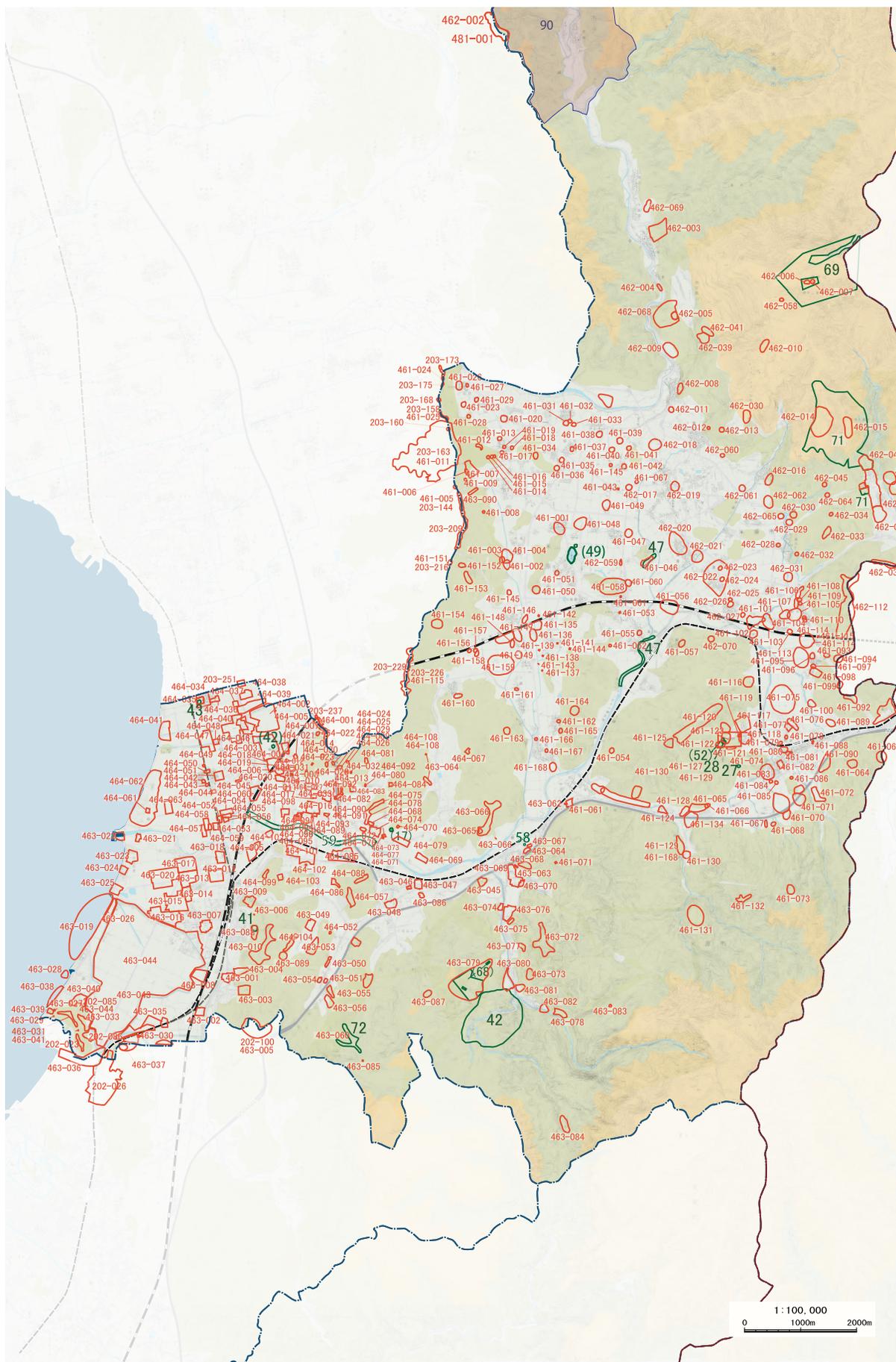


図 1-2 米原市内の埋蔵文化財包蔵地

参考資料

表 3 保存活用計画等の作成状況

計画名称	策定年	対象文化財
名勝青岸寺庭園保存管理計画書	平成 20 年	名勝 青岸寺庭園
米原市東草野の山村景観保存活用事業報告書（保存活用計画）	平成 25 年	重要文化的景観東草野の山村景観
天然記念物「伊吹山頂草原植物群落」保存管理計画書	平成 28 年	天然記念物 伊吹山頂草原植物群落
重要文化的景観 米原市東草野の山村景観整備活用計画書	令和 3 年	重要文化的景観 東草野の山村景観
史跡清滝寺京極家墓所保存活用計画	令和 4 年	史跡 清滝寺京極家墓所
旧常喜医院主屋ほか 4 棟保存活用計画	令和 4 年	国登録有形文化財 旧常喜医院

表 4 文化財の保存管理状況

施設名称	収蔵資料内容	備考
柏原宿歴史館	主に美術工芸品、古文書	2 階建ての土蔵を収蔵庫として使用
伊吹山文化資料館	旧伊吹町の発掘調査出土品、美術工芸品、民俗文化財	発掘出土品の収蔵庫および、2 階建ての収蔵庫あり
旧いぶき保育園	旧近江町・旧山東町の発掘調査出土品、旧大原収蔵庫の収蔵品	平屋建ての旧保育園舎を使用
旧息郷小学校	旧米原町の発掘調査出土品、民俗文化財	旧小学校校舎の 2 階の一角を使用
山東支所 資料室	章斎文庫史料ほか古文書史料	山東支所旧食堂棟 1 階を使用
旧東草野小中学校	東草野地域の民俗文化財	旧校舎の 2 階の一角を使用

表 5 米原市内の展示公開施設

施設名	開館年	設置目的（条例に基づく）	備考
柏原宿歴史館	平成 10 年	郷土の歴史、芸術、民俗等に関する資料を保存し、かつ、その活用を図り、歴史文化の交流を通じたまちづくりの拠点施設	直営施設 / 国登録有形文化財
伊吹山文化資料館	平成 10 年	伊吹山に抱かれた郷土の自然、歴史、民俗等に関する資料を保存し、かつ、その活用を図り、市民文化の向上および文化財保護思想の普及を図る	指定管理施設（管理運営のみ）
近江はにわ館	平成 11 年	教育の振興を図り、地域文化の向上と芸術活動の推進	直営施設 ・埴輪等出土した文化財の保全、継承および情報提供 ・地域文化資料の整備、調査研究および情報提供
醒井宿資料館	平成 12 年	中山道醒井宿の歴史、文化等に関する資料を収集、保管、展示公開および活用	指定管理施設 / 国登録有形文化財、市指定建造物
東草野山村博物館	令和 4 年	（条例未設置）	直営施設 重要文化的景観のガイダンス施設
（仮称）歴史資料館（旧常喜医院）		（条例未設置）	国登録有形文化財

表 6 米原市内の展示公開施設の概要

施設名	概要
柏原宿歴史館	大正 6 年に建てられた旧松浦邸（大正 6 年（1917 年）建築、平成 12 年（2000 年）に国登録有形文化財）を活用した施設であり、一部を改修したうえで平成 10 年（1998 年）に開館した。歴史館は柏原宿をはじめとした宿場町・街道に関する展示、近隣に所在する徳源院や成菩提院等が所有する美術工芸品の企画展示のほか、広く文化財や歴史文化を取上げた講座を行っている。 また、施設には地域からの共同出資によって運営される「喫茶 柏」が併設されており、まちづくりや地域の憩いの場としての側面も持つ。
伊吹山文化資料館	廃校となった旧春照小学校春照分校の校舎を改修し平成 10 年（1998 年）に開館した。「伊吹山地とその山麓の自然と文化」をテーマとし、開館の準備段階から「資料館づくり友の会」との協働で資料の収集や展示内容の検討を実施した「手作りの資料館」であり、平成 15 年（2003 年）には文部科学省の「全国廃校リニューアル 50 選」に選定されている。 資料館では、伊吹山や本市の歴史文化に関する企画展のほか、講座事業として「いぶき歴史アカデミー」（年 11 回）、古文書教室（年 11 回）、「こども体験教室 伊吹まるかじり隊」（年 13 回）の開催、市内小学校 3 年生の社会科授業「くらしの移りかわりの体験」（昔の暮らし体験）を行っている。
近江はにわ館	近江図書館に併設され、息長古墳群から出土した埴輪等の出土した文化財の保全や地域文化資料の整備、調査研究および情報提供を目的として平成 11 年（1999 年）に開館した。 開館当初は、息長古墳群に関する展示を行っていたが、平成 29 年（2017 年）に一新され、現在は文化・芸術の展示会場として整備されている。文化財、歴史文化に関する展示としては、旧常喜医院所蔵の美術工芸品の展示「旧常喜医院伝来の名品」（令和元年（2019 年）度、令和 2 年（2020 年）度）、「企画展 息長古墳群の埴輪と鏡」（令和元年（2019 年）度）を実施している。
醒井宿資料館	醒井宿資料館は旧醒井郵便局局舎（大正 4 年（1915 年）建築、平成 10 年（1998 年）に国登録有形文化財）および川口家住宅（旧醒井宿問屋場）（江戸時代、平成 10 年（1998 年）に市指定建造物）を活用し、平成 12 年（2000 年）に開館した。資料館では、中山道醒井宿や鉄道に関する展示を行っているほか、8 月の盆祭り行事である地藏祭りの時期には、旧問屋場で「陶あかり展」を行っている。
（仮称）歴史資料館（常喜医院）	旧常喜医院（明治 37 年（1904 年）ほか建築、令和元年（2019 年）に国登録有形文化財）を活用する施設である。かつて地域医療を担った施設がそのままの姿で残されており、診察室や書院、庭園等、近代和風建築の優美な姿を現代に伝える。本施設は「旧常喜医院主屋ほか 4 棟保存活用計画」（令和 4 年（2022 年））に基づき、資料館施設として整備を進めるほか、施設の公開事業を実施した（令和 4 年（2022 年）度）。

参考資料

施設名	概要
東草野山村博物館	旧東草野小中学校の教室を活用して令和4年7月1日に開設した。重要文化的景観「東草野の山村景観」のガイダンス施設および東草野4集落の民具、特徴的な生業である石臼製造用具と竹刀製造用具を展示しているほか、学校時代のメモリアルな資料を展示している。

表7 開催したシンポジウム

シンポジウム名	開催年度
息長の王と継体天皇	平成19年
湊・舟、そして湖底に沈んだ村	平成20年
天野川流域の古代寺院	平成21年
京極氏の信仰と文化	平成22年
東西文化の交差点（スクランブル）・まいばら	平成23年
北近江考古学事始め	平成24年
近世伊吹山修験—円空・播隆—	平成25年
全国山城サミットプレシンポ	平成26年
石塔造立	平成27年
「近江四高山」霊仙山の山岳信仰	平成28年
霊仙山をめぐる山城	平成29年
遺跡はまちの宝もの	平成30年
息長氏の黎明	令和2年

表8 作成したパンフレット

パンフレット名称	刊行年度
息長氏の遺宝 — 山津照神社古墳とその周辺 —	平成19年
湊・舟、そして湖底に沈んだ村	平成20年
天野川流域の古代寺院 壬申の乱から聖武行幸へ — 古代寺院の役割 —	平成21年
京極家激闘譜 — 京極氏の遺跡、信仰、文化 —	平成22年
東西文化の交差点（スクランブル）・まいばら — 文化は米原を通った —	平成23年
北近江考古学事始め — 地域史を語り続ける埋蔵文化財 —	平成24年
伊吹山と播隆	平成25年
伊吹山と円空	平成25年
伊吹山—荒ぶる神の坐す山の歴史—	平成26年
学校のまわりの宝物 — 遺跡でたどる米原の歴史 —	平成26年
石塔造立—まいばら石造物100—	平成27年
霊仙山 — 「江陽四高山ノ其ノツナリ」 —	平成28年
米原の城 — 城のまちの戦国時代 —	平成29年
米原の縄文 — 縄文人の楽園・まいばら —	平成30年
米原の弥生 — 米作りが始まったころ —	令和元年

表9 出前講座の実施状況

出前講座（令和元年度実績）	実施回数
地域の歩み	12回
伊吹山の歴史とくらし	5回
霊仙山の歴史とくらし	1回
古代豪族息長氏・入門編	1回
湖岸地域の歴史とくらし	1回
城のまち・米原の戦国時代	5回
米原の街道を歩こう	2回
米原の文化的景観	1回
古民具を使った“昔ばなし”で楽しいサロン	5回
こども歴史教室	1回

参考資料

表 10 特集番組一覧

特集番組名	制作年
特集 伊吹山奉納太鼓踊	平成 22 年
京極高次と初 (全 5 回)	平成 23 年
ほっこり旅人氣分 北国脇往還春照宿編	平成 24 年
雪のなかの暮らし 昭和 40 年の甲津原	平成 26 年
5 年ぶりの開催! 春照八幡神社太鼓踊り	平成 26 年
石のまいばら (全 3 回)	平成 28 年
まいばら それは歴史・文化の巷 (全 5 回)	平成 28 年
太鼓や鉦の音が鳴り響く伝統行事 太鼓踊り	平成 28 年
立命館大学 杉沢遺跡発掘	平成 29 年
伊吹山文化資料館 20 周年 友の会とともに	平成 30 年
神農も伊吹山には仰天し 牧野富太郎と伊吹山 (全 2 回)	平成 30 年
まいばらのまつり 山麓の祭・太鼓踊 ※啓発用映像	平成 30 年
伊吹山中学校北国脇往還ウォーク	令和元年
重要文化的景観 東草野の山村景観 (全 3 回)	令和 2・3 年
地域計画特集番組 米原の歴史物語・再発見 (全 4 回)	令和 3・4 年
伊吹山歴史物語 (全 5 回)	令和 4・5 年
史跡清滝寺京極家墓所の全体像に迫る	令和 4 年
朝妻湖底遺跡の調査	令和 4 年

表 11 シティセールス課実施事業概要

事業名	取組内容	
観光振興事業	観光イベントの開催・支援	観光交流イベントへの支援等を実施している。
	観光関連団体への助成	観光客受入体制整備や観光イベントの実施に当たり、米原観光ボランティアガイド協会への支援を実施している。
	一般社団法人びわ湖の素 DMO の運営支援	観光まちづくりを実践し、観光事業の振興と健全なる発展を目指して令和 2 年に設立された (一社) びわ湖の素 DMO の運営を支援し、米原市の観光振興を促進する。当団体では、米原駅観光案内所 (市役所本庁舎 3 階) や観光イベントの開催、販売所「米原市特選品市場 orite CONCE.」(米原駅東口) の運営などを行っている。
	観音寺活性化支援事業	石田三成ゆかりの地、観音寺にスポットを当て、地域とともに観光拠点の整備と観光客の誘致に取り組む「石田三成ゆかりの地観光拠点化計画」に基づき、駐車場、境内の整備等の受入体制の整備を実施した。 また、米原市・彦根市・長浜市と関係する団体との連携により、湖北ゆかりの戦国武将の石田三成の PR を目的とした「三成会議」を組織し、石田三成を巡る周遊ルートの設定や、認知度向上を目指した「三成めし」の募集、クイズラリーの開催等を行っている。
まいばら駅広域観光交流圏コンソーシアム	米原駅が「滋賀県の東の玄関口」となることを目指して広域観光の促進に組んでいる。滋賀県、びわこビジターズビューロー、彦根市、長浜市、高島市、彦根観光協会、近江ツーリズムボード、長浜観光協会、びわ湖高島観光協会、びわ湖の素 DMO とともに広域的な観光情報の発信や広域観光イベントを実施している。	
空家対策事業	第 2 次空家等対策計画 (令和 3 年策定) に基づき、「空家は放置すれば負の遺産、活用すれば地域の宝」をスローガンに、空家等の発生予防、適正な管理および活用、ならびに空家等の活用促進などに総合的に取り組む。非営利団体「まいばら空き家対策研究会」が実施する空家・空地バンクの運営を支援し、空家所有者、移住希望者、地域との「御縁つなぎ」を通じて、空家を活用した移住定住の促進に取り組んでいる。	
シティセールス・移住・定住促進事業	「びわ湖の素 米原」をコンセプトに市の魅力を発信し、認知度の向上と魅力あるまちとしての評価を高めることで移住定住の促進を図る。また、交流人口から関係人口、定住人口への拡大に向けて移住相談窓口の開設や支援金の交付、コワーキングスペースの運営やサテライトオフィス開設支援などを行っている。	

参考資料

表 12 米原市における景観重要区域

指定区域の名称		区域の範囲
琵琶湖景観形成区域		琵琶湖および内湖ならびにこれらの周辺地域のうち、琵琶湖または内湖と一体となって個性ある景観を呈している区域
琵琶湖景観形成区域	琵琶湖景観形成特別地区	琵琶湖景観形成範囲のうち、特に良好な景観を呈していると認められる区域または湖岸と一体となって特に景観形成を図る必要があると認められる区域
沿道景観形成区域	主要地方道大津能登川長浜線沿道景観形成地域	琵琶湖の眺望が良好な主要地方道大津能登川長浜線沿道の区域
	国道 365 号沿道景観形成地域	市の代表的な山稜の眺望が良好な国道 365 号沿道の区域
東草野景観形成区域		豪雪、厳冬期における独特の生活風景と水の利用がみられる姉川上流の山村景観を形成している区域（甲津原、曲谷、甲賀、吉楓の各一部）

表 13 指定された景観形成建造物

指定番号	建造物の種別	所在地	指定理由	指定年月日
1	個人住宅	米原市柏原 2099 番地	宿場町の面影が残る地域で新築された住宅ですが、隣接する建物と軒の高さを揃えたり、建物のつくりや色合いが宿場町と調和するように配慮され、周囲の景観に溶け込んでいる。	平成 27 年 4 月 1 日
2	個人住宅	米原市米原 529 番地	周囲の住宅が格子の活用や漆喰、土壁風の建築物を建設されている中で、ベンガラ塗り（朱色等）の格子等が目立つ建造物となっている。真白な漆喰と鮮やかなベンガラ格子が織りなすコントラストが町家独自の風情をかもしだしており、昔ながらの町家でありながら、レトロモダンな雰囲気を感じることができる。	平成 28 年 4 月 1 日
3	店舗	米原市春照 1597 番地	軒の出が長く、屋根が立派な切妻屋根となっている。お店の玄関周りに駒寄せがあり、黒色の格子状の駒寄せと茶色の木板は綺麗に調和がとれており、デザインに凝っている。	平成 28 年 4 月 1 日
4	個人住宅	米原市藤川 1527 番地	街道の本陣跡で建物の造りが豪華である。広大な道路から玄関までのアプローチには、見事に整えられた生垣が建築物と一体となっている。また、蔵も漆喰と木造で住居と統一感がある。	平成 28 年 10 月 1 日
5	個人住宅	米原市柏原 2098 番地 1	木や漆喰を使うことで、落ち着いた建築物となっており、建築当初の資材で再利用できるものを使って改修されている。また、隣接する建築物と、屋根の高さや外壁の後退位置を合わせており、連続した宿場町の景観として見ることができる要の建築物となっている。なお、所有者の敷地の一部を集落の休憩所として提供されているが、休憩所の片隅に、昔の作り酒屋時代の酒樽が設置されており、当時の面影をみることができる。	平成 29 年 4 月 1 日
6	店舗	米原市醒井 362 番地	街道沿いでは珍しく、間口が広がっている。また、2 階の手すり付の肘掛窓から、街道を眺めることができる造りになっており当時の面影を残している。	平成 29 年 10 月 1 日
7	個人住宅	米原市藤川 1404 番地 1	街道の脇本陣跡で蔵と建物と塀と門の調和がとれている。また、道路側の芝と庭の樹木と同様に綺麗に溶け込んでいる。	平成 30 年 10 月 1 日
8	集会場	米原市柏原 2193 番地 1	外壁の大部分に漆喰を使用しており、窓や出入り口等の開口部は格子を用いているため、建物に統一感がある。建物は町家風であるが、角敷地を活かして、集会場としての機能も兼ねるため縁側も入口にしている。また、当時の半鐘が設けられた火の見櫓とが一体となって、宿場町としての面影が残る建築物となっている。	令和元年 10 月 1 日
9	個人住宅	米原市枝折 329 番地	道路から大きく後退した位置に住宅を建てている。広い庭には松等の樹木を植栽され、田園景観を阻害することなく一体的な景観として溶け込んでいる建築物となっている。	令和 2 年 10 月 1 日
10	資料館	米原市番場 1838 番地	茅葺だった屋根をトタンに変えられているが、適切に維持されており、ベンガラ塗りと漆喰で構成された壁面と、軒の出を支える持送りに見事な細工が施され、見栄えがする。	令和 3 年 12 月 1 日
11	店舗	米原市醒井 378 番地	江戸時代末期から残る建物で、2 階の手すり付の肘掛窓から街道を眺めることができる造りになっており、当時の面影を残している。	令和 4 年 11 月 1 日

参考資料

表 14 文献リスト

◆郡志等

書籍名	刊行年	編さん / 発行
近江坂田郡志 (全3巻)	1913年	坂田郡役所
東浅井郡志 (全4巻)	1927年	滋賀県東浅井郡教育会
改訂近江國坂田郡志 (全8巻)	1941年	滋賀県坂田郡教育会
姉川源流地域学術調査報告書 第1部 自然編 第2部 人文編	1974年	滋賀自然と文化研究会 / 滋賀県
近江の史家 中川泉三著作集 (全6巻)	1978年	中川泉三 / 中川泉三著作集刊行会
わたくしたちの坂田	1987年	坂田郡教育会
史学は死学にあらず	2009年	中川泉三没後70年記念実行委員会 / サンライズ出版

◆村・町史等

書籍名	刊行年	編さん / 発行
醒が井の里	1900年	山岸憲雄
醒井村史	1902年頃	醒井村
入江村誌	1903年	入江西尋常高等小学校
伊吹村誌	1903年	
醒井村名勝案内	1910年	醒井村
息郷村誌	1911年	息郷小学校
第5回歴史展 写真に見る米原の歴史	1987年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
わが町「まいはら」	1996年	米原町商工会
山東町史 本編	1991年	山東町
山東町史 別編	1990年	山東町
山東町史 資料編	1989年	山東町
山東町歴史写真集	1992年	山東町
伊吹町史 自然編	1992年	伊吹町
伊吹町史 通史編上	1997年	伊吹町
伊吹町史 通史編下	1995年	伊吹町
伊吹町史 文化民俗編	1994年	伊吹町
伊吹町史 資料編	1998年	伊吹町
米原町史 通史編	2002年	米原町役場
米原町史 資料編	1999年	米原町役場
近江町史	1989年	近江町役場
ふるさと伊吹探訪シリーズ(1) いぶさまるかじり —イラストマップ—	2003年	伊吹町教育委員会
ふるさと伊吹探訪シリーズ(6) 伊吹のあゆみ—ふるさと歴史読本—	2004年	伊吹町教育委員会

◆指定文化財等集成

書籍名	刊行年	編さん / 発行
伊吹町文化財第1集 伊吹町の文化財	1973年	伊吹町文化財専門委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財第2集 伊吹山寺	1977年	伊吹町文化財専門委員会 / 伊吹町教育委員会
山東町の文化財	1977年	山東町教育委員会
近江町の文化財	1982年	近江町教育委員会
米原町の文化財	1985年	米原町教育委員会
ふるさと山東の文化財	1987年	山東町教育委員会
伊吹町の文化財	1990年	伊吹町教育委員会
米原町の文化財	2001年	米原町教育委員会
米原町史	戦後	米原中学校

◆有形文化財(建造物)

書籍名	刊行年	編さん / 発行
滋賀県緊急民家調査報告書	1969年	滋賀県教育委員会
滋賀県の近世民家 滋賀県近世民家調査報告書	1998年	滋賀県教育委員会
滋賀県の近世社寺建築 近世社寺建築緊急調査報告書	1986年	滋賀県教育委員会
滋賀県近代建築調査報告書	1990年	滋賀県教育委員会

参考資料

書籍名	刊行年	編さん / 発行
近江町文化財調査報告3 福田寺建造物調査報告書	1990年	奈良国立文化財研究所 / 近江町教育委員会・長沢御坊福田寺
滋賀県指定有形文化財福田寺御殿修理工事報告書	1992年	滋賀県教育委員会
滋賀県石造建造物調査報告書	1993年	滋賀県教育委員会
滋賀県の近代和風建築 滋賀県近代和風建築総合調査報告書	1994年	滋賀県教育委員会
米原町近世寺社建築調査	1997年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
滋賀県の近世民家 滋賀県近世民家調査報告書	1998年	滋賀県教育委員会
滋賀県の近代化遺産 滋賀県近代化遺産(建造物等)総合調査報告書	2000年	滋賀県教育委員会
登録有形文化財旧醒井郵便局舎修理工事報告書	2001年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町指定文化財川口家住宅(旧醒井宿問屋場)修理工事報告書	2001年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
山東町文化財資料集2 滋賀県山東町の寺社建築	2002年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
旧米原小学校校舎記録保存委託業務報告書	2016年	滋賀県立大学 濱崎研究室
「遠州好み」茶室燕窓窠 米原市指定文化財「旧田中家新座敷棟」復原事業報告書	2017年	湖北設計・米原市教育委員会 / 西福寺・湖北設計・米原市教育委員会
旧常喜医院主屋ほか4棟保存活用計画報告書	2022年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会

◆有形文化財(美術工芸品)

書籍名	刊行年	編さん / 発行
滋賀県古文書等緊急調査報告二 大原観音寺文書	1975年	滋賀県教育委員会
浄土宗本山蓮華寺史料	1983年	浄土宗本山蓮華寺事務所
滋賀県古文書等所在確認調査報告書	1983年	滋賀県教育委員会
大原郷 四ヶ村共有文書(解説)	1985年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
第3回歴史展 米原の仏教文化展	1985年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
近江町美術工芸品実態調査	1987年	近江町教育委員会
第6回歴史展 古絵図に見る米原のすがた	1988年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
第九回米原の歴史展 米原町の中世文書(-)	1991年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
第8回米原の歴史展 米原町の近世文書 一江戸時代の庶民の統制一	1991年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
米原町金石文調査	1992年	米原町教育委員会
山東町文化財資料集1 山東町の仏像	1993年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
近江大原 観音寺文書 第一	2000年	続群書類従完成会
滋賀県所在古経典緊急調査報告書	2009年	滋賀県教育委員会
滋賀県所在梵音具資料調査報告書	2013年	滋賀県教育委員会
章斎文庫所蔵資料調査報告書 第3巻上	2013年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
章斎文庫所蔵資料調査報告書 第3巻下	2013年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
章斎文庫所蔵資料調査報告書 第1巻上	2014年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
章斎文庫所蔵資料調査報告書 第1巻下	2014年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
章斎文庫所蔵資料調査報告書 第2巻上	2014年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
章斎文庫所蔵資料調査報告書 第2巻下	2014年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 1	2017年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 2	2019年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 3	2020年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 4	2021年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 5	2022年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 6	2022年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 7	2022年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 8	2023年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
柏原宿萬留帳調査報告書 9	2023年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
米原市文献調査報告書I 近江坂田郡柏原村「天正検地帳」「慶長検地帳」「延宝検地帳」	2023年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会

◆有形文化財(歴史資料)

書籍名	刊行年	編さん / 発行
米原町史資料集第1冊 明治の村絵図	1996年	米原町史編さん委員会 / 米原町

参考資料

◆民俗文化財（有形民俗文化財）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
滋賀県文化財調査報告書 第3冊 坂田郡米原町榑ヶ畑民俗資料緊急調査報告	1967年	滋賀民俗学会 / 滋賀県教育委員会
湖東・湖西の山村生活 一離村部落の民俗報告一 昭和40年度実施 坂田郡米原町榑ヶ畑民俗資料緊急調査報告	1968年	滋賀民俗学会
琵琶湖民俗資料緊急調査報告書	1971年	滋賀県教育委員会
滋賀県民俗地図－滋賀県緊急民俗文化財分布調査報告書	1979年	滋賀県教育委員会
滋賀県の民具 付 民俗資料編 滋賀県有形民俗文化財収集調査報告書1	1980年	滋賀県教育委員会
ふるさと山東の民具	1988年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
第7回米原の歴史展 民具 一食一	1989年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
第8回米原の歴史展 民具 一装う一	1990年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
ふるさと伊吹探訪シリーズ（10）曲谷白と吉槻の石仏	2004年	伊吹町教育委員会
曲谷の石工道具	2020年	植田 紘正 / 滋賀県立大学・米原市伊吹山文化資料館

◆民俗文化財（無形民俗文化財）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
太鼓踊 滋賀県山東町朝日太鼓踊調査報告	1965年	朝日太鼓踊保存会
山東昔ばなし	1977年	山東昔ばなし編集委員会 / 山東町史談会
ふるさと近江伝承文化叢書 続 山東昔ばなし	1979年	山東昔ばなし編集委員会 / 山東町史談会
ふるさと近江伝承文化叢書 いろいろばた 伊吹町昔ばなし	1980年	伊吹町教育委員会
ふるさと近江伝承文化叢書 米原町むかし話	1980年	米原町教育委員会
ふるさと近江伝承文化叢書 近江町むかし話	1980年	近江町教育委員会
米原町指定無形民俗文化財調査報告 筑摩の鍋冠祭	1981年	筑摩祭資料編さん委員会 / 米原町教育委員会
滋賀県選択無形民俗文化財調査報告 甲津原頭教おどり	1981年	甲津原頭教踊保存会
山東昔ばなし うたごよみ	1981年	山東昔ばなしうたごよみ編集委員会 / 山東町史談会
伊吹山麓口承文芸資料 伊吹町の民話	1983年	伊吹山麓口承文芸学術調査団
うえのことば	1983年	堀内安治
滋賀県の民話－民謡緊急調査報告書－	1984・85年	滋賀県教育委員会
坂田・浅井・長浜のまつりと行事	1984年	県立伊吹高等学校
第4回歴史展 米原の民俗文化 一祭と伝統行事一	1986年	米原町歴史展実行委員会 / 米原町教育委員会・米原町中央公民館
米原町無形民俗文化財調査報告書2 米原曳山祭	1987年	米原曳山祭調査委員会 / 米原町教育委員会
伊吹山の伝説	1991年	伊吹町史編さん室
伊吹弥三郎	1991年	伊吹町史編さん室
滋賀県選択無形民俗文化財調査報告 伊吹山奉納太鼓踊り	1992年	伊吹町教育委員会 / 伊吹山奉納太鼓踊保存会
滋賀県選択無形民俗資料 流星調査報告書	1993年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
滋賀の伝説シリーズ6 いぶきのやさぶろう	1993年	今関信子・徳永拓美 / 京都新聞社
滋賀県選択無形民俗文化財調査報告書 大野木豊年太鼓踊	1994年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
近江町 伝承文化 おちぼひろい	1994年	近江町伝承文化編集委員会 / 近江町老人クラブ連合会
滋賀県の祭礼行事 滋賀県祭礼行事実態調査報告書	1995年	滋賀県教育委員会
伊吹のむかし話と地域マップ	1995年	伊吹町立伊吹小学校
滋賀県の諸職－滋賀県諸職関係民俗文化財調査報告書－	1996年	滋賀県教育委員会
滋賀県の民俗芸能 滋賀県民俗芸能緊急調査報告書	1998年	滋賀県教育委員会
滋賀県伝統食文化調査	1998年	滋賀県教育委員会
DVD「曲谷のおこない」	1998年	
ふるさと伊吹探訪シリーズ（5）伊吹の太鼓踊	2003年	伊吹町教育委員会
ふるさと伊吹探訪シリーズ（9）伊吹のオコナイ	2004年	伊吹町教育委員会
滋賀県の民俗 一湖東一 太平寺、榑ヶ畑、上丹生	2011年	滋賀県教育委員会
滋賀県選択無形民俗文化財調査報告 春照八幡神社太鼓踊り 附奴振り	2004年	春照太鼓踊り保存会
ふるさとへの熱きおもい ～よみがえる伝統の響き～ 春照八幡神社太鼓踊り附奴振り	2004年	野部博子・田中智容衣 / 光雲社
番場 ふるさとの昔話	2006年	番場ふるさとの昔話採集者一同
滋賀県の自然神信仰 滋賀県自然神信仰調査報告書	2007年	滋賀県教育委員会

参考資料

書籍名	刊行年	編さん / 発行
春照八幡神社太鼓踊附奴振り記念記録集	2009年	春照太鼓踊り保存会
伊吹山奉納太鼓踊記念記録集	2010年	伊吹山奉納太鼓踊保存会
滋賀県の民俗－滋賀県民俗行事まると調査報告書－	2013年	滋賀県教育委員会
伊吹山奉納太鼓踊記念記録集	2015年	伊吹山奉納太鼓踊保存会
滋賀県選択無形民俗文化財調査報告（再録・増備）甲津原顕教おどり	2019年	米原市教育委員会 / 甲津原顕教踊保存会
米原市指定文化財調査報告 志賀神社 華の頭	2020年	市川秀之 / 志賀谷自治会・米原市教育委員会
麻の里 あさのさと	2020年	牛尾千聖・鈴木あき / 甲津原アーカイブ

◆記念物（遺跡）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
佐々木京極氏と近江清滝寺	1985年	西村清雄 / 清滝寺（徳源院）
太平記の世界 「番場蓮華寺セミナー」講演記録集	1992年	米原町中央公民館
古代の坂田 山東の姿	1994年	山田善市
中世山城の郷 番場鎌ノ刃城	1995年	番場の歴史を知り明日を考える会
中世山城の郷2 番場の史跡 鎌刃城址	1996年	番場の歴史を知り明日を考える会
鎌刃城から見た近江の戦国時代 米原町歴史シンポジウム	2001年	米原町教育委員会
京極氏の城・館・庭園 一上平寺館・桐ヶ城（上平寺城）・弥高寺一 伊吹戦国浪漫シンポジウム	2002年	伊吹町・伊吹町教育委員会
伊吹山と佐々木京極	2002年	川瀬春益
京極氏の城・まち・寺 一北近江戦国史一	2003年	伊吹町教育委員会 / サンライズ出版
近江歴史探訪マップ2：乱世を生き抜いた江北の雄～京極氏の足跡を訪ねて～	2004年	滋賀県教育委員会・伊吹町教育委員会編
近江歴史探訪マップ4 西と東のせめぎ合うところ～坂田の城・まち・山の寺～	2004年	滋賀県教育委員会・坂田郡社会教育研究会文化財部会編
ふるさと伊吹探訪シリーズ（8）戦国の城を歩こう一京極氏の上平寺城一	2004年	伊吹町教育委員会
鎌刃城が語る戦国の城 ～今、明らかにされる戦国城郭の実像～ 鎌刃城国史跡答申記念講演会	2005年	米原町教育委員会
近江湖北の山岳信仰	2005年	長浜城歴史博物館 / サンライズ出版
戦国の山城・近江鎌刃城	2006年	米原市教育委員会 / サンライズ出版
全国中・高校生歴史サミット2006 発表資料集	2006年	中央大学全国中・高校生歴史サミット実行委員会
上平寺零れ話	2006年	川瀬春益
住民参加型のシン垣遺構調査と現代的意義を考える	2007年	シン垣ネットワーク
蘇る歴史の彌高山 一国指定史跡一	2007年	山崎仁生
新視点・山寺から山城へ 一近江の戦国時代一 米原市埋蔵文化財活用事業 第4回 山寺サミット	2009年	米原市教育委員会・滋賀県教育委員会・第4回山寺サミット実行委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用ブックレット2（近江の山寺2） 霊仙山と松尾寺の文化財	2010年	滋賀県教育委員会・米原市教育委員会
埋蔵文化財活用ブックレット9（近江の城郭4） 京極氏遺跡群 一京極氏館跡・上平寺城跡・弥高寺跡一	2011年	滋賀県教育委員会・米原市教育委員会
京極氏ゆかりの地 まいばら戦国絵巻	2011年	米原市役所商工観光課
滋賀県有形文化財（史跡）指定記念 松尾寺の歴史と文化遺産	2012年	松尾寺登山道保存会
神秘の彌高山遺跡に思う 一国指定史跡一	2012年	山崎仁生
第22回 全国山城サミット米原大会 資料集	2015年	米原市・米原市教育委員会
国史跡指定十周年記念 まぼろしの山 近江の国弥高山	2015年	山崎仁生
佐々木京極氏と近江清滝寺 淡海文庫54	2015年	西村清雄 / サンライズ出版
伊吹山風土記 近江文庫69	2022年	高橋順之 / サンライズ出版
史跡京極家墓所保存活用計画書	2022年	米原市教育委員会

◆記念物（名勝）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
名勝福田寺庭園修復事業報告書	1998年	宗教法人福田寺
名勝青岸寺庭園保存管理計画書	2010年	京都造形大学 / 青岸寺
名勝青岸寺庭園保存整備事業報告書 一 名勝及び書院保存修理工事一	2018年	（一財）京都伝統建築技術協会・（公財）滋賀県文化財保護協会・米原市教育委員会 / 青岸寺

参考資料

◆記念物（天然記念物）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
膽吹山	1905年	中川泉三
伊吹山名勝記	1913年	中川泉三
伊吹山案内	1919年	中川泉三
伊吹山の薬用植物	1971年	岐阜薬科大学 / 滋賀県厚生部薬務課
伊吹山の植物相とその保全 ー伊吹山総合学術調査報告書ー	1980年	岩田悦行・村瀬忠義・吉田昭市・篠田 滋・新保友之・高橋敏治 / 伊吹山を守る会
伊吹山 植生復元の10年	1983年	大阪セメント株式会社・伊吹山植生復元研究会
三島池およびその周辺の環境調査	1994年	坂田郡山東町三島池周辺学術調査団
天野川源氏堂の保護 70年の歩み	1995年	堀江茂雄・田中万祐・沢田幸三郎 / 天野川源氏堂を守る会
伊吹山ミニ事典	1994年	村瀬忠義 / 名阪近鉄バス 自動車道部 関ヶ原営業所
山東町文化財資料集2 山室湿原の研究	1995年	山東町教育委員会
伊吹山の薬草 ー基礎と応用ー	1997年	水野瑞夫 / 岐阜県揖斐郡春日村
特別展 薬草のふるさと 伊吹	1997年	岐阜県博物館
ハリヨ生態調査報告書	1998年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
伊吹山の植物と伊吹薬草園	1999年	村瀬忠義 / 伊吹町役場
薬草の宝庫 伊吹山	1999年	水野瑞夫 / 伊吹山薬草サミット実行委員会
おじいちゃんからの贈り物 ー美しい湖国の自然を22世紀にー	2000年	口分田政博 / サンライズ出版
里山賛花 ～オオムラサキ舞うかぶと山～	2002年	樋口善一郎
伊吹山の花	2003年	安原修次 / ほおずき書籍
ふるさと伊吹探訪シリーズ(4) いぶきの化石と鉱物	2003年	磯部敏雄 / 伊吹町教育委員会
伊吹町エコミュージアム構想 生態系調査報告書	2004年	イーグレット・オフィス / 伊吹町
山東のほたる	2004年	山東町教育センター
ふるさと伊吹探訪シリーズ(11) ふるさと伊吹の岩石・鉱物・化石	2004年	磯部敏雄 / 伊吹町教育委員会
ふるさと伊吹探訪シリーズ(12) 伊吹の野生	2004年	須藤一成 / 伊吹町教育委員会
ふるさと伊吹探訪シリーズ(13) 伊吹の花・物語	2004年	村瀬忠義 / 伊吹町教育委員会
湖国野鳥散歩 湖国の美しい自然よ、野鳥よ、人々よ、ありがとう	2004年	口分田政博 / サンライズ出版
伊吹山中腹(三合目)の草花ミニガイド	2005年	森 壽朗
淡海文庫32 伊吹百草	2005年	福永円澄 / サンライズ出版
生き物調査(植物・鳥類)報告書(米原市山東地域)	2007年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
伊吹山のお花畑保全事業の歩み 2006年	2007年	村瀬忠義 / 伊吹山を守る会
伊吹山自然観察ガイド	2007年	村瀬忠義・須藤一成・草川啓三 / 山と溪谷社
百名山 伊吹山 花のガイドブック	2008年	加藤久幸
伊吹山案内 登山と山麓ウォーキング	2009年	草川啓三 / ナカニシヤ出版
伊吹山花散歩	2014年	橋本猛 / サンライズ出版
天然記念物「伊吹山頂草原植物群落」保存管理計画	2016年	国指定天然記念物「伊吹山頂草原植物群落」保存管理計画策定委員会 / 米原市教育委員会
米原市自然研究の歩み ーつないだ坂道を越えれば向こうは日本晴れー	2019年	口分田政博 / サンライズ出版

◆記念物（その他：街道関係）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
伊吹艾と亀屋左京	1936年	中川泉三 / 松浦左京
中山道 醒井宿・番場宿 庄屋手控ー「明細帳宝鏡」より(江龍家文書の紹介)	1989年	米原町々史編集委員会
中近世古道調査報告書2 中山道	1996年	滋賀県教育委員会
企画展 みち・ひと・まちー坂田郡の街道・宿場展ー	1998年	坂田郡社会教育研究会文化財部会
中近世古道調査報告6 北国街道・北国脇往還	2003年	滋賀県教育委員会
ふるさと伊吹探訪シリーズ(3) 北国脇往還	2003年	伊吹町教育委員会
中近世古道調査報告7 北国街道・北国脇往還(補遺)	2004年	滋賀県教育委員会
興味しんしん 米原宿へタイムスリップ	2016年	山地道雄
調査時報3号(中山道宿駅制定400年記念) 江州やいとの里	ー	谷村潤一郎 / 柏原学区史跡保存会調査部会

参考資料

◆記念物（その他：水・水利関係）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
入江内湖変遷	1987年	入江干拓土地改良区
水源の里まいばら元気みらいづくり小冊子 水と環	2012年	米原市
スローウォーターなくらし ～未来へ受け継ぐ水源の里まいばらの水文化～	2012年	米原市経済環境部環境保全課
姉川水利の歴史	2016年	高橋順之 / 姉川沿岸土地改良区
水がつなぐ物語 まいばら水奇譚	2019年	米原市
DVD「水のふるさと奥伊吹 一姉川ダム～」	—	

◆伝統的建造物

書籍名	刊行年	編さん / 発行
醒井 旧中山道宿場町 伝統的建造物群保存対策調査	1995年	米原市教育委員会
平成9年度 観光資源保護調査 中山道柏原宿まちなみ調査	1998年	財団法人日本ナショナルトラスト
滋賀県山東町・柏原の町なみ伝統的建造物群保存対策調査	2004年	山東町教育委員会

◆文化的景観

書籍名	刊行年	編さん / 発行
滋賀県坂田郡近江町 村落景観情報（地域別・村落景観情報 第1冊）	1995年	長浜市立長浜城歴史博物館 展示委員会・近江町史談会 / 長浜城歴史博物館
滋賀県坂田郡山東町 村落景観情報（地域別・村落景観情報 第5冊）	2005年	長浜市立長浜城歴史博物館 展示委員会 / 長浜城歴史博物館
琵琶湖と水が織りなす文化的景観所在確認調査報告書	2011年	滋賀県教育委員会
米原市東草野の山村景観保存活用事業報告書	2013年	米原市教育委員会
重要文化的景観 東草野の山村景観—琵琶湖を育む「水源」の景観—	2014年	米原市教育委員会
落人と土地師伝説の地 甲津原のまちおこし	2014年	法雲俊邑 / 一粒書房
東草野のケシキ	2016年	早川鉄兵 / 米原市教育委員会
重要文化的景観 米原市東草野の山村景観整備活用計画書	2021年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
旧米原町醒井学区 村落景観情報	—	長浜市立長浜城歴史博物館 展示委員会 / 長浜城歴史博物館

◆埋蔵文化財

書籍名	刊行年	編さん / 発行
滋賀県史蹟調査報告 第五冊 北畠具行卿の墓、京極氏歴代墳墓	1933年	滋賀県
坂田郡山東町清滝の徳源院の指定史跡京極家墓所宝篋印塔群調査概報	1965年	田岡香逸
高岡塚古墳発掘調査報告書	1985年	山東町教育委員会・(財) 滋賀県文化財保護協会 / 山東町教育委員会・(財) 滋賀県文化財保護協会
坂田郡山東町内遺跡詳細分布調査報告書	1986年	山東町教育委員会・(財) 滋賀県文化財保護協会 / 山東町教育委員会・(財) 滋賀県文化財保護協会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅱ 上向川遺跡発掘調査報告書 —ほ場整備事業に伴う発掘調査—	1987年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅲ ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 法泉寺遺跡 小倉山遺跡 しょうけ塚遺跡	1986年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅳ 菅江遺跡発掘調査報告書	1986年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅴ ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 引塚遺跡 笹原遺跡	1987年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅵ ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 西代遺跡	1989年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅶ ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 松の木古墳遺跡 池下城跡遺跡	1991年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅷ 町内遺跡 一 大原氏館跡・すも塚古墳—	1992年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅸ 町内遺跡 大原氏館跡・すも塚古墳 (第2次)	1993年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会
山東町埋蔵文化財調査報告書Ⅹ 町内遺跡 一 大原氏館跡 (第3次)・観音寺遺跡—	1996年	山東町教育委員会 / 山東町教育委員会

参考資料

書籍名	刊行年	編さん / 発行
『考古学』第九巻 第五號近江坂田郡春照村杉澤遺蹟 縄文式土器合口甕棺発掘報告	1938年	東京考古学会
伊吹町文化財調査報告書第1集 弥高寺跡調査概報	1986年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書2 杉沢遺跡発掘調査概要報告書	1988年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第3集 伊吹町内遺跡分布調査報告書	1992年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第4集 伊吹町内遺跡発掘調査Ⅰ 高番遺跡 杉沢遺跡	1992年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第5集 長尾寺遺跡測量調査報告書 一平安時代創建の山岳寺院遺跡一	1992年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第6集 起し又遺跡発掘調査報告書	1992年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第7集 伊吹町内遺跡調査概報Ⅰ 伊吹町曲谷所在 起し又遺跡・ムカイラ遺跡・伊吹町甲賀所在 大平遺跡・伊吹町大久保所在 長尾寺遺跡 (後谷墓地)	1993年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第8集 伊吹町内遺跡発掘調査2 長尾寺遺跡・ムカイラ遺跡 (第2次)・石臼生産遺跡	1994年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第9集 内座遺跡発掘調査報告書	1995年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第10集 杉沢遺跡甕棺墓の調査 / 谷海道遺跡一伊吹町内遺跡発掘調査Ⅲ一	1996年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第11集 起し又遺跡発掘調査報告書Ⅱ	1998年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第12集 上平寺城跡遺跡群分布調査概要報告書Ⅰ 上平寺館跡	1998年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第13集 上平寺城跡遺跡群分布調査概要報告書Ⅱ 高殿地区 (上平寺南館跡) 一京極氏家臣団屋敷跡一	2000年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第14集 上平寺遺跡一北近江京極氏城館に伴う城下町跡一 寺林遺跡一奈良時代後半から平安時代前半の集落跡一	2001年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第15集 上平寺城跡遺跡群 推定若宮・浅見屋敷跡発掘調査報告書	2002年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第16集 上平寺跡遺跡群 駒繫跡・杉本坊墓地発掘調査報告書	2002年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第17集 上平寺城跡遺跡群分布調査概要報告書Ⅲ 上平寺城跡	2004年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第18集 上平寺遺跡Ⅱ	2004年	伊吹町教育委員会 / 伊吹町教育委員会
伊吹町文化財調査報告書第19集 京極氏遺跡分布調査報告書 一京極氏城館跡・弥高寺跡一	2005年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
滋賀県史蹟調査報告 第六冊 醒井村神筆石様列石	1934年	滋賀県
滋賀県史蹟調査報告 第十二冊 石淵山古墳	1961年	滋賀県教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告Ⅰ 三大寺遺跡群一坂田郡米原町大字枝折所在一	1984年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書Ⅱ 磯山城遺跡一発掘調査速報一	1984年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書Ⅲ 筑摩湖岸遺跡・磯湖岸遺跡試掘調査報告書	1985年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告Ⅳ 磯山城遺跡一琵琶湖辺縄文早期～晩期遺跡の調査一	1986年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書Ⅴ 筑摩湖岸遺跡発掘調査報告書	1986年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書Ⅵ 入江内湖遺跡発掘調査報告書一米原町立小学校新設に伴う発掘調査一	1987年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告Ⅶ ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書	1987年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書Ⅷ 米原町内遺跡分布調査報告書	1988年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告Ⅸ 入江内湖遺跡 (行司町地区) 発掘調査報告書一滋賀県立文化産業交流会館建設に伴う発掘調査一	1988年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告Ⅹ 立花遺跡発掘調査報告書一県営ほ場整備およびかんがい排水路に伴う発掘調査一	1988年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告ⅩⅠ 中多良遺跡発掘調査報告書一県営かんがい排水路事業に伴う発掘調査一	1989年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告ⅩⅡ 本願寺遺跡発掘調査報告書一県営ほ場整備事業に伴う発掘調査一	1989年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告ⅩⅢ 一般国道8号 (米原バイパス) 関連遺跡試掘調査報告書	1989年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告ⅩⅣ 入江内湖西野遺跡 入江内湖西野遺跡発掘調査報告書 一町道彦根・米原線建設に伴う発掘調査一	1991年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書ⅩⅤ 福島城跡・米原駅西遺跡一県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告書一	1992年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書ⅩⅥ 殿屋敷遺跡発掘調査報告書一西番場地区団地営土地改良総合整備事業に伴う発掘調査一	1993年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
米原町埋蔵文化財調査報告書ⅩⅦ 松尾寺遺跡発掘調査報告書	1999年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会

参考資料

第一〇章

第二一章

参考資料

書籍名	刊行年	編さん / 発行
米原町埋蔵文化財調査報告書 X II 鎌刀城跡発掘調査概要報告書—米原町内中世城館跡詳細分布調査に伴う発掘調査—	2001年	米原町教育委員会 / 米原町教育委員会
尚江千軒遺跡	2004年	滋賀県立大学 / サンライズ出版
近江町文化財調査報告書 1 近江町内遺跡分布調査報告書	1987年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書 2 礎遺跡発掘調査報告書	1987年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 4 集 高溝遺跡	1990年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 5 集 顔戸遺跡	1990年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 6 集 法勝寺遺跡	1990年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 7 集 宮の前遺跡	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 8 集 塚塚遺跡	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 9 集 塚塚遺跡 2	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 10 集 塚の越古墳	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 11 集 礎遺跡 2	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 12 集 黒田遺跡	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 13 集 黒田遺跡 2	1991年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 14 集 奥松戸遺跡	1992年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
一般国道 8 号 (米原バイパス) 関連 黒田遺跡試掘調査概報	1992年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 15 集 岩脇遺跡	1993年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 16 集 西円寺遺跡	1993年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 17 集 黒田遺跡 3	1994年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 18 集 近江町埋蔵文化財調査集報 1 国庫補助事業「町内遺跡発掘調査」報告書	1995年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 19 集 近江町埋蔵文化財調査集報 2 一狐塚遺跡発掘調査報告書—	1996年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町地域文化叢書第 1 集 息長古墳群	1996年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 20 集 息長古墳群 1 一遺跡調査委分布調査報告書—	2000年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 21 集 近江町埋蔵文化財調査集報 3 一町内遺跡発掘調査報告書—	2001年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 22 集 近江町埋蔵文化財調査集報 4 一礎遺跡第 3 次発掘調査—	2001年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 23 集 息長古墳群 2	2002年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 24 集 息長古墳群 3 一人塚山古墳発掘調査報告書—	2003年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 26 集 礎遺跡 一第 5 次発掘調査—	2004年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 27 集 近江町埋蔵文化財調査集報 5 一町内遺跡発掘調査報告書—	2005年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
近江町文化財調査報告書第 28 集 定納古墳群	2005年	近江町教育委員会 / 近江町教育委員会
米原市埋蔵文化財調査報告書第 1 集 米原町内中世城館跡分布調査報告書	2006年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
米原市埋蔵文化財調査報告書第 2 集 杉沢遺跡発掘調査報告書—縄文時代晩期甕棺墓の調査—	2006年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
米原市埋蔵文化財調査報告書第 3 集 番の面遺跡分布調査報告書—縄文時代中期の表採遺物—	2008年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
米原市埋蔵文化財調査報告書第 4 集 京極氏遺跡発掘調査報告書—京極氏館跡第 1～3 次、弥高寺跡第 1・2 次—	2012年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
米原市埋蔵文化財調査報告書第 5 集 長比城跡・須川山砦跡総合調査報告書	2022年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
立命館大学文学部学芸員課程研究報告第 14 集 杉沢遺跡 2011 年度発掘調査概報	2012年	立命館大学文学部
立命館大学文学部学芸員課程研究報告第 15 集 杉沢遺跡 2012 年度発掘調査概報	2013年	立命館大学文学部
立命館大学文学部学芸員課程研究報告第 18 集 滋賀県米原市杉沢遺跡発掘調査報告 一2011・2012 年度の調査	2015年	立命館大学文学部
立命館大学文学部考古学実習研究報告第 3 集 杉沢遺跡 2017 年度発掘調査概報	2020年	立命館大学文学部
立命館大学文学部考古学実習研究報告第 4 冊 杉沢遺跡 2018 年度発掘調査概報	2022年	立命館大学文学部
北陸縦貫道路遺跡分布調査報告書 1969 年度	1969年	滋賀県教育委員会
国道 8 号線長浜市・近江町バイパス遺跡分布調査報告書 1968 年度	1969年	滋賀県教育委員会
国道 8 号線長浜バイパス関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ	1973年	滋賀県教育委員会
北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書Ⅲ	1976年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会

参考資料

書籍名	刊行年	編さん / 発行
矢倉川中小河川改修に伴う入江内湖西野遺跡発掘調査報告書	1977年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書V	1980年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書VIII-2	1981年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
狐塚遺跡他試掘調査報告書	1982年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀県中世城郭分布調査 1	1984年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XII-6	1985年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XII-7	1985年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XIII-4	1986年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XIV-3 坂田郡近江町世継遺跡・長浜市金剛寺遺跡	1987年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
一般国道8号(長浜バイパス)関連遺跡発掘調査IV	1987年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
宝持坊遺跡発掘調査報告書 坂田郡山東町清滝	1987年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
一般国道8号(長浜バイパス)関連遺跡発掘調査V 狐塚遺跡・法勝寺遺跡	1988年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XV-1 長浜市森前遺跡・国友遺跡・小沢城遺跡・坂田郡近江町正恩寺遺跡	1988年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XVI-1 長沢・西火打遺跡、正恩寺遺跡 坂田郡近江町所在 国友遺跡、寺田遺跡 長浜市所在	1989年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
一般国道8号(長浜バイパス)関連遺跡発掘調査報告書VI 奥松戸遺跡	1989年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀県中世城郭分布調査6 旧坂田郡の城	1989年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XVII-1 法勝寺遺跡 坂田郡近江町	1990年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書VI-1 法勝寺遺跡	1990年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XVIII-4 寺倉遺跡 坂田郡近江町寺倉所在	1991年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XVIII-9 箕浦城・浄蓮寺遺跡 坂田郡近江町箕浦・新庄・顔戸所在	1991年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書XIX-1 高橋南遺跡II 長浜市高橋町・宮ノ前遺跡 坂田郡近江町能登瀬	1992年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
整理事業マニュアル(第1分冊 本文編) 水資源開発公団関連遺跡発掘調査調査出土遺物	1992年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査報告書1-1 人塚遺跡 坂田郡伊吹町上野	2000年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査報告書1-2 上平寺南館遺跡 坂田郡伊吹町上平寺	2000年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査報告書1-3 寺林遺跡 坂田郡伊吹町大字藤川寺林	2000年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
県道彦根米原線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書 入江内湖西野遺跡 坂田郡米原町磯	2002年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書7 琵琶湖北東部の湖底・湖岸遺跡	2003年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
中山間地域総合整備関係遺跡発掘調査報告書2 上平寺遺跡・寺林遺跡 坂田郡伊吹町上平寺・藤川	2003年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書1 入江内湖遺跡I 米原市入江	2007年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書2 入江内湖遺跡II 米原市入江	2008年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書 清滝寺遺跡・能仁寺遺跡 米原市清滝	2012年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
清滝寺遺跡・能仁寺遺跡	2012年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書2 清滝寺遺跡・能仁寺遺跡II 米原市清滝	2014年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
清滝寺遺跡・能仁寺遺跡2	2014年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書3 入江内湖遺跡III 米原市入江	2015年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会
滋賀県内遺跡発掘調査報告書 平成26年度埋蔵文化財緊急調査費国庫補助事業(県内遺跡発掘調査等)	2016年	滋賀県教育委員会・(財)滋賀県文化財保護協会

参考資料

◆自治会史・字史

書籍名	刊行年	編さん / 発行
阪田郡番場村誌	1881年	泉松三郎
伊吹山北名跡誌	1899年	—
大野木村誌（未定稿）	1902年	中川泉三
自彊団日誌（全五冊）	1909年～	市場自治会
下丹生村地域誌	明治	—
坂田郡門根村史	明治	—
景勝地醒井	1954年	醒井小学校
雲林山東光院極楽寺記	1959年	修理担当世話方／堂谷区
黄檗宗松尾禅寺 伊吹山松尾寺	1967年	伊吹村大字上野 松尾寺再建委員会
入江風土記	1973年	米原町立入江小学校
松尾寺上杉神社由来記	1983年	戸波東策／上野区松尾寺
天泉所 大清水歴史研究原稿本	1985年	五日会
當村溜池出来之由来	1987年	樽水二十日講組合
ふるさと箕浦	1989年	ふるさと箕浦編集委員会／箕浦自治会
ふるさと長岡の昔を探る	1990年	田中晋六
ふる郷 村木のあゆみ	1993年	川瀬春益／村木区
大字長岡区史	1993年	福井禮司
長久寺古今	1994年	長久寺史談会
湊朝妻 由来たすねて	1994年	北村幸夫
朝妻湊 由来 たすねて 補遺版	1996年	北村幸夫
ふるさといむら	1998年	ふるさといむら編集委員会／飯郷づくり実行委員会
ふるさとごうど 大鳥居に寺五ヶ寺	1999年	顔戸区
ふるさと読本 西園寺開願誌 湖北名刹靈場第二十六番	1999年	内藤文雄／宗教法人大雄山西園寺
木彫りの里 仏壇作りの里 上丹生	2000年	上丹生木彫組合
字史 伊吹のあゆみ	2001年	伊吹区事務局／伊吹区
秋葉神社のあゆみ	2001年	井之口区
筑摩字誌	2002年	筑摩字誌編集委員会／筑摩区
あおお木の里 能登瀬のあゆみ	2003年	大字能登瀬史談会
白鳳の里 たかみぞ（高溝）	2003年	近江町高溝ロマンの里史編集委員会
弥高のあゆみ 彌高物語	2004年	山寄仁生／弥高区
醒井宿 平成かわらばん 第1集（第1号～第150号）	2004年	醒井ほっとプラン委員会
醒井宿 平成かわらばん 第2集（第151号～第300号）	2004年	醒井ほっとプラン委員会
醒井宿 平成かわらばん 第3集（第301号～第400号）	2007年	ふるさとの歴史を学ぶ会
ふるさと寺倉	2004年	「寺倉歴史プロジェクト」編集委員会／寺倉区
字誌 上丹生	2005年	上丹生歴史編集委員会
勝居神社に関わる文化財	2005年	杉澤文化財保護委員会
ふる里西門寺 随感録	2005年	松岡豊秋
山内一豊・千代の忠臣 田中孫作の里 高溝	2006年	米原市高溝孫作会
一豊と千代そして法秀院	2006年	米原市大河ドラマ『功名が辻』実行委員会歴史文化部会
むかしのこぼればなし	2006年	朝日（夫馬）
番場ふるさとの昔話	2006年	番場ふるさとの昔話採集者一同編／西番場区
次世代に伝えたい大野木のくらし	2010年	大野木区
区報 おおのぎ（2巻）	2010年	大野木区
1200年ぶりに甦る伊吹山の姉川さざれ石（板並地域の歴史）	2011年	板並炭焼き保存会
湧水の里 宇賀野	2012年	宇賀野区誌編さん委員会／宇賀野区
真綿の里 多和田の歴史	2013年	真綿の里、歴史年表作成委員会／多和田区
交通の要 まいはら	2013年	まいはら字誌編さん委員会／米原区
写真でふりかえる伊吹山物語 一神の山とあゆむ上野人	2015年	みんなが楽しい伊吹山プロジェクト／上野区
三島池の郷 池下物語	2018年	池下区史編集委員会／池下区再発見プロジェクトチーム
大鹿史	2020年	大鹿自治会
令和に見る河内百選	2021年	河内区まちづくり委員会
行く川の流れ in Okubo 大久保の歴史を追って	2022年	松井俊正
須恵器の里 菅江	2023年	高森慶司
村の由来と村の発展 資料第2集	—	—

参考資料

書籍名	刊行年	編さん / 発行
個人手記「曲谷の概要」	—	水長 修
個人手記「曲谷の思い出」	—	石崎徳則
個人手記「つれづれ草」	—	木曾芳子
DVD「温故創新クラブ活動記録」	—	大澤 勉 / 杉沢区
枝折の里	—	山口敏一
平林神社歳時記	—	平林神社蔵（下丹生）
近江国坂田郡下丹生村村史	—	西川 清
下丹生のこといろいろ	—	—

◆文化財活用事業

書籍名	刊行年	編さん / 発行
埋蔵文化財展	1985年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
米原の埋蔵文化財展	1986年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
第4回米原の埋蔵文化財展	1987年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
第5回 米原の埋蔵文化財展	1988年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
第6回 米原の埋蔵文化財展	1989年	米原町教育委員会
第7回 米原の埋蔵文化財展	1990年	米原町教育委員会・米原町史編纂室・米原町中央公民館
第8回米原の埋蔵文化財展 一木製品にみる古の米原一	1991年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
第9回 米原の埋蔵文化財展 一松尾寺遺跡発掘調査速報展一	1993年	米原町教育委員会・米原町中央公民館
ふるさと伊吹探訪シリーズ（2）いぶきの昔さがし 一原始・中世の遺跡一	2003年	伊吹町教育委員会
息長氏の遺宝 一山津照神社古墳とその周辺一	2008年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 湊・舟、そして湖底に沈んだ村 一まいばら発、琵琶湖の水運・くらし1万年一	2009年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 天野川流域の古代寺院 一壬申の乱から聖武行幸へ一地方寺院の役割一	2010年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 京極家激闘譜 一京極氏の遺跡、信仰、文化一	2021年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 東西文化の交差点・まいばら一文化は米原を通った！一	2012年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 北近江考古学事始め 一地域史を語り続ける埋蔵文化財一	2013年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 伊吹山と播隆 一播隆の基盤となった伊吹山一	2013年	黒野こうき / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 伊吹山と円空 一伊福山 法ノ泉の 湧出る 水汲玉ノ 神かと思ふ一	2013年	小島梯次 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 伊吹山 一荒ぶる神の坐す山の歴史一	2014年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 学校のまわりの宝物 一遺跡でたどる米原の歴史一	2015年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 石塔造立 一まいばら石造物100一	2016年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 霊仙山 一「江陽四高山ノ其ノ一ツナリ」一	2017年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 米原の城 一城のまちの戦国時代一	2018年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 米原の縄文 一縄文人の楽園・まいばら一	2019年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
埋蔵文化財活用事業 米原の弥生 一米作りが始まったころ一	2020年	米原市教育委員会 / 米原市教育委員会
滋賀県埋蔵文化財地域展II 米原市編 「道が交わる所一役所と城」	2020年	公益財団法人滋賀県文化財保護協会
滋賀県埋蔵文化財地域展III 米原市編2 「縄文人のアートとキッチン」	2021年	公益財団法人滋賀県文化財保護協会

◆歴史館・資料館刊行物（柏原歴史館）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
柏原宿ガイドブック	1998年	柏原宿歴史館
郷土の先賢 志賀谷高尚館・柏原宿の門人 長野主膳義言と巖佐由子	2003年	柏原宿歴史館ふれあい友の会
郷土出身の映画監督 吉村公三郎と吉村家の人々	2004年	柏原宿歴史館
湖北の山野草たち	2008年	柏原宿歴史館
企画展 庄屋からのメッセージ 一上夫馬村 宮部家文書一 補足資料集	2009年	柏原宿歴史館
寂照山成菩提院の歴史	2013年	ビッグバードデザイン / 米原市柏原宿歴史館

参考資料

◆歴史館・資料館刊行物（伊吹山文化資料館）

書籍名	刊行年	編さん / 発行
伊吹山文化資料館年報（1～23）	1999年～	伊吹山文化資料館 / 伊吹山文化資料館
伊吹山と山麓の自然と文化 常設展示案内	2001年	伊吹山文化資料館

◆市内文化財活用団体刊行物

書籍名	刊行年	編さん / 発行
息長氏論叢（第1輯～第7輯）	1986年～	息長氏研究会
息長里郷土資料館 研究紀要（第1巻～第4巻）	1989年～90年	息長里郷土資料館長沢文庫
鴨と蛭とさぎ草のまち（第1集～第32集）	1990年～	米原市・米原市教育委員会・鴨と蛭の里づくりグループ / 鴨と蛭の里づくりグループ
江濃国境 中山道中必携（ガイドブック）	2014年	はびろネット
滋賀・岐阜県境を超えた 方言ハンドブック	2015年	はびろネット
滋賀・岐阜県境をもっと面白くする 食文化データブック	2016年	はびろネット
米原郷土史研究 まいれき（第1号～第6号）	2015年～	まいばら歴史学ひの会

◆市外文化財活用団体刊行物

書籍名	刊行年	編さん / 発行
立命館大学高田ゼミによるまちづくり調査報告書 滋賀県山東町における地域資源を活かした環境共生型まちづくり ～山東町 Ecore 構想～	2000年	立命館高田ゼミ Ecore 班
2012年度 文化遺産フィールドワーク研修報告書 滋賀県米原市の文化遺産	2013年	京都府立大学文学部歴史学科文化遺産学コース
伊吹山大探検シリーズ① 伊吹山を知る やさしい地学の本	2015年	阿部勇治 / 伊吹山ネイチャーネットワーク
伊吹山大探検シリーズ② 伊吹山を知る やさしい生きものの学の本	2016年	青木 繁・須藤明子 / 伊吹山ネイチャーネットワーク
伊吹山大探検シリーズ③ 伊吹山を知る やさしい山とひと学の本	2017年	高橋順之 / 伊吹山ネイチャーネットワーク

◆その他

書籍名	刊行年	編さん / 発行
鯉亭主人泉亮之氏之小傳	1903年	福田親樹
萬葉の近江 海辺の米原と天の川	1979年	磯崎文五郎
楠亭詩集とその背景 一湖東の聖人「渡邊楠亭」の漢詩を読み解く一 平成二十六年復刻版	1979年	田中弥一郎
千界山百如庵の慈芳 一近江町の先人一	1984年	滋賀県立長浜文化芸術会館
佐原隆應上人	1994年	一向寺
佐々木大原の系譜	1995年	佐々木大原の会
第二輯佐々木大原の系譜	1999年	佐々木大原の会
調査報告書 伊吹山をうたった校歌 子どもたちの歌声が山頂に響く…	2003年	伊吹町
ふるさと伊吹探訪シリーズ（7）ヤマトタケルと伊吹山	2004年	伊吹町教育委員会
伊吹山案内 登山と山麓ウォーキング	2009年	草川啓三 / ナカニシヤ出版
近江坂田郡の条里と地理	2011年	山川恵弘
楠亭詩集とその背景 一湖東の聖人「渡邊楠亭」の漢詩を読み解く一 平成二十六年復刻版	2014年	田中弥一郎 / 伊藤眞雄
マンガ 靈仙三蔵	2016年	すずき孔 / 靈仙三蔵 顕彰の会
沿革誌 靈仙三蔵顕彰活動の歩み	2018年	靈仙三蔵 顕彰の会

表 15 字・村の変遷

◆山東地域

地名	明治 2 年 藩・県名	明治 4.7	明治 4.11	明治 5.2	明治 5.9	明治 5.10	明治 7～14	明治 18	明治 22	昭和 30		
	1869	1871		1872				1885	1889	1955		
間田	彦根藩	彦根県	長浜県	大上県	滋賀県	坂田郡第 4 区	間田	連合戸長役場	大原村			
小田							小田					
井之口							井之口					
野一色							野一色					
鳥脇							鳥脇					
観音寺							朝日					
上夫馬	山形藩	大津県	大津県	大上県	滋賀県	坂田郡第 5 区	村居田	連合戸長役場	大原村			
村居田	宮川藩	宮川県	長浜県				坂口					
坂口							下夫馬					
下夫馬	大津県	大津県	大津県				池下					
池下	滝川(旗本)						大津県			大津県	本庄	
本庄	内藤(旗本) 和歌山藩										産所	
産所	大津県	彦根藩	彦根県	大上県	滋賀県	坂田郡第 4 区	市場	連合戸長役場	東黒田村			
市場	市場											
市場中	本市場											
本庄中	長岡						長浜県			長浜県	坂田郡第 3 区	長岡
長岡												西山
西山	彦根藩 大津県											彦根県 大津県
万願寺	彦根藩 宮川藩	彦根県 宮川県	連合戸長役場	坂田郡第 6 区	菅江							
菅江	彦根藩	彦根県			菅江							
北方					北方							
持野					志賀谷							
志賀谷	和歌山藩	大津県			大津県	連合戸長役場	坂田郡第 6 区	山室				
山室	水口藩 山形藩 郡山藩	水口県 大津県 郡山県			大鹿							
大鹿	水口藩 郡山藩	水口県 郡山県	本郷									
本郷	郡山藩	郡山県	堂谷									
堂谷	水口藩	水口県	連合戸長役場	坂田郡第 1 区	長久寺							
長久寺	郡山藩 宮川藩	郡山県 宮川県			柏原							
柏原	郡山藩 成菩提寺 除地	郡山県			清滝							
岩ヶ谷	宮川藩	宮川県			梓河内							
清滝	丸亀藩	大津県			長浜県	須川						
梓河内	西郷(旗本)	大津県										
目河内	郡山藩	郡山県	長浜県	大野木								
須川	彦根藩	彦根県										
大野木	宮川藩 丸亀藩	宮川県 大津県								山東町		

◆伊吹地域

地名	明治2年 藩・県名	明治 4.7	明治 4.11	明治 5.2	明治 5.9	明治 5.10	明治 7～14	明治 18	明治 22	昭和 31	昭和 46								
	1869	1871		1872				1885	1889	1956	1971								
伊吹	山形藩	大津県	大津県	犬上県	滋賀県	坂田郡第2区	伊吹	連合戸長 役場	伊吹村	伊吹村	伊吹町								
小泉							小泉												
大久保							大久保												
弥高	弥高																		
大平寺	大平寺																		
上野	上野																		
上平寺	上平寺	連合戸長 役場	春照村			伊吹村	伊吹町												
藤川	藤川																		
村木	村木																		
杉澤	杉澤																		
大清水	彦根藩	彦根県	長浜県	犬上県	滋賀県	坂田郡第3区	大清水	連合戸長 役場	春照村	伊吹村	伊吹町								
春照							春照												
高番							高番												
高番	彦根藩 犬山藩 宮川藩	彦根県 大津県 宮川県	大津県	犬上県	滋賀県	坂田郡第4区	高番	連合戸長 役場	東草野村	伊吹村	伊吹町								
甲津原	幕府 直轄領	大津県					大津県					犬上県	滋賀県	浅井郡第1区	甲津原	連合戸長 役場	東草野村	伊吹村	伊吹町
曲谷															曲谷				
甲賀															甲賀				
吉槻															吉槻				
上板並															上板並				
下板並	下板並																		
下板並	小堀知行																		

◆米原地域

地名	明治2年 藩・県名	明治 4.7	明治 4.11	明治 5.2	明治 5.9	明治 5.10	明治 7～14	明治 18	明治 22	明治 24	大正 12	昭和 28	昭和 30											
	1869	1871		1872			1874～81	1885	1889	1891	1923	1953	1955											
梅ヶ原	彦根藩	彦根県	長浜県	犬上県	滋賀県	坂田郡第10区	梅ヶ原	連合戸長役場	入江村	入江村	米原町	米原町	米原町											
米原						坂田郡第11区	米原																	
下多良						坂田郡第20区	下多良																	
中多良							中多良																	
上多良							上多良																	
磯							磯																	
中島						彦根藩	彦根県							長浜県	犬上県	滋賀県	坂田郡第8区	朝妻筑摩	連合戸長役場	南箕浦村	息郷村	息郷村	息郷村	米原町
牛打																		牛打						
樋口																		樋口						
樽水																		樽水						
門根	坂田郡第8区	三吉	連合戸長役場	南箕浦村	息郷村			息郷村	息郷村	米原町														
久礼		西坂																						
西坂		番場																						
蓮華寺	彦根藩	彦根県	長浜県	犬上県	滋賀県			坂田郡第8区	枝折	連合戸長役場	醒井村	醒井村	醒井村				醒井村	米原町						
上番場								坂田郡第7区	上丹生															
下番場									下丹生															
枝折						坂田郡第7区	枝折																	
松尾寺						坂田郡第8区	上丹生	連合戸長役場	醒井村					醒井村	醒井村	醒井村								
上丹生							下丹生																	
下丹生							樽ヶ畑																	
樽ヶ畑						坂田郡第9区	樽ヶ畑	連合戸長役場	醒井村					醒井村	醒井村	醒井村								
一色						宮川藩	宮川県												坂田郡第7区	一色				
醒井						郡山藩	郡山県																	

参考資料

◆近江地域

地名	明治 2 年 藩・県名	明治 4.7	明治 4.11	明治 5.2	明治 5.9	明治 5.10	明治 7～14	明治 18	明治 22	明治 27	明治 30	昭和 17	昭和 30					
	1869	1871		1872				1885	1889	1894	1897	1942	1955					
能登瀬	郡山藩 岡部(旗本)	郡山県 大津県	長浜県 大津県	犬上 県	滋賀 県	坂田郡 第 7 区	能登瀬	連合戸長 役場	息長村	息長村	息長村	息長村	近江町					
多和田	宮川藩 山形藩	宮川県 大津県	長浜県 大津県			坂田郡 第 7 区	多和田											
寺倉	彦根藩	彦根県	長浜県			坂田郡 第 11 区	寺倉				連合戸長 役場			息長村	息長村	息長村	息長村	坂田村
日光寺							日光寺											
岩脇							岩脇											
西門寺							西門寺											
箕浦							箕浦											
新庄							新庄											
舟崎							舟崎											
高溝							高溝											
顔戸							顔戸											
飯							飯											
世継	世継	坂田郡 第 19 区	飯			連合戸長 役場	法性寺村	法性寺村	法性寺村	法性寺村	法性寺村	坂田村						
宇賀野	宇賀野																	
長澤	内藤(旗本)	大津県	大津県			坂田郡 第 18 区	長沢	連合戸長 役場	法性寺村	法性寺村	法性寺村	法性寺村	坂田村					
加田	彦根藩	彦根県	長浜県				加田											
加田今	彦根藩	彦根県	長浜県			坂田郡 第 18 区	加田今	連合戸長 役場	法性寺村	法性寺村	法性寺村	法性寺村	神田村 (長浜市)					
							加田今											

参考資料

表 16 米原市内の災害

和暦	西暦	月	内容	被害
応和	2	962	8月30日	大風雨 大和・近江の神社、仏寺多く大破する。
承德	3	1099	正月24日	地震 震央・畿内、M6.4、勢多橋が落橋。
元暦	2	1185	7月9日	地震 震央・近江、M7.4、「近江の湖水大に減じ、傍近の田、陥落して深淵となれり。」(大日本地震史料)旧近江町の法勝寺の九重塔、阿弥陀堂、金堂が倒壊。
正中	2	1325	10月21日	地震 震央・近江北部、M6.7、竹生島の奥院が崩れ湖中に入ったという。
正平	16	1361	6月24日	地震 震央・南海道沖、M8.4。
正平	17	1362	6～11月	旱魃 多くの人々が餓死する、この時近江の湖が3丈6尺までになったという記録が残る。
寛正	2	1461	1～7月	干害 去る冬からこの年の夏まで疫餓死者が巷に満ちる。
永正	9	1512		火災 上野村の弥高護国寺、松尾寺が戦火により焼失。
元龜	2	1571	6/12~13	大雨洪水 江北地方被害。
元龜	3	1572		火事 甲賀村の法雲山観行寺が兵火により焼失。
天正	13	1585	11月29日	地震 震央・越前飛騨国境、M7.9、長浜城・城中城下の大半が倒壊、城下の大半は焼失。(大日本地震史料)
文禄	5	1576	閏7月13日	地震 震央・畿内、M7.0、琵琶湖の水が溢れたという記載あり。
慶長	9	1604	8月4日	大風雨 近江・伊勢・美濃・尾張に甚大な被害、損害は計り知れず。
寛永	元	1624		火災 藤川村の光了寺焼失。
寛永	3	1626	8月	洪水 長雨のため天野川が決壊する。大凶作。
寛永	10	1633	5月28日	洪水 4月～6月にかけて大洪水が起こる、江州水1丈2尺余り溢れる。
寛永	16	1639		火災 大清水村の大楽寺が大火にあう。
慶安	3	1650	9月1日	大雨洪水 8/29～9/2まで長雨、江州も多くの田畑を損じる。
寛文	2	1662	5月1日	地震 震央・琵琶湖西岸、M7.6、死者数百人、倒壊した家は4000戸近くにのぼる。
延宝	4	1676		洪水
天和	元	1681		火災 長沢村で火災、80戸中75軒が全焼。
貞享	4	1687	9月9日	大風大水 50年以來の大風と38年以來の大水に見舞われる。
宝永	4	1707	10月4日	地震 震央・東南海道沖、M8.4。
宝永	5	1708	12月	大雪 樽ヶ畑村大雪で76軒の村民は隣家への出入りができず孤立し、餓死者を出す。
宝永	7	1710		火災 上野村の松尾寺が失火により焼失。
宝永	8	1712	4月	冷害 梅ヶ原村で霰の被害。
享保		1716～		火災 伊吹村大富山翠巖寺が焼失。
享保	2	1717	6～7月	旱魃 梅ヶ原村で雨乞いのために龍神の舞や雨乞い狂言を行う。
享保	6	1721	7月3日	洪水 3尺5寸の出水、堤防が切れて多くの人々が亡くなる。
享保	6	1721	5月23日	火災 甲津原村で出火、神社が2宇、寺院1宇、人家96戸を焼失。
享保	10	1725	10月	旱魃 前代未聞の夏の日照り。
享保	12	1727		干害 長岡村と西山村が方井を巡って水論。
享保	13	1728	12月15日	火災 下多良村で火事。
享保	16	1731	6月10日夜	火災 梅ヶ原村で火事。
享保	17	1732		大雪 醒井村で雪害のため麦が腐ってしまう。
享保	18	1733	7月29日	火災 上板並村で出火、10戸を延焼。
元文	元	1736	8月17日	洪水 大洪水が発生し、水位が高く、稗も植えられず、水田は皆無となり多くの人々が亡くなる。
元文	2	1737	7月	大雨風・洪水 醒井村で、天野川が決壊した。
元文	2	1737	2月29日	火災 上板並村で出火、28戸を類焼。
元文	2	1737	2月15日	火災 甲賀村で出火、54戸が焼失。法雲山観行寺焼失。
元文	4	1739	6月	雪害 柏原で田方十二町歩・畑方三三町歩の麦作が皆腐。
元文	5	1740	7月22～23日	風害 大木折れ、家つぶれる。天野川の堤防が決壊する。
延享	3	1746	7～8月	疫病 疫病のため梅ヶ原村で42人が亡くなる。
寛延	2	1749	2月8日	火災 筑摩村で火事。
寛延	4	1751	6月18日	火災 磯村で火事、大風にあおられ83軒が焼失。
宝暦	5	1755	7月14日	火災 上板並村で出火、34戸を焼失。

参考資料

和暦	西暦	月	内容	被害
明和	7	1770	6～7月	旱魃 ひと月余り降雨無、琵琶湖の水が一丈減る。
安永	3	1774	6月	大風 坂田神明宮神木が6本倒れる。
天明	3	1783	11月	冷夏・火災 醒井村ほか八ヶ村で冷夏のため大不作。寺倉村で火災。
天明	6～7	1786～87	3～9月	風雨・雪 3・4月～6月雨風が多く春作不作、8/20に大風、9/30に降雪、天明7年国々飢饉。
寛政	元	1789		大水 湖水6～7尺増水する。
寛政	9	1797		旱魃 雨ごいを行う。
寛政	11	1799	5～9月	干害 水不足、8/10頃までに呑水の枯渴、畑・雑毛作収穫無し。
享和	2	1802		火災・洪水 甲津原村で出火、83軒を焼失。大雨・大風により法勝寺井口樋切込西河原堤約30間が切れる。
文化	2	1805		火災 藤川村の光了寺焼失。
文化	4	1807		洪水 大洪水が発生し、法勝寺井約40間切れる。
文化	5	1815		火災 甲津原村で出火、本家27軒焼失。
文化	10	1813		火災 小泉村の谷王神社が焼失。
文化	11	1814		旱魃
文化	14	1817		火災 小泉村で大火、本宅25軒、小屋8軒、隠居1軒が焼失。
文政		1818～		火災 藤川村の唯佛寺が焼失。
文政	2	1819	6月12日	地震 震央・近江湖東地方、M7.4、「琵琶湖の沿岸震害特に著しく倒潰家屋並びに死傷者少なからず」(大日本地震史料)。
文政	2	1819		干害 長岡村と志賀谷村が方井に関して水論。
文政	4	1821		旱魃 風と虫害のため稲草が枯れる。被害は3町余りに及ぶ。
文政	6	1823		火災
文政	7	1824	12月22日	火災 上野村で出火、本家1軒を焼失。
文政	8	1825		大雪 3m 60cmの大雪が降る。
文政	8	1825	7月	飢饉 冷夏のため、いもち病が発生。
文政	9	1826		大雪 大雪のため半壊する家が続出する。
文政	12	1829		大風雨
文政	13	1830	7月2日	地震 震央・京都付近、M6.4。
天保	3	1832	6月	旱魃 旱魃のため収穫なし。
天保	5	1834		干害 長岡村と志賀谷村が御方井に関して水論。
天保	7	1836	8月13日	大雨・飢饉 7/7・8～大雨、8/13暴風雨、湖水が通常より7尺あまり増水する。水田に被害、そののち米価暴騰、大飢饉となる。
天保	7	1836	4月15日	火災 甲津原村で出火、本家96軒が焼失。
天保	8	1837	8月	大風雨 上野村で全壊4軒、半壊5軒。
天保	9	1838		飢饉
天保	13	1865		火災 甲津原村で出火、74軒が焼失。
弘化	2	1845		火災 高番村で火災、80戸中、50戸余りが焼失する。正円寺・報光寺も焼失。
弘化	4	1847		大風雨
嘉永	元	1848	8月12日	大風雨 古今稀なる大風雨。
嘉永	6	1853	4～9月	旱魃 5/19～7/7迄降水無。
嘉永	7	1854	6月15日	地震 震央・近江伊賀国境、M6.9、県内南部で山崩・地割、土地の隆起、陥没等を生じる。
安政	元	1854	11月4・5日/12月23・24日	地震 11/4震央・東海道沖、M8.4、11/5震央・東南海道沖、県内被害ほとんど無し。
安政	3	1858		旱魃・大雪
万延	元	1860		大雪 美濃玉村～江州春照間は雪のため物資輸送が途絶しその日数100日に及ぶ。
元治	元	1864		旱魃
慶応	2	1868		飢饉・大風
慶応	3	1869		旱魃
明治	9	1876		火災・旱魃 大久保村の伊吹山松音寺、伊吹山惣持寺が焼失。95戸中91戸が焼失。負傷者4人。旱魃で農作物が育たず。
明治	12	1879		火災 春照で大火。185戸中21戸が焼失、被害総額が5000円に達する。
明治	13	1880		疫病 コレラ流行。

参考資料

和暦	西暦	月	内容	被害
明治	14	1881		暴風雨 人家・田畑に甚大な被害。杉沢で2軒が倒壊。
明治	15	1882		暴風雨
明治	16	1883		旱魃
明治	18	1885	6月18日	大雨 6/18～7/7までの20日間連日大雨襲来。
明治	18	1885	7月1日	台風 坂田郡朝妻筑摩・上中下多良村住家田畑浸水、堤防決壊550間、流失家屋15戸。長沢水害により5戸半壊。
明治	19	1886		旱魃
明治	21	1888		火災 箕浦村大火。
明治	24	1891	10月28日	地震 震央・美濃根尾谷付近、M8.4、濃尾地震。近江町付近では激震程度でかなりの被害があったものと推定されている。
明治	27	1894		旱魃
明治	28	1895	7月	暴風雨 琵琶湖が+233cmの大増水で被害が出る。
明治	29	1896	9月6～10日	豪雨・疫病 琵琶湖水位は常水位より3m余り上昇、沿岸各地家屋の浸水、低地で一か月間の冠水。坂田郡内で死者3人、救助者5170人、全半壊家屋4066棟、田畑の浸水1万7273反、決壊258か所、道路の流失・埋没1万6637件、橋梁の流失56か所、山崩れ287か所。甲津原で赤痢が発生。21戸56人が罹患する。
明治	35	1902		火災 上板並村で火災、97戸中88戸が焼失。東谷山万傳寺が焼失。
明治	37	1904		豪雨 姉川で大洪水が発生。曲谷、甲賀、吉槻、上板並、下板並で被害の記録が残る。
明治	39	1906		旱魃
明治	42	1909	8月14日	地震 震央・姉川上流域、M6.9、姉川地震。東浅井郡を中心に死者36人、負傷者643人、全壊家屋972戸、半壊2367戸。
大正	元	1912	9月22日	暴風雨 鈴鹿・伊吹系で250mm、坂田郡内で死傷者30余人、近江町内も被害あり。上野村三之宮神社で境内の大木が倒れ、建物が損壊。春照では死者3人、住居倒壊13棟、病院が半壊する。
大正	2	1913		旱魃
大正	7	1918	1月	大雪 大雪のため米原～柏原間の列車が運休。
大正	10	1921	9月25日	暴風雨 県北部、近江町内に甚大な被害。東草野の曲谷分校が全壊、甲津原分校が半壊、道路破損が5か所、堤防の決壊が8か所、橋梁の流失は2か所の記録が残る。
大正	11	1922		旱魃・火災 寺倉村で火災、7軒焼失。
大正	12	1923		地震 関東大震災、彦根でM4。
大正	13	1924		旱魃
大正	15	1926		火災 伊吹村で火災、23軒、70棟が類焼、専休寺が焼失する。
昭和	6	1931	6月6日	火災 甲賀村で火災、47戸のうち9戸が焼失。
昭和	8	1933	12月	火災 多和田村で火災。
昭和	9	1934	9月21日	台風 室戸台風による風の被害、死者47人、全壊家屋681戸、瀬田・野洲川鉄道橋上での列車転覆。春照村で全半壊家屋が26棟の記録が残る。
昭和	9	1934	1～2月	豪雪 中河内で最深438cmの積雪、山東町で死者6人、全壊3戸、半壊2戸、埋没3戸。
昭和	9	1934	8月18日	地震 岐阜県美濃中西部の地震（深さ6km、M6.3）により、山梨県富士河口湖町、滋賀県彦根市で震度4を観測した。
昭和	11	1936	1～2月	豪雪 中河内で最深560cmの積雪、大津で最深41cm積雪、山東町で死者6人、負傷者2人、全壊38戸、半壊38戸、埋没4戸。
昭和	13	1938		豪雨 川の流木を引き上げる作業を行った。その作業で川に流されて亡くなった人もいた。
昭和	14	1939	5～9月	旱魃 5月以来少雨状態、水稻の被害面積二割五分、そのほか夏作野菜・果樹・桑園等にも被害。
昭和	19	1944	12月9日	地震 震央・東南海沖、M8.0、推定で彦根震度5、若干の被害があったとされる。
昭和	21	1946	12月21日	地震 震央・南海道沖、M8.1、近江町内で震度5程度、窓ガラスの破損、壁の落下等の若干の被害。
昭和	25	1950	9月25日	台風 ジェーン台風の襲来。姉川沿いの井堰が全壊。
昭和	28	1953	9月25日	台風 13号台風による雨の被害、河川1364か所、水稻5万2390町歩、県内死者43人、行方不明4人、重傷者26人、全壊家屋421戸、流失101戸、半壊1198戸の被害、天野川の氾濫、柏原村・東黒田村に災害救助法適用。
昭和	33	1958	8月25日	台風 台風17号の上陸、天野川上流域の雨量は200mm以上、稲の倒伏、河川の決壊、氾濫。

参考資料

和暦	西暦	月	内容	被害	
昭和	34	1959	8/12～14	台風	台風7号。山東町では罹災者総数5,565人、住居被害1,183戸、田畑の被害35,326a、伊吹山麓で600mmの雨量。 天野川上流域・支流で三回にわたって決壊氾濫。市場川が決壊。災害救助法適用され自衛隊が出動する。
昭和	34	1959	9月26日	台風	伊勢湾台風上陸、山東町で負傷者11人、全壊5戸、半壊55戸、鈴鹿山系で雨量300mm以上、天野川流域での被害。台風7号の被害に追い打ちをかける。20日程度田畑の水がひかず。
昭和	36	1961	6月24～30日	大雨	鈴鹿山脈の雨量600mm、琵琶湖の水位は正常時の108cmを上回る、近江町84.6ha冠水。
昭和	36	1961	9月16日	台風	第二室戸台風上陸、能登川で最大風速54.8m、湖西・湖東の一市九町村に災害救助法適用。湖西湖南中心に死者3人、重傷者53人、軽傷者385人、全壊家屋610戸、半壊3,388戸。
昭和	38	1963	1月	豪雪	中河内で最深積雪量360cm、中ノ郷で最深積雪量165cm、山東町で全壊3戸、半壊8戸、一部損壊1,285戸。
昭和	40	1965	9月10日	台風	台風23号の上陸、山東町で一部損壊家屋35戸、田畑の冠水42,200a。
昭和	40	1965	9月17日	台風	台風24号の上陸、天野川は破堤・欠損また上流域400mm以上の雨量、琵琶湖水位1m以上増水。県内各地の河川で堤防が決壊・破損した。また、家屋の全半壊や田畑の流埋没・冠水等により農作物にも被害が出た。
昭和	41	1966	6月6日	火災・大雪	春照地区で火災が発生。顔戸・神郷地区で大火、湖北地方大雪。
昭和	43	1968	1～2月	豪雪	中ノ郷で最深積雪量150cm、吉槻で最深積雪量120cm、山東町で死者5人、負傷者7人。
昭和	46	1971	8月30～31日	台風	丹生川の護岸が崩壊。
昭和	47	1972	9月16日	台風	台風20号の上陸、長岡天野川・大門川決壊、最大風速33.4m、山東町山間部で400mm以上の雨量。 死者・行方不明者3人、負傷者8人、全壊8棟、半壊・一部損壊44棟。
昭和	50	1975	8月22～23日	台風	台風6号。明石付近から滋賀県西の京都府側を北北東進して能登半島に向かった。滋賀県内では、最大瞬間風速南南東23.7m/sを観測した。県内の人的被害軽傷者2人、住宅被害全壊2戸、一部損壊24戸、床上浸水2棟、床下浸水101棟。
昭和	52	1977	2月	豪雪	柳ヶ瀬で最深積雪量250cm、山東町で死者1人、負傷者36人、全壊3戸、半壊5戸、一部損壊1,028戸。
昭和	56	1981	1～2月	豪雪	中河内で最深積雪量655cm、山東町で死者5人、負傷者91人、全壊14戸、半壊65戸、一部損壊4,112戸。松尾寺(醒井)本堂倒壊、村木村正光寺半壊する。甲津原62世帯が孤立、小泉地先の県道で雪崩が発生し、自動車22台66人を救助する。
昭和	57	1982	8月1～2日	台風	台風10号によって、葉山川、大戸川においては堤防決壊、溢水をきたした。黄瀬より上流部で一部氾濫(床上・下浸水210棟)。石居橋流出。そのほか道路、橋梁多数損傷。
平成	2	1990	9月19・20日	台風	台風19号。総谷川と丹生川の合流地点にある橋に木が引っ掛かり、水が溢れて一面浸水する。総谷川の水位が一気に上昇し、一時橋が通れなくなる。上平寺の覚所谷川が氾濫、床下浸水が1戸。米原市内で床下浸水が120戸であった。総雨量は、県北部と県南部の平野部で100mm-150mm、湖西、湖東および山間部では、200mm-360mmに達した。風は、彦根では最大風速6.6m/s、瞬間最大風速30.1m/sを観測した。
平成	6	1994	5月28日	地震	滋賀県北部の地震(深さ44km、M5.3)により、三重県四日市市、滋賀県彦根市で震度4を観測した。
平成	8	1996	3月2日	降雪	甲賀地先で斜面崩壊し、県道が埋まる。
平成	10	1998		台風	姉川の水位が上昇し、決壊寸前であった。
平成	11	1999	3月16日	地震	滋賀県北部震源(M5.2)。
平成	16	2004	10月20日	台風	台風23号により、草津市で1人死亡、西浅井町で1人負傷した。県内の住家被害は、4戸が一部破損したほか、40戸が床下浸水した。大津市園城寺町の園城寺(三井寺)では、本堂にあたる国宝「金堂」の桧皮葺きの屋根が強風でめくれて数か所から雨漏りした。農業被害は、大津市、甲賀市、近江八幡市等3市11町で農作物の倒伏や浸水、ビニールハウスの破損等、約890万円の被害があった。また、長浜市等5市6町1村の6,160戸で停電した。
平成	17	2005	12月12～15日	大雪	伊香郡余呉町の橋坂において雪崩が発生し、国道365号線が通行止め、鉄道ではJR北陸本線で14日始発から15日正午ごろにかけ、木之本-生(福井県越前市)で特急を含む214本が運休し、約4万5千人に影響が出た。道路では、北陸自動車道の木之本インターと福井県今庄インター間で一時通行止めになった。米原市内では、積雪によりビニールハウスが全壊1棟、半壊1棟の被害が出た。

参考資料

和暦		西暦	月	内容	被害
平成	25	2013	9月16日	台風	台風18号の影響で、県内では、住家全壊3棟、半壊22棟、一部損壊63棟、床上浸水257棟、床下浸水681棟等の被害が発生し、1名が亡くなり、1名重症、8名が軽傷となった。なお、大雨特別警報が運用されて初めての適用となった。県内の避難指示（避難勧告含む）対象者数は160,628名（避難者数9,162名）。そのほか多くの被害が発生した。米原市内では、丹生川で流木等が橋に引っ掛かり、それにより丹生川の氾濫がおこった。道路が川のようになり、アスファルトがはがれたり、護岸の石垣が、何カ所も崩れた。川沿いにある駐車場等が、1mぐらい浸水した。
平成	26	2013	12月26日	地震	滋賀県北部の地震（深さ14km、M4.2）により、滋賀県大津市で震度4を観測した。
平成	29	2017	10月20~23日	台風	台風21号。降水量は、高島市朽木平良で373.5mm、甲賀市土山で270.5mmを観測した。また、東近江市桜川東と長浜市唐国では、22日の日降水量が観測史上1位の値を更新した。風については、大津市南小松で北北東の風44.2m/s（23日00時31分）の最大瞬間風速、北西の風19.6m/s（22日23時58分）の最大風速（日最大風速の観測史上1位を更新）を観測した。また、高島市今津、甲賀市信楽でも日最大風速の観測史上1位の値を更新した。この大雨と暴風により、人的被害として飛散物等による軽傷4名（大津市1名、彦根市1名、高島市2名）住家被害としては、一部損壊59棟、床上浸水8棟、床下浸水64棟、非住家被害公共建物6棟、そのほか13棟があった。
平成	30	2018	6月29日	竜巻	竜巻が北方、夫馬、朝日地区にかけて発生し、被害範囲は南北約3.7kmに及んだ。建物の躯体に影響のある被害数が38戸、ガラス・トタン等の被害数が102戸、計140戸。
平成	30	2018	9月4日	台風	台風21号の影響で滋賀県では暴風となり、最大瞬間風速は彦根で南東の風46.2mを観測した。また、日最大瞬間風速は県内7カ所で、日最大風速は6箇所で開催の1位を更新した。台風による暴風の影響で、滋賀県内では死者2名（東近江市）があったほか、県内で負傷者74名があった。また、住家被害として、全壊1棟、半壊12棟、一部損壊1,184棟があった。

参考資料

該当項目	遺産の名称	所在地	理由	その他・特記事項
④建造物・石碑など不動産関係				
⑤古文書・仏像・絵画など動産関係				
⑥地域の風景・景観				
⑦自然遺産（動植物・石）				
⑧偉人・有名人				
⑨その他（特産品・技術など）				

(2) 地域で編集、発行した、書籍・地域誌・神社史・寺院史 などがありますか

書名	発行年	その他・特記事項
(例) ○○自治会の歩み	昭和○○年	編集委員会による編集 など

(3) 江戸もしくは明治時代以降の文献で、地域として大切に保管している文献資料はありますか

- ・資料の有無について 有 ・ 無 (いずれかに○)
- ・資料の保管場所 [] (自治会館・神社の社務所など)

(4) その他、文化財や歴史・文化・自然遺産に関する事項で、ご意見などありましたら以下にお願いします。

(意見欄)

御協力ありがとうございました。

(2) 第1回アンケートの実施結果

(1) の地域で大切にされてこられた「歴史・文化・自然遺産」については以下のような回答が各自治会からあった。

【山東地域】

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
伝承	沖田(葉広・葉広が下)伝承	向山裏手、天野川近く	柏原の地名の元である	山東	柏原
石碑	西薬師道標	中仙道、薬師境内 etc.	切り石タイプが4~5基現存、うち1基は3分され土台にされていた。自然石の道標とも併せ貴重な文化財と言える。	山東	柏原
建造物	王子神社、狛犬および本殿			山東	柏原
石碑	御薬袋先生碑			山東	柏原
自然遺産	岩ヶ谷(天狗岩)			山東	柏原
彫刻	東薬師本尊	字柿の沢	寺伝では柏原最古。	山東	柏原
古文書	郷童須知雑誌(西川知崇)			山東	柏原
景観	愛宕山頂および野瀬山頂からの柏原(宿場)風景			山東	柏原
景観	西薬師入口御薬袋先生碑界隈から見る伊吹山の景観			山東	柏原
景観	永明寺裏から田辺・高屋砦の早春と秋の景観			山東	柏原
自然遺産	大谷・お滝さんの杉(ご神木)			山東	柏原
自然遺産	岩ヶ谷梵字石(通称天狗岩)			山東	柏原
人物	西川知崇			山東	柏原
人物	吉村公三郎			山東	柏原
人物	御薬袋順三郎			山東	柏原
人物	鈴木實太郎(当時海軍大将のち第43代内閣総理大臣)・たか夫人		勝専寺坊主(輦止房江女)をお見舞いに来られた(昭和19年11月)。	山東	柏原
行事・祭礼	お寄り講			山東	柏原
行事・祭礼	伊勢講(5~6軒のグループによる集い)			山東	柏原
行事・祭礼	太子講(5~6軒のグループによる集い)			山東	柏原
行事・祭礼	愛宕山・秋葉神社 灯まつり		赤提灯に灯を入れ干支文字を掲げる。	山東	柏原
行事・祭礼	花まつり4月8日「甘茶」	永明寺・西薬師(泉明院)		山東	柏原
唄	柏原音頭		昭和25年田中正一さん作。	山東	柏原
食	おぼこ(たくあんの贅沢煮)			山東	柏原
食	五月見舞(焼鯖)			山東	柏原
石碑	道標(小川の関・西やくしへの道)			山東	柏原
石碑	北畠具行墓			山東	柏原
彫刻	ちち地蔵			山東	柏原
建造物	宝林寺北の地藏堂			山東	柏原
自然遺産	一丁野の横穴(田辺より)		湧水口あり(通称横穴)。	山東	柏原
美術工芸品	津島神社の宝刀			山東	柏原
古文書	萬留帳			山東	柏原
歴史資料	西薬師の絵図(絵馬)			山東	柏原
彫刻	西薬師の薬師像			山東	柏原
美術工芸品	明源寺宝物			山東	柏原
建造物ほか	成菩提院、龍、聖徳太子軸			山東	柏原
建造物	御茶屋御殿の藁股			山東	柏原
建造物	開文小学校の屋根			山東	柏原
自然遺産	二本松			山東	柏原
自然遺産	中仙道松並木			山東	柏原
その他	ヨモギ			山東	柏原
遺跡	高尾遺跡(庭園の形あり)			山東	柏原
石碑	岩ヶ谷の大岩(梵字)			山東	柏原
遺跡	西谷奥手のマンガン石採掘跡			山東	柏原
彫刻	丸山のミロク堂(像)			山東	柏原
人物	柏原弥三郎			山東	柏原
その他	亀屋左京(6代目)		もぐさの商業ソング。	山東	柏原

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
人物	いなえ学士(西薬師に碑あり)			山東	柏原
その他	もぐさ			山東	柏原
行事・祭礼	修正会、永代経、報恩講	大野木		山東	大野木
行事・祭礼	乗如上人鏡開法要 13年毎			山東	大野木
行事・祭礼	宗祖 700 回御遠忌法要 昭和 43.3		記録文書、ビデオあり。	山東	大野木
食	行事の時のお講汁			山東	大野木
食	そら豆の煮物			山東	大野木
古文書	過去帳は宝永3年(1703)から			山東	大野木
行事・祭礼	大野木豊年太鼓踊り	大野木区	S42 滋賀県選択無形民俗文化財。雨乞い。返礼：大滝・大峰神社。	山東	大野木
行事・祭礼	八相宮神事(粥神事)	八相宮境内	大野木村社、氏子総代、宮当番に資料あり。	山東	大野木
行事・祭礼	大日如来堂	八相宮境内	命日 18 日宮当番。	山東	大野木
行事・祭礼	野神(道祖神)	大野木西区	西区民輪番 10 月。	山東	大野木
行事・祭礼	伊勢講		西月連中。	山東	大野木
行事・祭礼	伊勢講、金比羅講、稲荷講、薬師講があったが廃止された			山東	大野木
遺跡	大野木土佐守家敷跡	八相宮境内、大字大野木小字八畝町	末裔は桑原氏、東京に大野木氏の子孫(元長銀頭取・(故)大野木克信氏)。	山東	大野木
遺跡	大峰山岩跡	大峰山頂南尾根	田中城(田中吉政)・岩跡が明らか、調査を希望。	山東	大野木
伝承地	大峰山”だだ星”	登山者道中腹上部	流れ星が落ちた穴あり。	山東	大野木
伝承	八相宮元宮	金比羅神社裏山東北部	山の神として祀る。大野木今座敷地区の山講。	山東	大野木
食	サバのぬた		法事のごっつお。	山東	大野木
食	おあえ(白和え)		法事のごっつお。	山東	大野木
食	ぜいたく煮(大根沢庵、ナス、トウ菜)		法事のごっつお。	山東	大野木
食	かしのジュンジュン		祭りの定番ごちそう(飼ひ鶏を絞めて)。	山東	大野木
建造物	旧東海道本線 深谷駅跡		明治 22 年開通。	山東	大野木
遺跡	深谷線(長浜～関ヶ原)		明治 15 年(1883)。	山東	
建造物	堤防道、明治の遺産、マンボが3か所		深谷駅付近にマンボ。	山東	大野木
遺跡・彫刻	妙楽寺跡、桑原氏墓石群			山東	大野木
遺跡・彫刻	最勝寺跡、石川氏墓石群			山東	大野木
遺跡	弁財天遺跡			山東	大野木
遺跡	大野木氏末裔桑原屋敷跡			山東	大野木
古文書	大野木村誌(未発行)		中川泉三 章齋文庫。	山東	大野木
歴史資料	豊臣秀吉朱印状	大野木区	大野木甚之丞へ淀君と小田原城へ送れ。	山東	大野木
歴史資料	大野木古地図	大野木区		山東	大野木
彫刻	木像大日如来坐像	八相宮境内	勢至観音菩薩像もあり。	山東	大野木
景観	大峰山山頂よりの眺め		山頂付近に電波中継所あり。琵琶湖・中京地方の眺め。	山東	大野木
景観	大峰山中腹の夕日と新幹線		夕日を背に新幹線が映える。	山東	大野木
景観	八相宮から見る背景の伊吹山		社はまれにみる伊吹山の借景。	山東	大野木
遺跡	深谷から見る明治の鉄道跡道路		急な登り下りがない道路、鉄道跡がしのばれる。	山東	大野木
自然遺産	大峰山に水神さん(湧水)		水枯れしない。鍾乳洞ロマン。	山東	大野木
景観	夕日に映える政所川のせせらぎ		曲線が美しい天井川の清流に夕日	山東	大野木
遺跡	伊吹山を仰ぐ大野木道	県道 550 線	南伊吹が正面(鼻筋がみえる)。	山東	大野木
その他	大峰山山頂のつつじヶ原		つつじは消滅、今はワラビヶ原。	山東	大野木
人物	大野木土佐守秀国	大野木家屋敷跡・八相宮境内	東上坂田邊文書。	山東	大野木
人物	岡部益庵	大野木	岡部宅文書、天皇の侍医となる。	山東	大野木
人物	中川泉三	大野木	中川俊秀、郷土史家、章齋文庫、里内文庫。	山東	大野木
人物	三家重三郎	大野木	大審院検事。	山東	大野木
建造物	鰐口	八相宮神殿		山東	大野木
その他	玉山の争論	大峰山頂上付近	玉村と今須村の境界紛争に大野木の庄屋熊五郎が江戸に召され証人となり玉村の申す通りとなる。玉山はこの時大野木に永代貸与。	山東	大野木

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
建造物	誠良学校（大野木村郷）	大野木（旧三家家跡）	近村の子らが学ぶ。大清水よりマンボを通学路に。大野木分校（公民館）。	山東	大野木
行事・祭礼	大滝さん	大野木石丸地先奥、胡桃谷	斜面行き止まりに岩のかたまり。そこから年中水が出ている。雨ごい神事、前広場で太鼓踊りをした。	山東	大野木
遺跡	越戸古道（こえどこどう）	石丸から今須に抜ける古道	新道（現在の県道）が作られる前は岐阜県側との重要なアクセス道であった。曾祖母はこの道を今須から輿入れしたと聞く。最近まで組寄り行事で今須と行き来していた。近年、土石流で荒れている。	山東	大野木
伝説	大日如来さんのむかし話			山東	大野木
建造物	徳願寺本堂		現在の本堂は江戸時代後期、嘉永年間のもの。	山東	大野木
彫刻	徳願寺 お地藏さん			山東	大野木
建造物	見瑞寺本堂		明応7年(1499)芭蕉の弟子が宿泊、俳句を詠む。	山東	大野木
建造物	善證寺本堂			山東	大野木
建造物	八相宮本殿	大野木氏館跡		山東	大野木
建造物	大神宮			山東	大野木
彫刻	徳願寺ご本尊（御影、木像）		江戸初期、万治年間のもの（絵像）、木像は貞享3年(1686)。	山東	大野木
古文書	徳願寺文書一卷		八相宮釣鐘買受書等。	山東	大野木
経典	浄土三部経（月輪殿御蔵版）			山東	大野木
自然遺産	大峰山 千畳敷			山東	大野木
建造物	薬師堂			山東	大野木
石碑	章斎文庫（石碑）			山東	大野木
建造物	大日如来堂		延享元年(1744)。	山東	大野木
古文書	秀吉の淀君送迎指示書		天正18年(1591)。	山東	大野木
古文書	清滝村との境 確定書		明治6年(1873)。	山東	大野木
古文書	須川村との境 確定書		延宝6年(1679)。	山東	大野木
古文書	八相大明神由緒記		応永9年(1403)。	山東	大野木
古文書	八相宮古記		大般若経巻一・六百奥書：弘安7年(1285)、百一奥書：応永3年(1397)。	山東	大野木
古文書	八相宮由来		近年作成。	山東	大野木
古文書	東京帝大総長からの文書借用の礼状（昭和10年）		秀吉朱印状の借用、八相宮御中あて。	山東	大野木
彫刻	馬頭観音	西区墓地と今屋敷墓地の北西	創建は室町以前か（「大野木惣」に記述あり）。	山東	大野木
石造物	玉山の石碑	玉山	玉山の由緒書きらしい。古老によると京都二条城で裁判があったとも。石碑の調査希望。	山東	大野木
建造物	八相神社の鳥居	八相神社	鳥居の由来を調べてほしい。	山東	大野木
石造物	宝篋印塔	石丸の奥	僧・天海のゆかりのものと伝わる。	山東	大野木
行事・祭礼	観音山・桜100年祭り		ご詠歌の本を各戸に配りテープを徳源院に保存している。	山東	清滝
食	神明講		鶏をつぶす・ドジョウ汁：女性が作る、男性が食べた。	山東	清滝
食	観音講		鶏をつぶす・ドジョウ汁：女性が作る、男性が食べた。	山東	清滝
行事・祭礼	報恩講	石堂寺	11月23日の天台会でおこなわれる百万遍、数珠廻いは今日では非常に貴重。北畠具行卿をたたえた歌あり。	山東	清滝
彫刻	猫折坂の峠の峠地藏（乳地藏ともいう）		かつて東山道の東の出入口にあったが国鉄敷設のため移設。現在、天王谷の道端にある。清滝への東西に出入口に建てた地藏と考えられる。ここに東山道の一部をみられる。	山東	清滝
景観	JR 清滝踏切付近から伊吹山をバックに東海道線新幹線を通る列車の通過風景		新幹線と在来線を重ねてみられる。数少ない、東海道線R400mカーブも清滝付近に二か所もある。撮り鉄のメッカ。	山東	清滝
自然遺産	清滝共同墓地の六地藏前の佗助の木		佗助としては大木。	山東	清滝
行事・祭礼	清滝大松明行事	清滝区内神社から墓地	京極家の先祖供養のために始められたといわれる。区内の古老も正確な起源は知らない。古文書も未発見。昭和の初めごろから2~30年代までは3日間かけて行なわれた。お盆の夜には墓地の坂道で勇壮に担がれる。	山東	清滝

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
伝承	柏横（イブキ）の由来		京極氏が伊吹山から投げた苗木が清滝まで飛んできて根付いたので、この地を京極氏の本拠地とした。	山東	清滝
石造物	北畠具行墓（供養塔）		元弘の変で失脚した北畠具行は鎌倉に護送される途中、清滝寺に一月余り逗留後斬首。死後16年後に建立。	山東	清滝
建造物	京極氏墓所		京極高豊公が江戸初期に近在の墓石を集め祀りなおした。	山東	清滝
建造物	三重の塔		墓所の先祖供養塔として建てられた。	山東	清滝
古文書	京極氏信公寄進状等古文書一式			山東	清滝
絵画	清滝村古地図等絵画一式			山東	清滝
その他	徳源院庭園		江戸初期の庭園。	山東	清滝
自然遺産	柏横の古木	清滝（正願寺跡）	樹齢約700年。京極高光（8世、1372～1413）が伊吹山より移植。正願寺を建てた折に庭に植えたと伝わる。	山東	清滝
自然遺産	イワカガミとイワウチワの群生地	清滝山山頂付近	イワカガミとイワウチワが混生。近年登山客が増え、激減。	山東	清滝
自然遺産	導誉桜（エドヒガンザクラ）		導誉公が植えたと伝わる。樹齢370年くらいなので2代目か。	山東	清滝
遺跡	柏原城跡			山東	清滝
その他	清滝大松明資料館			山東	清滝
その他	清滝の溜池			山東	清滝
絵画	清水節堂の幽霊画	徳源院		山東	清滝
景観	伊吹山の遠景			山東	清滝
建造物	清滝神社	清滝（塔中川上流）	保延4年（1138）創建。京都醍醐寺より分祀された祭神。建長5年（1253）朝廷の命により五日間の祈雨の法事が行われ、清滝権現八大龍王を祀って清滝という地名のもとになった。	山東	清滝
人物	中川泉三	大野木	郷土史家。坂田郡志、蒲生郡志の編集の中心人物。	山東	清滝
人物	柏原弥三郎	清滝	柏原城（現在の徳源院）創建者。源義経に従軍して壇ノ浦等で手柄を立て柏原荘の地頭に任ぜられた。頼朝の死後、朝廷、幕府に逆らって佐々木氏に討たれた。	山東	清滝
伝承	イモチ送り	清滝	野神祭りの一種。続山東昔ばなしに記述。	山東	清滝
伝承	土の中の石仏	清滝	続山東昔ばなしに記述。	山東	清滝
伝承	男地蔵・女地蔵	清滝・石堂寺	山東昔ばなし。	山東	清滝
彫刻	観音山三十三所観音石仏群	清滝観音山	年2回の彼岸会に地域住民がお参りしている。	山東	清滝
彫刻	将軍地蔵	清滝勝願寺跡	地域住民が世話している。	山東	清滝
伝承	包帯をしたご本尊	清滝・石堂寺	山東昔ばなし。	山東	清滝
景観	清滝山	清滝	松明山とも呼ばれ、登山道整備。清滝のNPOが山に桜を植樹。ハイカーが多く訪れる。	山東	清滝
自然遺産	ホタル	清滝集会所周辺	ホタル保護が周知され、多くのホタルがみられる。	山東	清滝
行事・祭礼	百万遍念仏	石堂寺 檀家	初七日法要で念仏を唱え大数珠練を行う。	山東	清滝
彫刻	西国33箇所石仏	清滝山中	明治30年石堂寺住職発願、明治34年完成。彼岸に法要。	山東	清滝
絵画	涅槃図	石堂寺	毎年3月15日に涅槃会。	山東	清滝
経典	大般若経	石堂寺	毎年8月に虫干し。	山東	清滝
自然遺産	菩提樹	石堂寺境内	庚申塚の隣にあり。	山東	清滝
石造物	庚申塚	石堂寺境内	寛政12年建立。	山東	清滝
石造物	侘助	清滝共有墓地	江戸時代のものと思われる。	山東	清滝
行事・祭礼	華の頭（おこない）		新年祭の元の姿とみられる。農耕儀礼。	山東	志賀谷
行事・祭礼	野神祭			山東	志賀谷
行事・祭礼	松明祭		起源は安土桃山後期から江戸前期頃かと思われる。松の薪15束程度を積み、その中へ青竹を挿し、その爆竹音でもって作柄の吉凶を占う神事。	山東	志賀谷
伝承	お方井の話			山東	志賀谷
伝承	時重の話			山東	志賀谷

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
伝承	志賀谷の薬師如来			山東	志賀谷
伝承	北向き地藏さん			山東	志賀谷
建造物	萬松院		1716～1735年五代阿原助太夫為貞により創設開基。1787年に領主紀州水野氏の菩提所となる。江戸末期4か寺の末寺があったが現在衰退し無住。	山東	志賀谷
建造物	正覚寺		梅香山正覚寺、1592年開基。光明院の末寺。真言宗智山派。	山東	志賀谷
建造物	松楽院		開基、開祖等不明。光明院の末寺。真言宗智山派。	山東	志賀谷
建造物	梅林庵		大乘山梅林庵。今須妙応寺の末寺。	山東	志賀谷
古文書	活語初葉（かつごはつのおしおり）		弘化2年(1845)8月 長野義言著。	山東	志賀谷
古文書	歌乃大武根 上・下（うたのおおむね）		弘化3年(1846)8月 長野義言著。	山東	志賀谷
古文書	末分櫛 上・中・下		弘化2年(1845)7月 長野義言著。	山東	志賀谷
古文書	万松院文書			山東	志賀谷
遺跡	松の木古墳		七つ塚の内の残されたものの数少ないものの一つ。田の中の小塚、以前は塚の上に松の木があった。	山東	志賀谷
遺跡	馬塚古墳		志賀谷七つ塚のうちの一つ。	山東	志賀谷
遺跡	釈の谷遺跡	大字志賀谷釈	北側の神の辺り。加勢野へ通じる古道がある。この谷に真宗大谷派の寺院があった。	山東	志賀谷
遺跡	西代遺跡		志賀谷集落北西に位置。東海道新幹線の南側。古式土師器、須恵器等の遺物出土。	山東	志賀谷
古木	正覚寺の紅梅		堂前に樹齢400年の紅梅の古木。	山東	志賀谷
伝承	複願寺の古轡と馬供養			山東	志賀谷
伝承	三つ岩			山東	志賀谷
伝承	西野の高尚館			山東	志賀谷
伝承	和助堀り			山東	志賀谷
建造物	地藏堂		志賀谷を守りまちの安泰を願って作られた。	山東	志賀谷
建造物	薬師堂		1257年の大洪水の折、漂着した仏像。8家の者が一字を建立して安置した。	山東	志賀谷
彫刻	柳野石仏群		志賀谷墓地道左側に集積された石仏群。二身一体仏を拝める。	山東	志賀谷
石碑	忠魂碑		東西両学区全区の合同慰霊塔である。戊辰戦争から第二次世界大戦までの戦死者の霊を祀る。	山東	志賀谷
古文書	阿原文書			山東	志賀谷
古文書	言葉の玉緒 7冊		寛政4年 本居宣長著	山東	志賀谷
古文書	古今集遠鏡 6冊		本居宣長著	山東	志賀谷
古文書	玉あられ		寛政4年 本居宣長著	山東	志賀谷
遺跡	時重遺跡		志賀谷集落の西、西代遺跡の南に隣接する集落跡。平安時代中心の掘立て柱跡、溝が検出。遺物は僅少。	山東	志賀谷
遺跡	西野遺跡		国学者・長野主膳義言が「高尚館」を建て門人を養ったところ。	山東	志賀谷
遺跡	志賀谷代官屋敷跡		紀州徳川家の付家老熊野の城主水野家の領地であり代官を置いて管理していたところ。	山東	志賀谷
遺跡	杉本溜遺跡		志賀谷が水野氏領地以前、中世の佐々木京極氏の支流黒田氏の折、開鑿された「お方井」に関わる溜池。	山東	志賀谷
伝承	たたり石と風吹き地藏			山東	志賀谷
伝承	竹やぶ老人			山東	志賀谷
石造物	石幢		地藏燈籠と呼ばれる六角形の珍しい大型石幢。この石幢は重制塔である。正面に貞享丙寅三年八月十一日の陰刻あり。	山東	志賀谷
建造物	志賀神社	大字志賀谷	1199年に摂津国広田の神を勧請して志賀江安房倉社と称し八幡宮とともに2社の産土神（氏神）であったが1892年に1社に合祀、志賀神社と改称する。	山東	志賀谷
建造物	金刀比羅神社		祭神は金山彦命である。本殿の左に秋葉社、右に御嶽社が鎮座する。	山東	志賀谷

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
建造物	福願寺		志賀江山福願寺と称し浄土真宗大谷派。673～685年の起源と言われ、元長沢福田寺の末寺。1802年、領主紀州の水野家の菩提所と定められ、領主歴代の位牌を安置する。	山東	志賀谷
行事・祭礼	野神		農業の神様。	山東	志賀谷
建造物	殿神（北の殿神、南の殿神）		志賀谷の集落の北と南にある小さな祠に祀られる。神域に祀られる神は白蛇、馬頭観音、天照大神等。	山東	志賀谷
遺跡	高尚館跡		天保13年（1842）志賀谷北村に長野義言が高尚館を開いた。	山東	志賀谷
人物	長野主膳義言（国学者）		彦根藩主井伊直弼の懐刀のいわれ西野に高尚館を建て和歌等門人を養った。	山東	志賀谷
行事・祭礼	春日神社	北方	年5回（春祭・春の野休み・秋祭・秋の野休み・大祓）。	山東	北方
伝承	「北方」という集落名由来	北方	北方南部の「年吉（としお）」から発生したという。年吉の旧称が「日盡（ひつくし）」であったことに関わる言い伝えで行基の話が残っている。	山東	北方
建造物	横山隧道	米原市 / 長浜市	大正12年完成の総レンガ作り。近代土木遺産。	山東	菅江
彫刻	釈迦如来像	菅江釈迦堂	戦国時代の仏像と思われる。	山東	菅江
彫刻	常性寺本尊「十二光仏」	菅江常性寺		山東	菅江
行事・祭礼	おこないさん	山室区	神事、当家決定はくじによる。氏子総代が持つ幣をかざして決める。	山東	山室
行事・祭礼	太子講		製材・建具等の職を生業とする人もほとんどいなくなり、ここ数年おこなわれていない。	山東	山室
民謡	山室節		創始年代不明。ゆったりと唄いお祭りやオコナイ等で必ず唄われる。唄える人が少ない。（ゆったりゆっくりが山室節）	山東	山室
彫刻	小倉寺	大字大町	毘沙門天。はっきりとお顔立ちは分からない。	山東	山室
景色	木戸から見る小倉山・新幹線・伊吹山		伊吹山の広がり good。	山東	山室
自然遺産	山室湿原	箕作	湿原形成は2.5万年～2万年前。山室湿原を守る会・湿原を考える会等が保全活動に取り組む。	山東	山室
自然遺産	横山のフクロウ・ムササビ	横山山地	特にフクロウに関しては餌場の確保（一年を通じて水田に水を張り餌の確保）。	山東	山室
その他	建具（組子）	山室区	雨戸の戸袋のアイディアは山室のもの。山室は建具職人の村であったが今は2戸しかない。旧山東西小学校の扉は山室の職人によるもの。	山東	山室
行事・祭礼	かがり火、おこない、湯の花、新嘗祭			山東	大鹿
行事・祭礼	報恩講、御遺忘、廻り仏			山東	大鹿
伝説	しゅげんじの泉、夜泣き橋（夜泣き地蔵）、腰越えのタヌキ松			山東	大鹿
唄	地搦きうた、伊勢音頭（上棟式）			山東	大鹿
食	赤飯（はしか）			山東	大鹿
遺跡	岩祖山砦跡、大鹿館跡、十善寺遺跡			山東	大鹿
建造物	久志神社、秋葉神社			山東	大鹿
遺跡	千石通り、堂山			山東	大鹿
遺跡	軍監視所（堂山）			山東	大鹿
彫刻	聖観音菩薩			山東	大鹿
行事・祭礼	新年合同年賀式・新年篝火焚き	久志神社	年賀式：元旦に実施、篝火：元旦早晩に点火、約半世紀前から続く（始期不詳）。	山東	堂谷
行事・祭礼	久志神社 山王社例祭	久志神社・山王社	氏子行事・春季（5 / 1）・農休み（6月）・秋季（9 / 15）・仕舞い休（10月）・新嘗祭（11月）・大祓（12月）・祈年祭（2月）・山王（4月）、参拝当番は区内の班でまわす	山東	堂谷
行事・祭礼	坪江薬師堂 参拝（4月）	薬師堂	自治会行事（現在は門徒無く自治会で管理）。	山東	堂谷
行事・祭礼	雲林山東光院極楽寺観音堂千日講（8月）	観音堂	自治会行事（現在は門徒無く自治会で管理）。	山東	堂谷

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
行事・祭礼	高禪寺・西ノ宮道場		寺院行事：報恩講・永大経・お取越等・真宗仏光寺派。	山東	堂谷
行事・祭礼	地藏盆（区内3カ所、民家屋敷内等）		隣組や個人で管理・実施。	山東	堂谷
伝承	雲林山東光院極楽寺があったとされる場所	谷ノ山～綾ノ山	谷ノ山～綾ノ谷にかけて存在、30ほどの僧坊があったと記されている。「堂谷」の地名の由来とされ、地元有志で調査研究中。	山東	堂谷
伝承	観音堂の扉に菊のご紋、境内に経塚あり		建久年間、後鳥羽院が名超山に行幸された際に病気になることから。「雲林山東光院極楽寺記」「堂谷安房倉大明神社紀」に記述あり。	山東	堂谷
伝承	堂谷城跡	小字殿屋敷一帯	屋敷跡の遺構か。（地元研究会が調査中）	山東	堂谷
伝承	梵字石：応安年間（774～835）（弘法の筆投げ石）	小字地先黒田川の横	厄除けの梵字が刻まれた岩。黒田川（旧姉川）の氾濫を鎮めるための弘法大師の投筆という。「新註近江輿地誌略」より。	山東	堂谷
遺跡	東の山、西の山の頂に岩の石組み	砂留・殿屋敷・小谷・丸谷	堂谷東山岩・西の岩（滋賀県中世城郭分布調査6より）。	山東	堂谷
遺跡	経塚	極楽寺観音堂境内	後鳥羽院の病氣快癒の祈願に法華経の一字一石経を書き方墳を築く「堂谷安房倉大明神社紀」による。	山東	堂谷
建造物	水車小屋を移築した現在の農業倉庫	小字中道	元は黒田川の伏にあった水力による米つき場（昭和15年10月建築）、昭和46年に中道に移築。	山東	堂谷
石造物	正眼庵 札所石柱			山東	堂谷
不動産	溜池		堂谷の農業用水・生活用水。	山東	堂谷
文書	堂谷安房倉大明神社紀	久志神社保管	天正8年誌（1580）雲林山東光院僧侶により記された。	山東	堂谷
文書	久志神社由緒記	久志神社保管	摂社山王権現の縁起も記載。	山東	堂谷
彫刻	仏像5体	高禪寺本堂内に預かり	十一地面千手観音像立像・木造釈迦三尊像・木造聖観音立像・青銅製立像・木造立像：（山東町区有文化財目録より）〔堂谷公民館保管〕。	山東	堂谷
絵画	涅槃図 2軸	高禪寺本堂内に預かり	絹本着色、破損激しい。	山東	堂谷
美術工芸	神社宝物各種	久志神社保管	棟札・湯釜「粟蔵大明神」ほか。	山東	堂谷
景観	観音堂参道石段および堂宇		時期不明。	山東	堂谷
自然遺産	久志神社境内の神木：大イチョウと大杉		樹齢不明。	山東	堂谷
自然遺産	黒田川のホタル、絶滅が危惧される淡水魚介類	黒田川	ゲンジボタル・ボテ・ハヤ・モロコ・ムツ・メダカ・ヤツメウナギ・タニシ・シジミ等。	山東	堂谷
自然遺産	溜池付近の湿地に生息するハッチョウトンボ等	溜池付近	山室湿原と同様な環境、「虫袋ムブク」の地名あり、昆虫類の楽園。	山東	堂谷
人物	常喜榮太郎（旧東黒田村村長）		旧常喜邸の先祖（医師）。	山東	堂谷
建造物	旧常喜邸		国登録有形文化財。	山東	堂谷
人物	平尾道雄 現米原市長			山東	堂谷
人物	三朱沙門			山東	堂谷
人物	安祥上人			山東	堂谷
人物	谷江池之房		戦国の郷土。	山東	堂谷
文書	圃場整備前の田畑等位置図		現在、土地台帳の閲覧等をもとに地元有志で研究中。	山東	堂谷
文書	正眼庵校割帳・文化9年誌（原帳不明）		正眼庵の歴史を知る史料として現在整理中（堂谷地誌研）。	山東	堂谷
遺跡	谷江屋敷跡		谷江（喜谷）家の屋敷。	山東	堂谷
行事・祭礼	おこない	長岡神社	明治初期からの記録あり。	山東	長岡
行事・祭礼	野神祭		のろし、ホンモロコ、白むしなど。	山東	長岡
行事・祭礼	愛宕神社 火祭り		江戸期の長岡大火がきっかけ。以来継承。	山東	長岡
行事・祭礼	安能寺・呑龍上人の春祭り	安能寺	「子育て呑龍」を祀る行事。	山東	長岡
伝承	歯なおし地藏・馬拍子地藏・子育て地藏等		山東の昔ばなし・続山東の昔ばなしに採録。	山東	長岡
民謡	伊勢音頭			山東	長岡
食	八杯豆腐		葬儀の参列者にふるまうもの（隣家が担当）、現在はみられない。	山東	長岡

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
行事・祭礼	ホンモロコのお供え(野神祭)		ホンモロコをタデの葉で巻いてイダサでしばり、サトイモの葉にのせて供える。	山東	長岡
石造物	長岡神社 自然石の大燈籠	長岡神社境内	明治時代に地域住民により作成『ふるさと長岡の昔を探る』に記載。	山東	長岡
美術工芸	長楽寺 梵鐘と本堂の鬼瓦	長楽寺	梵鐘；長岡大火の記録、鬼瓦；近在にない大きさ。	山東	長岡
彫刻	長岡の守護神：おしゃくさん(4つあり)	長岡 17 番組内	毎年法要している。	山東	長岡
建造物	遠州流茶室「燕窓窠(えんそうか)」(旧田中邸新座敷棟)	西福寺(もとは長岡 1234 にあったものが移転)	1837 年の図面あり、藩の巡検史等の接待に使われた。	山東	長岡
彫刻	阿弥陀如来坐像	東福寺	東福寺は京極満信(鎌倉中期の領主的存在)の菩提寺。	山東	長岡
石造物	宝篋印塔	東福寺近くか	京極満信の墓。	山東	長岡
彫刻	安能寺・蓮糸の曼荼羅や古い仏像	安能寺		山東	長岡
文書	郷野文書			山東	長岡
巨樹	神社の大イチョウ・大ケヤキ		イチョウ：市天然記念物。ケヤキ：淡海の巨木・名木次世代継承事業に指定。	山東	長岡
自然遺産	天野川 ゲンジボタルとその発生地		守る会の記録。ホテル館の資料。特別天然記念物。	山東	長岡
人物	田中眞三郎正苗			山東	長岡
人物	長野主繕			山東	長岡
行事・祭礼	おこない	八幡神社		山東	西山
行事・祭礼	神社祭礼(春季例大祭・創建記念祭・新嘗祭・大祓祭・新年祭)	八幡神社	今年より6月野休み祭、9月秋季例祭をやめ左記の5祭になった。	山東	西山
行事・祭礼	春祭り・秋祭り	八幡神社		山東	西山
行事・祭礼	しめ縄作り			山東	西山
建造物	八幡神社			山東	西山
建造物	観音堂			山東	西山
建造物	地藏堂			山東	西山
自然	八幡神社 杉並木	八幡神社		山東	西山
自然	王街道のケヤキ			山東	西山
行事・祭礼	報恩講			山東	西山
行事・祭礼	永代経			山東	西山
行事・祭礼	盆会			山東	西山
行事・祭礼	お講汁		いも、かぶら、揚げのお汁。	山東	西山
民俗	西山の野神さん			山東	西山
遺跡	八王寺遺跡			山東	西山
遺跡	次郎十遺跡			山東	西山
遺跡	玉街道塚古墳			山東	西山
行事・祭礼	おこない		2013 年から毎年成人の日に集落の4組のうち3組が若宮八幡社・秋葉神社・鎌足神社に順に神饌とマユダマを奉納、全員が参拝し行う。	山東	市場
行事・祭礼	若宮八幡神社	市場鍵田	元禄 17 年棟札(写し)に本地十一面観音とある。春祭り神事行う。創始；長慶天皇(1368～1383)の正平年間と伝わる。	山東	市場
行事・祭礼	秋葉神社	市場小字長善寺	創立寛永 3 年(古老の話より)秋祭りの神事を行う。	山東	市場
行事・祭礼	鎌足神社		祭神；藤原鎌足、創立不詳。近江輿地誌略には蔵王権現社とある。村人は権現さんという。農休み神事を行う。	山東	市場
彫刻	地藏堂		本尊は腹部より上が欠けた半跏踏み下げの石像。もとは鎌足神社本尊と言われる。	山東	市場
行事・祭礼	八幡神社 家内安全		三社を市場地域の祭礼として毎年1月におこない神事としておまいりしている。各社にカシの木の枝に餅花とお供えを供え、住民が集いお詣り。神事記録あり。	山東	市場
建造物	愛宕神社 火の神	市場 愛宕山	〃	山東	市場
建造物	蔵王権現神社 勉強の祖	市場	〃	山東	市場
食	お講汁(カブラの味噌汁、大根と人参のお和え)	光専寺	報恩講のお齋に門徒から寄せられたカブラの味噌汁。	山東	市場

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
伝承	でんでんやまの地蔵さん		統山東昔ばなし所収。	山東	市場
説話	きわたば		統山東昔ばなし所収。	山東	市場
説話	さんじょ谷		統山東昔ばなし所収。	山東	市場
説話	シャグマ		統山東昔ばなし所収。	山東	市場
伝承	天狗に旅行させてもらった話		山東昔ばなし所収。	山東	市場
人物	市場と佐々木重綱		山東昔ばなし所収。	山東	市場
彫刻	地蔵さんの上半身		村落景観情報に解説あり。	山東	市場
文書	三浦弘家文書	市場	三浦北庵関係。	山東	市場
文書	堀田寿一家文書	市場	庄屋文書。	山東	市場
文書	堀田善治家文書(少々)	市場	庄屋文書。	山東	市場
文書	坪井尚昭家(朝日)文書		庄屋文書。	山東	市場
人物	三浦北庵(彦根藩医)		坂田郡誌に掲載。	山東	市場
人物	堀田圭三(医者・県会議員)		坂田郡誌に掲載。	山東	市場
彫刻	春日神社内の観音さま	夫馬字洞	地元の観音様、時期不明。	山東	夫馬
行事・祭礼	おこないさん	坂口		山東	坂口
行事・祭礼	灯明			山東	坂口
建造物	坂口神社			山東	坂口
建造物	地蔵堂			山東	坂口
遺跡	息長陵村居田古墳	村居田字北屋敷	埋葬者は不明。第30代敏達天皇皇后息長広媛の御陵で1400年以上前のものと言われる。	山東	村居田
石碑	道標	野一色会館	江戸末期の建立。当時の大事な方面が分かる。	山東	野一色
基準点	水準点	円徳寺	一等?	山東	野一色
その他	大原地域四ヶ字、六ヶ字		天満をはじめ朝日・夫馬・池下等と出雲井等と関わって昔から水利のために協力してきた。	山東	天満
唄	天満雨乞い踊りの唄	天満	大原地域の太鼓踊りの一つ。3年ほど前から踊りはしていない。	山東	天満
伝承	天満・林の薬師如来	天満	山東昔ばなしに記載されている。	山東	天満
石造物	立石	天満・林地先	条理制の基準点。	山東	天満
自然遺産	一本松	天満・林地先	昔から大原地域の太鼓踊りが岡神社へ向かう参道の通過点。田別塚古墳の一本杉と呼んでいた。この塚は日本武尊の御子「息長田別王」の墓と伝わる。一本杉は枯れ「一本杉」の名が伝わる。今は新しく松の木が植えられている。(集会所に昔の写真アリ)	山東	天満
自然遺産	天満神社のイチョウ	天満	紅葉が特に美しい。	山東	天満
自然遺産	油里川(天野川)のゲンジボタル	天満・油里地先	特に油里山すそに多種のホタルが乱舞。(6月頃)	山東	天満
行事・祭礼	神事祭(おこない)	本市場	宵宮(句歌会)、本宮(五十鈴神社参拝)、後宮(直会)からなる。2日間。明治8年1月16日発足。	山東	本市場
行事・祭礼	地蔵盆	本市場	老若男女が地蔵堂に集い、ご詠歌を唱える。その夜は子供を中心に歓談飲食する。	山東	本市場
食	御講汁		カブの味噌汁。以前は各家へいただきに上がっていたが今は各家庭での料理となっている。	山東	本市場
建造物	五十鈴神社本殿		オコナイの際に参拝。建立年代不明。	山東	本市場
建造物	地蔵堂	本市場(消防庫)の西	近隣集落でも立派な地蔵堂。	山東	本市場
建造物	大原判官屋敷跡	本市場草の根広場西		山東	本市場
景色	伊吹山の遠景			山東	本市場
行事・祭礼	三嶋神社の祭礼		鎌倉時代創建。佐々木秀義または重綱が勘定したとされ、かつては猿楽も5月2日、10月2日にあった。大原観音寺文書、野一色文書に記載。	山東	池下
行事・祭礼	不動尊の縁日法要		区の行事として2月と8月に法要を営む。山東町史大橋家文書に記述あり。	山東	池下
行事・祭礼	報恩講	真勝寺、光福寺、道境	真宗最大の行事。	山東	池下
行事・祭礼	乗如上人鏡割講(廻り仏)	真勝寺門徒中	廻り仏。	山東	池下
伝承	三島池の伝説	三島池	佐々木秀義の乳母が生き埋めになり、それ以降池の水が満々とたたえられている。	山東	池下

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
民謡	雨乞い・返礼の唄	三嶋神社	大原区 16 か村の雨乞い太鼓踊りの唄。正徳年間の唄は光明院 22 世の作。	山東	池下
伝承	長禅寺（廃寺）	池下字長善寺	大和国室生山の別院という。佐々木重綱がこの地に大原本郷城（池下城）を築いたとも。	山東	池下
伝承	正傳庵（廃庵）	以前は三嶋社にあったという万里集九の詩文集「梅花無尽蔵」にある	大原満信の法号が「正傳庵殿」であることから彼の氏寺か。場所特定できず。	山東	池下
食	鮎ずし		今は自家製はわずか。	山東	池下
食	鮎味噌		冬の滋養食。	山東	池下
食	鯖そうめん			山東	池下
食	お講汁	真勝寺・道場	報恩講の会食に出る味噌汁。真勝寺は大根、道場は蕪。かつて光福寺でも蕪の汁。	山東	池下
建造物	毘沙門堂（不動堂）		日下部家次が長禅寺から 1690 年に移す。	山東	池下
彫刻	毘沙門天立像・不動明王坐像		「不動明王置之由来」大橋家文書。	山東	池下
文書	大橋丈夫家文書	コピーを池下区所蔵	大庄屋・大橋助左衛門等、江戸初期から幕末にかけての古文書。	山東	池下
文書	大橋俊幸家文書		大庄屋・大橋竹治郎等、代々つとめた庄屋の記録 コピーを池下区で保管。	山東	池下
文書	田邊正幸家文書	柏原宿歴史館寄託	家伝によると江戸時代池下を知行した旗本瀬川氏の家老職であった。のち庄屋を務めた。コピーを池下区で保管。	山東	池下
自然遺産	三島池	池下字溜池	マガモ自然繁殖南限地。1957(S32) 県天然記念物。	山東	池下
自然遺産	ゲンジボタル	螢川（大和川）ほか池下一円	螢川は市の特別保護区域。1996 年市条例にてホタル保護。	山東	池下
自然遺産	不動尊の大杉	毘沙門堂境内	幹周 5.78m、樹高 30m、樹齡 400 年以上。池下区蔵の元禄古図にみられる。	山東	池下
人物	佐々木重綱	池下字長善寺	大原氏始祖、大原本郷城主。	山東	池下
人物	大原満信	池下字長善寺	奉公衆。	山東	池下
人物	万里集九	池下 正傳庵	応仁の乱を逃れこの地に移り住んだ。詩集「梅花無尽蔵」。	山東	池下
人物	木村 寛	池下字西之山	美濃生まれ。肥後で医術、伊予で儒学を学ぶ。仙台藩・彦根藩で教授。屋敷跡が西之山の山麓にある。顕彰碑・墓が中腹にある。	山東	池下
人物	昭和天皇・皇后	三島池ビジターセンター跡	1975(S56) の植樹祭に来訪。行啓記念碑がビジターセンター跡にある。	山東	池下
文書	大原郷四ヶ村共有文書（池下・天満・夫馬・朝日四ヶ村の共有物）		代々の関係区長が輪番で箱と鍵を別々に保管し四者立ち会いの上で毎年確認している。	山東	池下
伝承	三島池のほりにある「はらいた宮さん」	池下 三島池の宮山中腹	比夜又女の石塔「はらいた宮さん」と呼ばれる。古くからこの近くで遊ぶときは中に入るなど言われた。この場所では不浄なことをするなという戒めではないか。	山東	池下
石碑	木村寛翁の顕彰碑	池下西ノ山中腹	長野主膳に師事。彦根藩弘道館で教授として活躍。	山東	池下
石碑	西南戦争戦没者慰霊碑	池下三島池水門近くの丸山山中		山東	池下
絵図	池下村の絵地図		元禄 3 年。	山東	池下
伝承	山東昔ばなしに出ている三島池で発見された仏像		個人宅に現存。	山東	池下
景色	夏季伊吹山西裾から昇る朝日をグリーンパークから眺める風景			山東	池下
景色	夕日に輝く伊吹山を三島池から眺める風景			山東	池下
自然遺産	丸山や源氏山山中に山野草が多くみられる			山東	池下
伝承	三島神社鳥居横の比夜又姫の塔の近くにある大岩		この岩は道路改修前には道路と広場にあり、そこに比夜又姫の機織り機が埋まっているという伝承あり。	山東	池下

参考資料

【伊吹地域】

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
行事・祭礼	天満神社		3月祈願祭、4月15日春祭例祭、11月新嘗祭。	伊吹	甲津原
行事・祭礼	おこない(2月中旬)			伊吹	甲津原
行事・祭礼	盆参り 8月14・15・16日 夕方			伊吹	甲津原
行事・祭礼	野神参り 9月1・2・3日			伊吹	甲津原
行事・祭礼	行徳寺		4月1日教如上人(廻り仏)、4月上旬乗如上人(廻り仏)、4月・9月:永代経、11月報恩講。	伊吹	甲津原
民謡	顕教踊 唄	寺・宮 境内		伊吹	甲津原
民謡	牛引踊 唄	宮境内		伊吹	甲津原
民謡	酒飲節		酒宴。	伊吹	甲津原
民謡	子守唄			伊吹	甲津原
食	山菜料理		ゼンマイ、ワラビ、みずな、みょうが。	伊吹	甲津原
建造物	神殿、面堂			伊吹	甲津原
建造物	寺本堂			伊吹	甲津原
石造物	秋葉神社常夜灯			伊吹	甲津原
建造物	民家のカイドレ、蔵、持送り		多雪に適応した建物の構造。	伊吹	甲津原
彫刻	行徳寺仏像			伊吹	甲津原
美術工芸	能面			伊吹	甲津原
建造物	ふるさと伝承館			伊吹	甲津原
建造物	唐臼小屋		集落内を流れる水路の水力利用。	伊吹	甲津原
景観	的場から見た集落全景			伊吹	甲津原
景観	棚田の風景			伊吹	甲津原
景観	姉川の溪流			伊吹	甲津原
景観	金山の全景			伊吹	甲津原
自然遺産	神社境内の杉			伊吹	甲津原
自然遺産	寺前の樅の木			伊吹	甲津原
彫刻	石仏群			伊吹	甲津原
自然遺産	谷川のイワナ(ナガレモンイワナ)			伊吹	甲津原
人物	船川仙左衛門	甲津原	江戸時代・蜀山人の弟子、戯曲百人一首。	伊吹	甲津原
特産品	とち餅		甲津原漬け物加工部製造。	伊吹	甲津原
特産品	みょうが		甲津原漬け物加工部製造。	伊吹	甲津原
特産品	味噌		甲津原漬け物加工部製造。	伊吹	甲津原
行事・祭礼	おこない(生きた鯉を奉納)	白山神社	2月上旬。	伊吹	曲谷
行事・祭礼	春の例祭(湯かけ神事)	白山神社	4月上旬。	伊吹	曲谷
行事・祭礼	天神祭	天神社	11月上旬。	伊吹	曲谷
行事・祭礼	新嘗祭	白山神社	11月上旬。	伊吹	曲谷
行事・祭礼	祈年祭	白山神社	3月中旬。	伊吹	曲谷
伝承	西仏房による石工技術の伝承		西仏房石像、天神社祠、石臼公園モニュメント、案内看板(著しく劣化)。	伊吹	曲谷
伝承	大政所・北政所の逃避行		へんじょうヶ岩屋、大政所の石像、秀吉からの返礼品。	伊吹	曲谷
伝承	石田三成の逃避行		石田ヶ洞。	伊吹	曲谷
伝説	姉池・妹池伝説			伊吹	曲谷
伝説	寝すぎ橋伝説			伊吹	曲谷
伝説	七塚伝説		壬申の乱決戦地、中臣連金と七勇士、石棺、案内看板(著しく劣化)。	伊吹	曲谷
食	山菜料理		ゼンマイ煮物、コゴミ胡桃和え、よもぎ餅、松茸、ミョウガ、サンショウ等。	伊吹	曲谷
食	ジビエ		熊鍋、ぼたん鍋、蜂の子。	伊吹	曲谷
食	たくわんの贅沢煮			伊吹	曲谷
食	伊吹そば			伊吹	曲谷
建造物	白山神社 本殿・拜殿			伊吹	曲谷
美術工芸	白山神社 室町時代の板碑			伊吹	曲谷
自然遺産	白山神社 巨木群・乳銀杏		乳銀杏の看板劣化。	伊吹	曲谷

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
石造物	白山神社 石垣			伊吹	曲谷
自然遺産	白山神社 湧水			伊吹	曲谷
建造物	白山神社 末社(住吉社)		著しく老朽化。	伊吹	曲谷
建造物	圓楽寺 御堂・庫裏・鐘楼			伊吹	曲谷
石造物	天神社 石祠			伊吹	曲谷
自然遺産	天神社 巨木			伊吹	曲谷
旧跡	曲谷分校跡地 (ヤスバ)			伊吹	曲谷
旧跡	伊吹ゆり園跡地			伊吹	曲谷
旧跡	石臼荘(大持)			伊吹	曲谷
遺跡	起し又遺跡 出土品		縄文。	伊吹	曲谷
建物	古民家			伊吹	曲谷
民具	古民具(石工道具等)			伊吹	曲谷
文書等	古地図・旧公図			伊吹	曲谷
景観	姉川ダム周辺の景色		新緑・紅葉・雪景色・山並み・ダム湖浮島・展望台・ダム公園(温見・寺谷・下流)。	伊吹	曲谷
景観	上起し又や向平の棚田のてっぺんからの眺望			伊吹	曲谷
景観	古民家、石臼を使った石垣・石段、石像等が随所にみられる集落景観			伊吹	曲谷
景観	五色の滝遊歩道、石臼採掘跡地	曲谷	遊歩道が崩れており危険。	伊吹	曲谷
自然遺産	野生動物		シカ・イノシシ・サル・クマ・カモシカ・アナグマ・キツネ・ムササビ・ウサギ等。	伊吹	曲谷
自然遺産	希少な山野草・薬草		タニウツギ・コアジサイ・エンレイソウ・イカリソウ・ツリフネソウ・フデリンドウ・イブキトラノオ・シモツケソウ等。	伊吹	曲谷
自然遺産	笠岩、へんじょうヶ岩屋			伊吹	曲谷
自然遺産	姉池			伊吹	曲谷
自然遺産	姉川・起し又川の溪流			伊吹	曲谷
行事・祭礼	圓楽寺 乗如さん・永代経・報恩講		4月・9月・12月。	伊吹	曲谷
人物	西仏坊覚明		曲谷に石工技術を伝えた。	伊吹	曲谷
人物	中臣連金		壬申の乱の時の右大臣で田根で処刑された。	伊吹	曲谷
人物	秀吉、大政所、北政所		本能寺の変後の逃避行。秀吉の母の出生地という伝承もある。	伊吹	曲谷
習俗	曲谷だけにみられる珍しい苗字が多い	曲谷	世一(よいち)、世代(よしろ)、鳩代(くしろ)、表地(ひょうち)、水長(みずなが)、善那(ぜんな)、木曾(きそ)、姉川(あねがわ)。	伊吹	曲谷
建造物	五重塔			伊吹	上板並
美術工芸	寝仏・石仏			伊吹	上板並
景観	ふれあい橋から眺める姉川			伊吹	上板並
遺跡	砦?			伊吹	上板並
行事・祭礼	若宮八幡神社の焼け祭り	大久保		伊吹	大久保
行事・祭礼	秋葉神社の灯明祭	大久保		伊吹	大久保
行事・祭礼	長尾寺の涅槃会	大久保	釈迦涅槃図絵。	伊吹	大久保
行事・祭礼	大久寺・松音寺の寄講・報恩講	大久保	教如上人が親鸞聖人絵像(慶長6年)。	伊吹	大久保
伝説	雪女郎の伝説			伊吹	大久保
食	峠大根を食材とした料理	大久保	辛み大根。	伊吹	大久保
食	バイタケを食材とした料理	大久保	里山の落葉樹の周りに自生。	伊吹	大久保
食	石クラゲを食材とした料理	大久保	石灰岩質の土地に自生。	伊吹	大久保
建造物	若宮八幡神社 本殿・拜殿	大久保	鎌倉時代創建。	伊吹	大久保
建造物	大久寺本堂	大久保	戦国時代～江戸初期創建・明治九年の大火で焼失、数年後に再建。	伊吹	大久保
建造物	松音寺本堂	大久保	戦国時代～江戸初期創建・明治九年の大火で焼失、数年後に再建。	伊吹	大久保
建造物	長尾寺本堂・毘沙門堂・権現堂	大久保	白雉年間創建。	伊吹	大久保
美術工芸	江戸時代～明治初期の高札	大久保		伊吹	大久保
美術工芸	長尾寺 古文書・仏像・勅額	大久保	毘沙門堂内の県指定文化財。	伊吹	大久保

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
美術工芸	松井家古文書、阿弥陀如来絵像	大久保	阿弥陀如来絵像の裏書(天正18年、教如上人花押あり)。	伊吹	大久保
美術工芸	大久寺阿弥陀如来木像	大久保		伊吹	大久保
景観	河岸段丘上に築かれた石垣のある屋並みの立体的な景観	大久保		伊吹	大久保
景観	姉川パーク・山村広場の桜並木	大久保		伊吹	大久保
自然・景観	節分草の自生地	大久保	節分草ふれあい祭り実施、祭り中止後も山野草ファンが多く訪れる。	伊吹	大久保
行事・祭礼	おこない	小泉		伊吹	小泉
行事・祭礼	神社の祭礼			伊吹	小泉
行事・祭礼	廻り仏			伊吹	小泉
伝説	伊吹山に伝わる酒呑童子の伝説			伊吹	小泉
食	お講大根		行事食。	伊吹	小泉
産業	石灰窯跡			伊吹	小泉
遺跡	峠のシン垣			伊吹	小泉
自然遺産	蟬合い溪谷			伊吹	小泉
自然遺産	桶水		保存すべき名水。	伊吹	小泉
自然遺産	しもくざ		保存すべき名水。	伊吹	小泉
美術工芸	長命地蔵			伊吹	小泉
建造物	谷王神社(本殿、秋葉神社)			伊吹	小泉
建造物	講善寺			伊吹	小泉
景観	蟬合い溪谷の歴史と景観		溪谷から望む紅葉。	伊吹	小泉
景観	小泉ダムから望む伊吹山と七尾山の紅葉・黄葉			伊吹	小泉
景観	泉の棚田景観			伊吹	小泉
自然・産業	蟬合石、小泉石(閃緑岩)		京都東本願寺(向拝石)、伊夫岐神社、観音寺大燈籠、秋葉神社石造殿(春照)。	伊吹	小泉
自然遺産	溪谷の植物		ダイモンジソウ、ミヤマダイモンジソウ、タキミチャルメルソウ、スズジロソウ、コバギボウシ、シンジソウ。	伊吹	小泉
自然遺産	樹陰の植物		セツブンソウ、ユキワリソウ、イチリンソウ、ニリンソウ。	伊吹	小泉
自然遺産	蘚苔類		フシノマンネングサ、コウヤノマンネングサ、オオカサゴケ。	伊吹	小泉
自然遺産	ホタル		イナビカリ。	伊吹	小泉
自然遺産	野鳥		クマタカ、ヤマセミほか。	伊吹	小泉
自然遺産	円空さん			伊吹	小泉
特産品	名産のもの		ワサビ、セリ、クレソン、マコモ。	伊吹	小泉
行事・祭礼	おこない神事(花の当神事)	大字伊吹・伊夫岐神社	元文4(1739)年頃より約280年間、大字をあげての神事祭典として継承。一月にケヤキの木に餅花(マユダマ)や色紙をつけた花の木と鏡餅を伊夫岐神社に奉納。	伊吹	伊吹
行事・祭礼	お田植え祭り	大字伊吹・道の駅付近中心	毎年4月29日に伊夫岐神社神田で行われる祈年祭にあわせ、まちづくりの一環として取り組んでいる自治会行事。	伊吹	伊吹
伝承	いぶき昔話		「伊吹のあゆみ」p81～89参照	伊吹	伊吹
食	お講汁	翠巖寺(浄土真宗大谷派)	報恩講の際、門徒一同がカブラ汁等を一緒にいただく風習が今も残る。	伊吹	伊吹
建造物	出雲井	大字伊吹から長浜市	白雉(650年)年代に始まる灌漑用水、出雲井に関する滋賀県文書の複写が姉川沿岸土地改良区事務所に保存されている。	伊吹	伊吹
石造物	宝篋印塔	大字伊吹(向山)	元は伊吹山にあった弥勒菩薩をお奉りしたもの。宝暦五(1775)年。	伊吹	伊吹
建造物	権現神社(権現さん)	大字伊吹(別相)	伊吹山中腹にあり、毎年3月と8月に宮世話、区役員が参詣。	伊吹	伊吹
文書	古文書「花の当神事略縁」	伊夫岐神社	オコナイの古文書。	伊吹	伊吹
美術工芸	伊夫岐神社の獅子頭(おかしらさん)	伊夫岐神社	滋賀県指定文化財 昭和46年。	伊吹	伊吹
美術工芸	伊夫岐神社の天狗面	伊夫岐神社	伊吹町有形文化財 昭和46年。	伊吹	伊吹

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
民俗	伊夫岐神社の大太鼓	伊夫岐神社	大正10年4月新調(直径155cm、長さ181cm、胴回り535cm)。	伊吹	伊吹
行事・祭礼	伊勢講	大門道、三之宮神社	五穀豊穡祈願の伊勢への代参者を迎える200年続く神事。道迎えでは、上野流の伊勢音頭が唱和される。	伊吹	上野
行事・祭礼	五社の神の祭り	三之宮神社	明治時代の氏神一村一社制により合祀された五社の神の祭。一説に、天満社、新羅社、愛宕社、若宮八幡社、白山社の五社。	伊吹	上野
行事・祭礼	栗焼き(三之宮神社秋祭り)	三之宮神社	10月の第一日曜日の前日の五社の神祭にあわせて行われる。5年に一度の秋祭りには県文化財「伊吹山奉納太鼓踊」を奉納。	伊吹	上野
行事・祭礼	山開き	白山神社	伊吹山登山の安全を祈願する。	伊吹	上野
伝承	伊吹弥三郎伝説	伊吹山	大男、伊吹童子の父等の伝説。山中に弥三郎の岩屋や泉水、鞠蹴り場等があり、行場でもある。	伊吹	上野
伝承	伊吹童子伝説	伊吹山	酒呑童子のモデルとも。『伊吹童子絵巻』が中近世に描かれる。	伊吹	上野
伝承	織田信長の薬草園	伊吹山(場所不明)	ポルトガル宣教師に命じて開園。『南蛮興廃記』等、江戸時代の書物に記載されている。	伊吹	上野
民謡	伊勢音頭	大門道	伊勢講で伊勢神楽を先頭に歌いながら賑やかに進行する。	伊吹	上野
民謡	嫁入り歌(伊勢音頭)		かつては嫁入り道具の運び手が歌った。	伊吹	上野
民謡	お座敷太鼓		伊吹山奉納太鼓踊の少人数ヴァージョンで復活が期待される。昭和45年に三之宮神社で披露された記録がある。	伊吹	上野
舞踊	千束焚・雷踊り	山頂弥勒堂前	雨乞いの時に各戸1束の松明を積み上げ、雷踊りを踊った。大松明は太鼓踊りの先頭で復元されている。雷踊りは伝承者不在。	伊吹	上野
食	鯖そうめん		春祭りや秋祭りの料理。昭和50年代までは焼き鯖は長浜へ行かないと入手できないご馳走だった。	伊吹	上野
食	鮎汁		子持ち鮎をぶつ切りにした味噌汁、具は豆腐とネギ。年末に長浜の川魚屋で購入し、洗濯機槽のなかで活かす家庭もあった。	伊吹	上野
食	鮎味噌		鮎を長時間かけて味噌で炊く。姿形無く、骨までたべる。	伊吹	上野
食	ぜいたく煮		たくあん用の大根を刻んで塩抜きし、昆布と唐辛子で炊く。	伊吹	上野
食	えび豆		大豆と川エビを炊く。山間部では豆が多く「豆えび」。	伊吹	上野
食	わらびとあげの煮物		春に採ったワラビを塩漬けにして保存。	伊吹	上野
食	ギボウシ		山頂付近のオオバギボウシの若芽をお浸しや天ぷらにする。山頂のものが特においしい。	伊吹	上野
食	どぼ漬		キュウリのぬか漬。各民宿で出される自家製漬物は好評だった。	伊吹	上野
建造物	興津家長屋門	字堀東	江戸時代の主要道沿いに残る県内でも希少な茅葺き長屋門。令和4年に改修。	伊吹	上野
建造物	堀家住宅	字堀東	18世紀末建設とみられる余呉型民家。	伊吹	上野
行場	行導岩(平等岩)等の行場	伊吹山中	伊吹山修験道の峰入りに伴う巨岩・奇岩・洞窟等。	伊吹	上野
建造物	黄檗宗松尾寺	字伊吹山	古代山寺として建立され昭和42年に元の場所に再建。令和4年に解体。	伊吹	上野
建造物	上杉神社	字伊吹山	享保13年(1727)小浜藩家老らにより建立。祭神は上杉謙信。	伊吹	上野
遺跡	杓子の森	字伊吹山	山寺・松尾寺跡の遺跡。白山神社もあり、石神が鎮座。	伊吹	上野
遺跡	松尾寺跡(山麓人ノ廃寺)	字松尾	貞享年間(1684～1688)黄檗宗寺院として再建。基壇跡や金毘羅社跡、歴代住職の墓が残る。	伊吹	上野

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
考古遺物	ミニ塚古墳とミニ塚・人塚出土品	伊吹山文化資料館	字人塚で発掘。6世紀末の古墳を復元。土器や鉄器等が出土。	伊吹	上野
遺跡	野頭	字野頭	北国脇往還から伊吹山に分かれる所。茶所や観音堂があった。	伊吹	上野
その他	三之宮神社境内の記念碑	三之宮神社	朝香宮・久邇宮・東本願寺管長の来山記念碑。大正11、12年、昭和12年。	伊吹	上野
遺跡	悉地院と伊吹山弥高護国寺跡	字清水	慶安2年(1580)に伊吹山中腹から現在地に移転。本坊のほか安養院等6つの支院の遺跡が残る。	伊吹	上野
名勝	悉地院庭園	悉地院	庫裏から望む江戸時代作庭の庭園。『滋賀県庭園報告書』記載。	伊吹	上野
名勝	松井徹夫家庭園	字堀東	県指定文化財の主屋に隣接し築かれた江戸期の庭園。『滋賀県庭園報告書』記載。	伊吹	上野
名勝	興津正明家庭園	字堀東	主屋(近代和風建築に改修)の正面にある江戸期の庭園。	伊吹	上野
その他	大富川砂防と記念碑	大富川	県下有数の急流の砂防工事が大正6年から取り組まれた。昭和60年(1985)完成。碑は三合目に有。	伊吹	上野
その他	水道記念碑	三之宮神社	昭和28年(1953)近隣集落に先駆けて区有水道を敷設。	伊吹	上野
彫刻	大日如来坐像	老人憩いの家	平安前期の米原市最古級の仏像。弥高寺所縁の像とされる。数軒の講で護持されており管理面に不安。	伊吹	上野
建造物	弥勒堂	字伊吹山(山頂)	伊吹山修行の最終目的地。かつて扉に「延宝二年(1647)四月廿二日江州曲谷村 谷口仁左衛門」の銘文あり。	伊吹	上野
彫刻	峰の薬師の薬師石仏	字中ノ岡	江戸時代の地誌にも記載される、鎌倉後期頃の石仏。伊吹山信仰の霊場。	伊吹	上野
書跡	松尾寺所蔵 黄檗宗頂相と関連墨跡	上野会館	日本黄檗宗の開祖隠元以下の肖像画(頂相)と墨跡 約100点。	伊吹	上野
民具	シュラ(修羅)	伊吹山文化資料館	幕末に上野の松居治太郎が発明した干し草刈り用のソリ。	伊吹	上野
考古遺物	伊吹山頂出土の石鏃6点	伊吹山文化資料館	これまでに約14点採集されているものの一部。ほかに石匙1点。縄文時代。	伊吹	上野
石造物	日本武尊石像	字伊吹山(山頂)	ヤマトタケル神話を物語る。明治45年建立、大正元年11月開眼供養(付け足し:南弥勒堂・遭難の地石祠)。	伊吹	上野
歴史資料	牧野富太郎扁額「満山菓草香」	伊吹山文化資料館寄託	富太郎が定宿とした対山館に残された墨跡の額(個人蔵:付けたり封書1点)。	伊吹	上野
歴史資料	伊吹山の絵はがき	伊吹山文化資料館・個人	大正以降の伊吹山の景観や観光を知る史料。	伊吹	上野
歴史資料	ガイドブック『伊吹山』	資料館・個人・章斎文庫	明治38年、国内初期の山岳案内書。中川泉三が執筆。続巻『伊吹山名勝記』(大正2年)、『伊吹山案内』(大正8年)もある。	伊吹	上野
石碑	殉難碑 3基	山頂、2号目半、墓地	大正8年に観測を開始した測候所職員遭難の石碑。測候所勤務の過酷さ尊さを伝える。	伊吹	上野
彫刻	木造日本武尊像(泉亮之作)	三之宮神社	米原市番場の彫刻家泉亮之が大正9年に製作。当初、三合目高屋の石祠に祀られた。	伊吹	上野
歴史資料	上野区有文書・絵図	上野会館	上野区に代々伝わる資料類。町史編纂時に整理済み。	伊吹	上野
歴史資料	松井徹夫家文書	字堀東(松井家)	庄屋・松井家に伝わる文書。滋賀大により目録整理される。	伊吹	上野
典籍	悉地院経典類	悉地院	真言宗を中心とする豊富な経典類。かつて長浜文芸会館が整理。	伊吹	上野
絵画	水天尊像	悉地院	文化6年(1809)、雨乞い祈願のため村中で奉納した絵像。	伊吹	上野
民具	大正時代のスキー	伊吹山文化資料館	上野で使われていたスキー板。日本でも数台の「山善」社製。	伊吹	上野

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区
民具	薬草の桶風呂	伊吹山文化資料館	山麓民宿・松仙館の名物として好評だった薬草サウナ風呂。江戸後期に美濃大垣の蘭学者・江馬蘭齋が発明したものを復元。	伊吹 上野
景観	伊吹山を望む	字伊吹山	米原のシンボル。日本百名山、花の百名山、歴史の山百選等。	伊吹 上野
景観	伊吹山からの眺望	伊吹山頂ほか	白山、穂高乗鞍、御嶽、濃尾平野、琵琶湖を一望。伊吹山の代表的な個性。	伊吹 上野
景観	夜間登山（夜景・天の川、ご来光）	伊吹山	かつて夜間登山の山として有名だった。	伊吹 上野
風景	ベルトコンベアーと伊吹山	中腹から山麓	日本の復興を支えた「近代化遺産」。米原市の「景観遺産」。日本を代表する石灰鉱山として校歌に歌われ地域で親しまれた景観。	伊吹 上野
風景	大門道から三之宮神社	字堀東、堀西	かつて山岳信仰の「町場」で、近代は登山基地としての景観。	伊吹 上野
自然遺産	伊吹山南斜面の草原植物群落	字伊吹山（山腹）	日本を代表する高地の植物群落で指定外の山腹にも広がる。ニホンジカの害が甚大。	伊吹 上野
自然遺産	三合目植物群落	字伊吹山（三合目）	山頂群落に匹敵する豊富な植物相がみられる。地域住民による保全活動が行われている。	伊吹 上野
自然遺産	三合目茅場	字伊吹山（三合目）	元ゲレンデ。良質なカヤが生育し、屋根葺き材として利用。	伊吹 上野
自然遺産	イブキカリヤス	字伊吹山（三合目）	染料として利用された代表種。鮮やかな黄金色に染まる。	伊吹 上野
自然遺産	石灰岩	伊吹山	日本で唯一自給自足できる資源。伊吹山の石灰岩は良質。江戸時代から生産していた。	伊吹 上野
自然遺産	伊吹山の化石	伊吹山	約3億年前のペルム紀の海の生き物の化石。石灰岩。	伊吹 上野
自然遺産	枕状溶岩（玄武岩）	伊吹山上部	伊吹山の成り立ちを証明する岩石。海底火山が噴火した溶岩が固まったもの。	伊吹 上野
自然遺産	堀輿曾市氏作成植物標本一式	伊吹山文化資料館	明治39年に牧野富太郎から植物採集を学び作成した標本類。	伊吹 上野
自然遺産	ケカチの水	字杉谷（神社背後）	かつて「お池」といい、伊吹山山岳修行の潔斎に利用。水道敷設までは貴重な生活用水として利用。	伊吹 上野
自然遺産	ヒメボタル（イブキボタル）	伊吹山頂付近	陸生の小型のホタルで7月中旬頃草原で群生し点滅する。ニホンジカの食害により激減。	伊吹 上野
自然遺産	カタツムリ類	伊吹山、山麓	伊吹山は陸貝の宝庫。イモロイマイ等固有種も棲息。	伊吹 上野
人物	円空（出生地：美濃国）		江戸前期に伊吹山で修行し各地に鉦彫りの神仏像を残す。晩年に太平寺で大作の十一面観音立像を残す（市指定）。	伊吹 上野
人物	播隆（出生地：越中国）		江戸後期に伊吹山で修行した念仏僧。槍ヶ岳開山で知られる。	伊吹 上野
人物	牧野富太郎（出生地：土佐国）		明治14年（1881）19歳の時、単身伊吹山で植物採集。明治39年に春照小学校で講習会と伊吹山での植物採集会実施。	伊吹 上野
人物	大原幽学（出生地：尾張国）		幕末に松尾寺提宗和尚に師事し3年間修業。農村改革の思想の基礎を伊吹山で築く。	伊吹 上野
人物	中山再次郎（出生地：越前国）	三合目に胸像	大正3年、伊吹山で初めてスキー講習実施。日本にスキーを伝えたレルヒから指導を受け京都二中校長のとき来山。	伊吹 上野
人物	高橋七蔵（出生地：上野）		対山館主人。牧野富太郎に師事。天皇行幸で植物標本献上。	伊吹 上野
特産品	伊吹牛乳	道の駅（大字伊吹）	昭和24年に登山口に牛乳処理工場が建設された。地域住民に「らくのう」と呼ばれて親しまれた。	伊吹 上野
特産品	伊吹大根（原種に近い大根）	山麓	江戸中期の絵図の山腹に記載。上野に残っていた種で復活。蹴って簡単に起こせることからケッカラシ（ケッカラカシ）大根と呼ばれる。	伊吹 上野

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
特産品	伊吹そば（日本のそば栽培発祥地）	山麓	江戸中期の絵図に描かれている。伊吹大根を薬味とする。山麓街道筋の名物として知られる。GI 認証「在来種伊吹そば」。	伊吹	上野
特産品	伊吹百草		伊吹山の薬草を原料とし、明治13年には3軒薬草屋があった。現在全て廃業。	伊吹	上野
民俗	カルム（カロムじゃない）		湖北地方で盛んだったボードゲーム。親戚内、各集落で若干ルールの違いあり。	伊吹	上野
行事・祭礼	春照八幡神社奉納太鼓踊り（附 奴振り）	八幡神社	9月23日（5年ごと）寛文11年徳川四代将軍家綱の時代に長期の干ばつに苦しんだ農民が始めた。雨乞いのための踊り。	伊吹	春照
行事・祭礼	祈年祭（おこない）	春照地区全域	毎年2月の第二日曜日。	伊吹	春照
建造物	八幡神社			伊吹	春照
建造物	秋葉神社		明和3年（1766）静岡県秋葉山本宮から分祀。	伊吹	春照
建造物	天満神社		正平5年（1350）創建。篠塚伊賀守重弘を祀ったもの。	伊吹	春照
その他	粥花溜池		灌漑用の溜池。	伊吹	春照
絵図	大絵図		畳5枚文ほどの大きさ、墨で手書き。春照ふれあいセンターにて保管。	伊吹	春照
彫刻	円空作十一面観音立像	太平観音堂	元禄2年製作。	伊吹	春照
自然遺産	白谷の湧水		ハリヨが棲息。	伊吹	春照
行事・祭礼	新年総年頭	勝居神社境内	区の安全祈願、区民一堂に会しての年頭行事。	伊吹	杉澤
行事・祭礼	おこない（神事、とんど焼き、直会）	勝居神社 集会所		伊吹	杉澤
行事・祭礼	春祭、秋祭、新嘗祭	勝居神社		伊吹	杉澤
行事・祭礼	地藏盆		お手引き地藏尊。	伊吹	杉澤
行事・祭礼	いもち送り		復活版 3年ごと	伊吹	杉澤
伝承	勝居神社	勝居神社	信長、秀吉の伝説。	伊吹	杉澤
石造物	句碑 6基	勝居神社境内、宮川家墓地	松尾芭蕉、宮川梅風。	伊吹	杉澤
石造物	石造太鼓橋	勝居神社		伊吹	杉澤
石造物	大神宮常夜灯	勝居神社鳥居前、大門道		伊吹	杉澤
石造物	お手引き地藏尊、延命地藏尊、子安地藏尊			伊吹	杉澤
歴史資料	地籍図（明治17年作成）	区保管		伊吹	杉澤
彫刻	狛犬（小）一対	区保管	笏谷石製	伊吹	杉澤
彫刻	十一面観音	勝居神社境内観音堂	五辻宮が残したと伝えられる。	伊吹	杉澤
工芸品	鰐口	勝居神社		伊吹	杉澤
典籍	大般若波羅密多經 565巻目の一巻	勝居神社		伊吹	杉澤
絵図	涅槃絵図	成就院	奈良国立博物館寄託。	伊吹	杉澤
自然遺産	勝居神社のケヤキ	勝居神社	2020年12月ケヤキ18本中10本伐採、内7本は県の巨樹指定木（伐採木は老木にて安全上伐る）推定樹齢380～430年。	伊吹	杉澤
景観	伊吹山を背景にした杉沢集落の景観	杉沢琴岡線の農道地先からのながめ		伊吹	杉澤
自然遺産	野上のケヤキ	杉沢字真経堂	県指定自然記念物 推定樹齢600年。	伊吹	杉澤
遺跡	杉沢遺跡		出土品の区保存品が手元にない。	伊吹	杉澤
人物	松尾芭蕉			伊吹	杉澤
人物	羽柴秀吉			伊吹	杉澤
人物	五辻宮守良親王			伊吹	杉澤
特産品	笹御守		秀吉賤が岳合戦の伝説。温故創新クラブ活動にて復刻、全戸配布。	伊吹	杉澤
彫刻	琴岡神社本殿の狛犬一対		時期不明。歴史的価値があると思われる。	伊吹	村木
絵画	琴岡神社地藏院にあった掛け軸		時期不明。歴史的価値があると思われる。	伊吹	村木
行事・祭礼	泉神社 大祭	泉神社	祈年祭（2月11日前後）、春季例祭（4月5日）、秋季例祭（9月23日）、新嘗祭（11月23日前後）。	伊吹	大清水

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
行事・祭礼	泉神社 中祭	泉神社	春季湯の華(6月)、秋季仕舞い休み祭り(平成30年より休止)、大祓祭(12月)。	伊吹	大清水
行事・祭礼	薬師堂	薬師堂	当番組が年二回(正月・9月24日)供養する。当番組は毎月8日と12日に参拝 大光寺のご本尊であったと伝わる。	伊吹	大清水
工芸品	獅子頭	泉神社	市指定文化財 太鼓踊りに使われた。	伊吹	大清水
工芸品	古鐘	泉神社	指定文化財。	伊吹	大清水
石碑	皇太子殿下(大正天皇)行啓記念碑	大清水岩砦(そ)山上にある	当地で演習が行われ、大正天皇が皇太子時代に行啓された記念碑。字内でも知る人が少ない。大清水青年会建立(大正4年11月)。	伊吹	大清水
書跡	皇太子殿下(大正天皇)行啓に関する軸	大清水会館		伊吹	大清水
景観	泉神社湧水池付近	泉神社	新緑、紅葉の時期が特に美しい。名水百選選定。近隣府県からの採水者が多く来訪。(岐阜・三重・愛知が多い)。	伊吹	大清水
景色	溜池	大清水 下の溜池(新池・ももひき溜)	新緑、紅葉の時期が特に美しい。ももひき溜からは伊吹山が遠望できる。	伊吹	大清水
景観	春照南付近からながめる伊吹山		晴天の冬空に雪を被った伊吹山が見事。採石跡も当地からは目立たず山容が美しい。	伊吹	大清水
人物	尾木直樹		中学校まで当地で過ごされ墓地もある。本宅は壊されたが蔵が残る。	伊吹	大清水

【米原地域】

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
建造物	佛道寺	佛道寺	竹林山 真宗仏光寺派 1262年(弘長2)草創。	米原	下多良
彫刻	本尊 阿弥陀如来立像(木像)	佛道寺	1717年(享保2)。	米原	下多良
絵画	親鸞聖人絵像	佛道寺	1665年(寛文5)。	米原	下多良
絵画	了源上人絵像	佛道寺	1891年(明治24)。	米原	下多良
彫刻	光明本尊	佛道寺	1398年(応永5)。	米原	下多良
絵画	七高僧絵像	佛道寺	1713年(正徳3)。	米原	下多良
絵画	聖徳太子絵像	佛道寺	1713年(正徳3)。	米原	下多良
行事・祭礼	修正会 1月1日	佛道寺		米原	下多良
行事・祭礼	彼岸会 3月	佛道寺		米原	下多良
行事・祭礼	御差し向け布教・永代経 6月4日	佛道寺	前年の報恩講の門主の講話を末寺に布教。仏光寺派独自行事。	米原	下多良
行事・祭礼	盂蘭盆会法要 8月	佛道寺		米原	下多良
行事・祭礼	彼岸会 9月	佛道寺		米原	下多良
行事・祭礼	報恩講・永代経 11月	佛道寺		米原	下多良
行事・祭礼	歳暮法要 12月	佛道寺		米原	下多良
行事・祭礼	祈念祭(おこない)3月(7日)	下多良神社	神主祝詞、巫女湯の花。	米原	下多良
行事・祭礼	鍋冠り祭り 5月3日	筑摩神社	渡御。	米原	下多良
行事・祭礼	半夏祭 7月(2日)	下多良神社	神主祝詞、巫女湯の花。	米原	下多良
行事・祭礼	秋祭り宵宮 9月(6日)	下多良神社	神主祝詞、かがり火焚く。	米原	下多良
行事・祭礼	秋祭り本日 9月(7日)	下多良神社	神主祝詞、巫女湯の花。	米原	下多良
行事・祭礼	新嘗祭 11月23日	下多良神社	神主祝詞。	米原	下多良
行事・祭礼	大祓い 12月(25日)	下多良神社	神主祝詞。	米原	下多良
行事・祭礼	年越し詣り 12月31日	下多良神社		米原	下多良
彫刻	観音菩薩(青銅)奈良時代	佛道寺 本堂余間	もとは知前山神社境内にあった。	米原	下多良
彫刻	地藏菩薩	下多良神社境内	もとは知前山神社境内にあった。	米原	下多良
彫刻	大谷吉継の首塚の伝承がある北の地藏様			米原	下多良
行事・祭礼	鍋冠り祭り 5月3日	筑摩神社	1200年の伝統、近江を代表する奇祭。	米原	中多良
工芸品	願乗寺梵鐘	願乗寺	1368年鑄造、南北朝時代。	米原	中多良
建造物	筑摩神社		孝安天皇28年(紀元前365年)鎮座、天応元年(781)に筑摩御厨が置かれる。	米原	筑摩

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区
行事・祭礼	鍋冠り祭り 5月3日			米原 筑摩
古文書	筑摩大神之紀	筑摩神社	1567年(永禄10)に記されたものを1813(文化10)に再模写。	米原 筑摩
歴史資料	南都興福寺派下近江国坂田郡筑摩社並七ヶ寺之絵図	筑摩神社	1291年(正応4年)に描かれたものを2回模写(乙亥の年に11月に藤原胤正が模写)。	米原 筑摩
歴史資料	近江国坂田郡筑摩神祭行列圖	筑摩神社	1501年(文亀元)の原画を模写。現在も絵巻物とほぼ同じ列順で実行。	米原 筑摩
人物	渡邊楠亭		1800年(寛政12)筑摩生まれ。	米原 筑摩
行事・祭礼	讃光会(毎年8月)		追悼法要(明治以降の殉国者の法要)。	米原 筑摩
行事・祭礼	常燈講		全国に300余りある本願寺関係講社の一つ。明治七年に講ができ、明治13年以降の法要、講員名簿、会計報告、火葬場管理資料、講員への貸付管理資料等あり。	米原 磯
行事・祭礼	磯崎神社 春例祭(武者行列)	磯崎神社		米原 磯
彫刻	磯北町の地藏さま			米原 磯
その他	宿親制度		現存しているがいずれなくなるので、その歴史を残す。	米原 磯
行事・祭礼	磯まぬけ踊り	磯区	磯独特の踊り 市指定民俗文化財。	米原 磯
行事・祭礼	地藏盆(こどものかぼちゃ集め)	磯区		米原 磯
自然遺産	えぼし岩		万葉の時代から歴史。	米原 磯
建造物	磯谷宅		井伊家の休憩所(磯最古)。	米原 磯
石碑	菅原円受 顕彰碑	喜光寺		米原 磯
石碑	大馬健太郎 顕彰碑	磯山(ホトヒラ)	磯崎神社はもとより神主として近隣の神社に貢献。	米原 磯
石造物	常夜燈(天保13年)	磯崎神社	江戸時代で当時の道。	米原 磯
彫刻	不動様		今のものは昭和6年だが明治からあった。	米原 磯
古文書	中関文書		明治期の入江内湖の権力争い。	米原 磯
古文書	蓮如・六字名号	正行寺		米原 磯
歴史資料	明治26年磯の地図	磯公民館	保存方法を考える。	米原 磯
歴史資料	入江内湖と舟社会の写真		保存方法を考える。	米原 磯
景観	磯山(トラガシロ)からの湖北の景色		湖北・湖東がみえる場所。	米原 磯
人物	菅原円受(1821~1911)	喜光寺	仏教人として村に貢献。	米原 磯
人物	久保元貞(医者)		江戸時代の医者。	米原 磯
人物	椋田与市	上妙寺	常燈講の発起人。	米原 磯
人物	大馬健太郎	磯崎神社	磯の神事に貢献。	米原 磯
人物	日本武尊	磯崎神社	神社の祭神と伝説。	米原 磯
その他	磯とバンクーバー移民		明治26年以降村人350人も移民した(村民の四分の一)。	米原 磯
民具	漁具(コッポケ・モンドリ)		漁業村に今もやってる。	米原 磯
建造物	喜光寺の経堂とその中の六角形の経蔵	磯南町	昭和の大火から残った、江戸時代のものらしい。	米原 磯
行事・祭礼	青龍滝まつり			米原 番場
行事・祭礼	忠太郎地藏まつり			米原 番場
行事・祭礼	西羅神社 春祭り		宮司による神事、巫女の湯の華神事。	米原 樋口
行事・祭礼	西羅神社 夏祭り		巫女の湯の華神事。	米原 樋口
行事・祭礼	西羅神社 秋祭り		宮司による神事、巫女の湯の華神事。	米原 樋口
行事・祭礼	久礼のおこない	大字三吉字久礼		米原 南三吉
遺跡	久礼地先の一里塚			米原 南三吉
景観	久礼地先の枝垂れ桜		中仙道久礼と番場の中間点にある枝垂れ桜。春になるととても美しい。	米原 南三吉
行事・祭礼	稻荷神社の祭礼	西坂 稻荷神社	5月8日、9日。	米原 西坂
行事・祭礼	正恩寺の報恩講	西坂 正恩寺	11月~12月。	米原 西坂
行事・祭礼	地藏堂の地藏祭(盆)	西坂	8月23日。	米原 西坂
伝承	狐に化かされた伝承		地元の人が酒に酔って歩いていると道の真ん中に大きな石があって転んだという説話。	米原 西坂
石碑	松尾寺の道標	松尾寺参道沿い	古い丁石、石仏。	米原 西坂
古文書	松尾寺にかかる古文書		江戸時代以前のもの。柴田氏所蔵(所有者の了解済み)。	米原 西坂

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
食文化	ニジマスの甘露煮			米原	醒井
彫刻	醒井地藏尊	醒井	鎌倉後期造像、花崗岩の半跏像で県下最大。	米原	醒井
建造物	醒井地藏堂	醒井	慶長13(1608)年9月、大垣城主石川日向守建立。	米原	醒井
建造物	旧醒井郵便局	醒井	大正4年ヴォーリス氏の設計、洋館風木造二階建て局舎。昭和9年西洋型木造コンクリート局舎に改築。	米原	醒井
彫刻	馬頭観世音	醒井東端	中仙道を往来する人馬の安全を祈り江戸後期(1857年頃)建てられた。	米原	醒井
景観	兜黛山山頂	醒井と多和田の境	列石がある(古城跡)・醒井区を一望できる。	米原	醒井
自然遺産	了徳寺のオハツキイチョウ	醒井了徳寺境内	葉の上に銀杏の生じたものがあり、昭和4年、国の天然記念物指定。	米原	醒井
その他	醒井三水四石	醒井	居醒の清水、西行水、十王水、日本武尊御腰掛石、御鞍懸石、影向石、蟹石。	米原	醒井
人物	日本武尊	醒井	伊吹山で熱病となり居醒の清水で癒された。	米原	醒井
彫刻	日本武尊		像が三体ある(ブロンズ、石膏、木彫)。	米原	醒井
行事・祭礼	天神祭		毎年1月6月9月の25日(現在はその後土曜日)。昔は小学生の男子が祭りを取り仕切ったが現在は少子化のため小学生の男女ともが取り仕切り、親も協力する。	米原	枝折
民謡	雨乞い歌、雨乞い御礼歌(ふり歌)		歌詞は残されているが継承されていない。	米原	枝折
伝承	枝折の由来		「賤が男の情けは深き谷間にも手折る枝折は我がためぞかし」。	米原	枝折
自然遺産	天神水の湧き水		霊仙山系の伏流水。地区の生活用水、農業用水。「未来に伝えたいまいばらの水」に選定。	米原	枝折
遺跡	枝折城跡(土肥城)	宇造座	土肥氏居城(詰城) 看板を修理希望。	米原	枝折
彫刻	善覚寺の欄間の彫刻		名工・山口小三郎の制作。	米原	枝折
彫刻	林蔵寺の仏像		米原市指定文化財(室町時代のもの)。	米原	枝折
彫刻	丹生川地藏尊の地藏さん		100年前の川掃除の時に鍬先に五体の地藏がかかる。	米原	枝折
彫刻	枝折地藏さんの仏像	枝折	1823年頃のものか。	米原	枝折
景観	枝折公民館あたりからみる霊仙山と阿弥陀岳		阿弥陀岳はお仏飯をもったような形をしており、古来、「おぶくさん山」として親しまれる。	米原	枝折
自然遺産	天神水に棲むハリヨ		絶滅危惧種。	米原	枝折
自然遺産	八幡神社のご神木		樹齢400～500年の杉。高さ30数m。災害防止のため一部伐採。	米原	枝折
人物	山口小三郎(守重)		江戸末期の彫刻師。「こさ彫り」として知る人ぞ知る。特に龍の彫物はすばらしい。善覚寺(枝折)、宝福寺(箕浦)、仏光寺山門(京都市)、垂井町の山車(大垣市)等作品多数。	米原	枝折
行事・祭礼	流星(県無形民俗文化財)		枝折に火薬庫があり、中山道の地域に伝承する。「流星」の作り方は口伝。	米原	枝折
行事・祭礼	平林神社 春祭・秋祭・春神輿巡行		由緒不明。江戸末期の文書に「八幡宮」として崇敬されたとある。当社に「平林神社歳時記」あり。	米原	下丹生
行事・祭礼	霊仙祭、霊山神社参拝登山		龍神信仰、雨乞い行事。霊仙山頂付近の霊山神社へ毎年10月登拝と祭りがある。	米原	下丹生
行事・祭礼	万燈祭		毎年10月、平林神社にて霊仙祭りとともに行う。	米原	下丹生
行事・祭礼	善仁寺報恩講		浄土真宗仏教行事。	米原	下丹生
伝承	霊仙山での雨乞い伝承	霊仙山の北霊仙	霊仙山の霊山神社にある「お池」の龍神信仰による干ばつ時の雨乞い。	米原	下丹生
伝承	霊仙山での台風警戒の伝承	霊仙山の北山嶺	霊仙山北山嶺の「経が平」を風神として守護してきた。	米原	下丹生
食	たたきゴボウ(赤い唐辛子をまぶした)・山盛りの三合飯	下丹生坂口	坂口組の総会(惣寄)や重要な行事の際などに振る舞われた特別な料理。今はない。	米原	下丹生
遺跡	下丹生古墳	善仁寺付近	6世紀後半の円墳。息長丹生真人一族の墳墓と考えられている。	米原	下丹生
建造物	平林神社本殿		主祭神:神武天皇、配祀神:天照大神・大山咋命 古くは「八幡宮」。	米原	下丹生

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
石造物	松尾寺への道標	県道沿い	山田直之氏宅の北。	米原	下丹生
石造物	松尾寺参詣道丁石	坂口から松尾寺への参詣道	中世末期の6基と昭和初年の12基。	米原	下丹生
古文書	善仁寺文書 85通		元禄年間～昭和年間。	米原	下丹生
古文書	平林神社文書(山入札関係)20点		大正時代の山入札関係の書類。	米原	下丹生
古文書	下丹生区蔵「御物成皆済達書」41通		慶応元年～明治初年。	米原	下丹生
自然遺産	松尾寺山の一本杉	坂口から松尾寺への参詣道の途中	周囲約6mの杉の巨木。根元に6体の地藏さんが埋蔵との逸話あり。	米原	下丹生
自然遺産	松尾寺山の夫婦杉	下丹生の後谷	弘法大師が松尾寺参詣の折、箸を2本並べて刺したものが大樹になったという逸話。	米原	下丹生
人物	彫刻家 故 山口栄太郎氏	下丹生	多賀大社の白馬像、安土駅前の織田信長像、日野の蒲生氏郷像、高知城の山内一豊・千代像を制作。	米原	下丹生
行事・祭礼	子供神輿 毎年5月3日、9月15日	上丹生	1969年から。祭神天照大神の例祭日。	米原	上丹生
行事・祭礼	地藏盆 8月24日25日	上丹生	区内9カ所の地藏堂前に屋台を組み灯明、提灯をともし時節の産物や菓子を供えた。	米原	上丹生
自然遺産	いぼとり地藏	上丹生	この湧き水を飲むといぼが取れたという逸話があり、今もこの水を持ち帰る人がいる。	米原	上丹生
建造物	神明神社	上丹生	越智泰澄の開基、霊仙山の鎮守、弘仁2年(811)再興。	米原	上丹生
建造物	法性山成光寺	上丹生	寛永18年(1641)8月21日に現名称に。現在の建物は弘化3年(1846)に改築。門徒は上出、□の木、中村、いじり、甲子、5割で100戸あまり。	米原	上丹生
建造物	鷲頂山聞信寺	上丹生	慶長年間(1596～1614)に誓が再建、天保12年(1841)出火類焼、現在の建物は不明。門徒は西出、堂前、2割で40戸あまり。	米原	上丹生
彫刻	木像阿弥陀如来立像	法性山成光寺	平安未作。市指定文化財。	米原	上丹生
自然遺産	漆が滝	丹生川源流	高さ12m余り、二段に落ちる滝。付近に漆の木が多いことから命名。上丹生神明神社から丹生川上流へ約4km。	米原	上丹生
自然遺産	屏風岩	丹生川上流	上丹生神明神社から丹生川上流へ約1.5km。	米原	上丹生
自然遺産	クマタカ	屏風岩付近	渡り鳥、毎年5月6月頃見かける、産卵のため。	米原	上丹生
自然遺産	ニホンカモシカ		冬場上丹生里付近で見かける。	米原	上丹生
自然遺産	ハリヨ	醒井養鱒場	純粋ハリヨ。	米原	上丹生
人物	森曲水	上丹生	工芸に発展と後輩の育成に努め幾多の功績あり。大正5年11月19日52歳で死去。名古屋大須観音堂、越前永平寺、東京東本願寺の欄間彫刻。明治36(1903)の勲業博覧会に木彫「龍の蛙股」出品褒状受ける。	米原	上丹生
その他	木彫りの里		彫刻工芸が徳川の中期からはじまる。19世紀初め、上田勇助と川口七右衛門が京都に彫刻修行に行きその後特に発展。2本の木彫のわざと紋様を今に伝える集落。	米原	上丹生
その他	仏壇づくりの里		世に「丹生檀」といわれるほど仏壇の分工者が居りその製作に従事する。明治中期、上丹生彫刻の創始者二代目が仏壇の彫り物を手がけたことに始まる。	米原	上丹生

参考資料

【近江地域】

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区
古文書	多和田村検地帳	多和田区蔵	1679年(延宝7) 区史より。	近江 多和田
古文書	多和田村指出帳		1726年(享保11) 区史より。	近江 多和田
古文書	多和田村名寄帳		1858年(安政5) 区史より。	近江 多和田
古文書	坂田郡之内田和田村掟条々	龍潭寺蔵	1596年(文禄5) 区史より。	近江 多和田
歴史資料	地籍図		1875年(明治8) 区史より。	近江 多和田
歴史資料	地券		1877年(明治10) 区史より。	近江 多和田
建造物	旧多和田拓識学校		1882(明治15) 区史より。	近江 多和田
建造物	多和田公会堂		1935(昭和10) 区史より。	近江 多和田
建造物	多和田会館(林業会館)		1981(昭和56) 区史より。	近江 多和田
建造物	たわだ保育所		1961(昭和36) 区史より。	近江 多和田
建造物	大宝神社		区史より。	近江 多和田
建造物	一念寺		区史より。	近江 多和田
建造物	即往寺		区史より。	近江 多和田
建造物	崇徳寺		区史より。	近江 多和田
建造物	長源寺		区史より。	近江 多和田
建造物	永立寺		区史より。	近江 多和田
遺跡	聖谷遺跡		弘法大師が留錫した伝説、多数の寺院有との伝承、区史より。	近江 多和田
歴史資料	墓地図		1873年(明治6) 区史より。	近江 多和田
建造物	地藏堂		区史より。	近江 多和田
建造物	多和田観音堂		木造観音菩薩を安置 区史より。	近江 多和田
歴史資料	古道地図		1846年(弘化3) 区史より。	近江 多和田
古文書	諸製造営業御鑑札簿		1880年(明治13) 区史より。	近江 多和田
歴史資料	明治初期の村絵図		1875年(明治8) 区史より。	近江 多和田
歴史資料	多和田全図		1874(明治7) 区史より。	近江 多和田
建造物	不動堰堤		区史より。	近江 多和田
建造物	菅谷堰堤		区史より。	近江 多和田
その他	真綿の製造			近江 多和田
建造物	日光寺			近江 日光寺
建造物	北野神社			近江 日光寺
食	あまんぼう		甘草し柿。	近江 日光寺
その他	方言			近江 寺倉
行事・祭礼	冠婚葬祭のあいさつ(口上)			近江 寺倉
遺跡	地頭山(寺倉山)城跡	寺倉山山頂		近江 寺倉
石碑	旭明学校(小学校)跡の石碑	寺倉		近江 寺倉
建造物	天野川の霞堤	寺倉区		近江 寺倉
景観	北陸自動車道法面の桜	寺倉区		近江 寺倉
景観	北陸自動車道下の通路の壁画	寺倉区		近江 寺倉
祭礼	5/5の祭礼	箕浦区		近江 箕浦
祭礼	地藏盆	箕浦区		近江 箕浦
建造物	八幡神社	箕浦区		近江 箕浦
建造物	市場	箕浦区		近江 箕浦
石造物	今井三代連記墓標	西円寺区		近江 西円寺
建造物	浄宗寺	西円寺区	大雄山。	近江 西円寺
建造物	西円寺	西円寺区	大雄山。	近江 西円寺
建造物	西円寺壁		彦根城の表御殿に使用された。	近江 西円寺
工芸品	西円寺火鉢		番場から米原の街道沿いで作られていた。	近江 西円寺
行事・祭礼	稻荷神社の初午祭			近江 岩脇
行事・祭礼	稻荷神社のお火焚き祭		秋祭り。	近江 岩脇
行事・祭礼	善光堂の彼岸会		春と秋の彼岸に法要を行う。	近江 岩脇
民謡	岩脇音頭方社中 雨乞歌	稻荷神社	「明治16年7月上旬頃より早魃発音頭社中」とある。	近江 岩脇
伝承	民話「蛇淵の主」			近江 岩脇
伝承	伝説「岩脇の荒神さん」			近江 岩脇

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区
民謡	仕事歌「まゆむき歌」			近江 岩脇
食	お講汁		報恩講の際に出す味噌汁。	近江 岩脇
食	アユの飴炊き			近江 岩脇
食	サツマイモのじく煮			近江 岩脇
食	イサザ豆			近江 岩脇
彫刻	岩屋善光堂の館と三尊石仏		米原市指定文化財。	近江 岩脇
遺跡	蒸気機関連避難壕		米原市指定文化財。	近江 岩脇
建造物	稻荷神社本殿			近江 岩脇
伝承	八幡神社		今は稲荷神社しかないが昔は八幡神社(今の荒神さん)があった。	近江 岩脇
伝承	護ねい寺跡		竹やぶの中に柱を置いていた石?しか残っていない。	近江 岩脇
名勝	旧明石家(現的場家)日本庭園			近江 岩脇
古文書	妙意もの語		江戸時代初期 長浜城博蔵。	近江 岩脇
絵画	釈迦涅槃図	岩脇区所蔵	1805年(文化2)。	近江 岩脇
絵画	古稀の影像		山村久八氏画。	近江 岩脇
古文書	綿剥屋中掟会帳	山脇源平商店蔵	1764年(宝暦14)。	近江 岩脇
景観	岩脇山(龍尾山・善光寺山)			近江 岩脇
景観	集落を流れる2条の水路	岩脇区		近江 岩脇
景観	天野川の堤防と竹藪	岩脇区		近江 岩脇
景観	寺院を中心とした集落風景	岩脇区		近江 岩脇
自然遺産	天野川と区内の水路の動植物		ホタルほか。	近江 岩脇
自然遺産	岩脇山の動植物		イワナシ、シュンラン、ヒトツバ等。	近江 岩脇
人物	明石道貞貞貞		医師 1845~。	近江 岩脇
人物	明石順三		記者・演劇活動 1889~1965。	近江 岩脇
人物	岩脇七衛門尉正秀		文化人。	近江 岩脇
人物	神田遇善		明徳寺住職 1851~1931。	近江 岩脇
その他	真綿製造	山脇源平商店		近江 岩脇
建造物	伊部家宅	飯地区	元酒造業。	近江 岩脇
景観	トトロ山の遠景		町おこし・地域活性化事業でおこなった。	近江 近江桜が丘
行事・祭礼	おこない神事	湯坪神社		近江 高溝
行事・祭礼	春秋大祭	湯坪神社		近江 高溝
行事・祭礼	灯明祭	湯坪神社		近江 高溝
行事・祭礼	新嘗祭・祈年祭	湯坪神社		近江 高溝
行事・祭礼	牛肉を食べない村			近江 高溝
伝承	後鳥羽上皇の爪塚			近江 高溝
伝承	土川の藪の大蛇伝説			近江 高溝
伝承	蓮池に法勝寺の釣り鐘が埋没している言い伝え			近江 高溝
伝承	明治29年の大洪水の体験談			近江 高溝
伝承	明治42年の姉川地震の体験談			近江 高溝
伝承	明治20年頃のコレラの流行(コレラ藪)			近江 高溝
食	豆腐の田楽			近江 高溝
食	イトコ煮(遺徳煮)			近江 高溝
石碑	道標	来照寺境内	明治14年建立 舞々の辻から移設。	近江 高溝
石碑	田中孫作生誕地の石碑	嶋氏宅角		近江 高溝
石碑	白鳳時代法勝寺跡の石碑	地藏畑地		近江 高溝
名勝	来照寺庭園	来照寺境内		近江 高溝
遺跡	法勝寺跡礎石	湯坪神社境内		近江 高溝
工芸品	絵馬	湯坪神社蔵	狩野秀信筆。	近江 高溝
絵画	六曲一双屏風	湯坪神社蔵		近江 高溝
歴史資料	地籍図	自治会館	明治6年作図。	近江 高溝
工芸品	鎧・兜(2領)	湯坪神社	後関家伝来。	近江 高溝
歴史資料	湯坪神社棟札	湯坪神社		近江 高溝
絵画	牛頭天王社縁起	湯坪神社		近江 高溝
古文書	明治30年社殿改築之目録	湯坪神社		近江 高溝
工芸品	大太鼓	湯坪神社		近江 高溝

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区
工芸品	鰐口	湯坪神社		近江 高溝
彫刻	阿弥陀如来立像	来照寺		近江 高溝
絵画	絵像 5種 8幅	来照寺		近江 高溝
景観	伊吹山の遠景	高溝区		近江 高溝
景観	日撫山の日の出と琵琶湖の落日	高溝区		近江 高溝
景観	高架水路	高溝区	ほ場整備時に撤去。	近江 高溝
自然遺産	鶴の飛来			近江 高溝
自然遺産	ニホンオオカミの生息			近江 高溝
自然遺産	ハルニレの大木	湯坪神社境内		近江 高溝
自然遺産	杉の大木	湯坪神社境内	伐採。	近江 高溝
自然遺産	コウノトリの飛来			近江 高溝
自然遺産	松の大木	本光寺境内	伐採。	近江 高溝
人物	田中孫作定重		山ノ内一豊の家臣。	近江 高溝
人物	狩野秀信		狩野派の絵師。	近江 高溝
人物	恵然		来照寺の学僧。	近江 高溝
人物	小野湖山の母		幕末の漢詩人・書家の母。	近江 高溝
人物	粕淵肇		華道(立花)の家元。	近江 高溝
特産品	籬			近江 高溝
特産品	高溝スモモ(ズバイモモ)			近江 高溝
特産品	干し柿(アマンボウ)			近江 高溝
特産品	真綿			近江 高溝
民具	唐箕			近江 高溝
行事・祭礼	日撫神社の祭礼		年間 11 回の祭礼。	近江 顔戸
行事・祭礼	日撫神社の角力踊り		秋祭り。	近江 顔戸
行事・祭礼	日撫神社の角力甚句			近江 顔戸
遺跡	下馬石	日撫神社	伝小野道風作。	近江 顔戸
遺跡	一の城	日撫山山頂		近江 顔戸
建造物	日撫の大鳥居		一の鳥居(1795年8月銘あり)。	近江 顔戸
歴史資料	祭礼図 三巻	日撫神社蔵	1722年。	近江 顔戸
景観	日撫山(朝妻山・顔戸山)からの風景			近江 顔戸
自然遺産	日撫山山頂の天神岩・夫婦岩・ばあさん岩・鏡岩			近江 顔戸
行事・祭礼	力競石	日撫神社	奉納角力の時に使用。	近江 顔戸
行事・祭礼	坂田神明宮五大祭			近江 宇賀野
行事・祭礼	地藏盆、おしょうらいさん			近江 宇賀野
行事・祭礼	道場			近江 宇賀野
行事・祭礼	まわり仏(平田同行)			近江 宇賀野
建造物	坂田神明宮		蹴り奴振りが有名。	近江 宇賀野
建造物	宇賀野神社本殿			近江 宇賀野
食	鮎ずし			近江 宇賀野
食	いとこ煮			近江 宇賀野
食	田楽			近江 宇賀野
石碑	「平和の願い」碑			近江 宇賀野
工芸品	坂田神明宮神宝			近江 宇賀野
絵図	歓喜光寺絵図	宇賀野	明応元年(1492)の火災で焼失、蓮成寺に写しあり。	近江 宇賀野
景観	宇賀野八景	宇賀野区		近江 宇賀野
景観?	坂田神明宮・境内・拝殿付近(パワースポット)	宇賀野区		近江 宇賀野
景観	浜のキャンプ場と松林	宇賀野区		近江 宇賀野
自然遺産	湧水	宇賀野区		近江 宇賀野
自然遺産	ホタル	寺川域	トントン橋近辺。	近江 宇賀野
自然遺産	鯉の遡上	びわだ川		近江 宇賀野
自然遺産	春の田起しの頃に飛来する野鳥			近江 宇賀野
人物	法秀院		山内一豊の母の墓地。	近江 宇賀野
人物	倭姫			近江 宇賀野
行事・祭礼	しめ縄づくり	坂田神明宮		近江 宇賀野

参考資料

遺産の種類	遺産の名称	所在地	備考	報告地区	
行事・祭礼	紫雲社（雅楽）	坂田神明宮		近江	宇賀野
行事・祭礼	神楽舞・巫女さん	坂田神明宮		近江	宇賀野
行事・祭礼	伝供児	坂田神明宮		近江	宇賀野
遺跡	北国街道			近江	飯
石碑	坂田神明道の道標	飯地先	享保 18 年 12 月建立。	近江	飯
遺跡	飯村の川越え		渡し場。	近江	飯
石碑	「やけずこまずのいむらの里」碑	飯地先		近江	飯
人物	山内一豊の妻 千代		若宮喜助友與の娘。	近江	飯
人物	嶋 左近			近江	飯
行事・祭礼	八幡神社の祭礼		元旦祭、春秋の例祭、大祓い祭等。	近江	飯
行事・祭礼	春日神社の祭礼		元旦祭、春秋の例祭、大祓い祭等。	近江	飯
その他	飯の地名			近江	飯
行事・祭礼	やけずこまずの飯村の里		江州音頭の前座として踊った一夜踊り。	近江	飯
建造物	八幡神社本殿			近江	飯
建造物	春日神社本殿			近江	飯
景観	ホタルの飛び交う道			近江	飯
人物	若宮氏		京極氏の家老。	近江	飯
その他	4 組の嶋仲間と外記仲間			近江	飯
昔話	どじょうの黄金島伝説			近江	飯
歴史資料	地籍図	いむら会館・個人		近江	飯
歴史資料	天野川治水絵図	個人		近江	飯
古文書	飯村資料（明治期）	個人	飯村小学校設立関連、国道・鉄道・堤防の移設の時の書類。	近江	飯
古文書	飯村 検地帳	個人	寛文 11 年。	近江	飯
歴史資料	隣郷との境資料	個人	石丸と岩脇との境界。	近江	飯
歴史資料	検見	個人	明和 5 年～慶応 3 年。	近江	飯
書跡	教如上人から御文	徳善寺		近江	飯
歴史資料	縁付き送り手形	個人	江戸時代後期～明治初期 約 200 枚。	近江	飯
考古資料	四神四獣鏡		塚の越古墳出土。	近江	新庄
行事・祭礼	巖神社の春と秋の祭礼	新庄区		近江	新庄
行事・祭礼	薬師堂のおこない行事	新庄区		近江	新庄
行事・祭礼	神輿	巖神社	山津照神社に預けてある？	近江	新庄
食	豆腐の田楽		報恩講の時に各寺で手作りした。	近江	新庄
食	鮎ずし作り		グループで樽に漬けている。	近江	新庄
景観	桜並木（天野川沿い）	新庄区		近江	新庄
景観	紫陽花ロード（日光寺川沿い）	新庄区		近江	新庄
遺跡	塚の越古墳	新庄小字塚ノ腰		近江	新庄
遺跡	殿城（箕浦城）跡	新庄小字城の内		近江	新庄
遺跡	定納古墳 附出土品			近江	新庄
人物	新庄駿河守基昭			近江	新庄
人物	堤獨庵（医者）			近江	新庄
人物	新庄村理右衛門		文化 9 年頃。	近江	新庄
人物	新庄村数右衛門		天保 8 年頃。	近江	新庄
自然遺産	紫雲英の種子			近江	新庄
その他	箆・吹の加工製品			近江	新庄
自然遺産	かなぼう	世継	村内の暮らしに欠かせない自噴井戸。	近江	世継

参考資料

(2) の地域で編集、発行した、書籍・地域誌・神社史・寺院史等については以下のよ
うな回答があった。

文献名	発行年	備考	報告地区	
次世代に伝えたい大野木のくらし	平成 22 年 12 月	区報おのおのぎ連載特集。	山東	大野木
区報おのおのぎ あゆみ 2 巻	平成 6 年から	現在も継続中。	山東	大野木
大野木村誌(未定稿)	明治 35 年	中川泉三(コピーあり)。	山東	大野木
佐々木京極氏と近江清瀧寺	昭和 60 年	西村清雄(すがお)著。	山東	清瀧
菅江の歴史一人々の暮らし 今と昔一		鋭意作成中。	山東	菅江
大鹿史	令和 2 年 12 月		山東	大鹿
雲林山東光院極楽寺記 (A5 版 9 頁)		S34 年に当時の修理担当世話方により刊行・配布。	山東	堂谷
大字長岡区史	1993(平成 5)	故・福井禮司氏。	山東	長岡
ふるさと長岡の昔を探る	1990(平成 2)年 2 月	個人の長岡の地誌、歴史、民俗史等の記録。	山東	長岡
写真で遺す山東町村々の歴史			山東	長岡
天野川源氏蛍の保護 70 年の歩み	1995 年 6 月 1 日	天野川源氏蛍を守る会。	山東	長岡
自彊団日誌(全五冊)		「市場自彊団」は明治 42 年 1 月 14 日に大字総会において結成された青年団体。平成 21 年 1 月廃止。	山東	市場
三島池の郷 池下物語	2018(平成 30)年	池下区史編纂委員会・池下区再発見プロジェクトチーム。	山東	池下
甲津原の顕教踊り	昭和 56 年 2 月	2019 年 6 月に再録増補。	伊吹	甲津原
DVD「水のふるさと奥伊吹-姉川ダム-」		企画：湖東ダム建設所。	伊吹	曲谷
DVD「曲谷のおこない」	平成 10～11 年	企画：滋賀県。	伊吹	曲谷
個人手記「曲谷の概要」		水長治。	伊吹	曲谷
個人手記「曲谷の思い出」		石崎徳則。	伊吹	曲谷
個人手記「つれづれ草」		木曾芳子。	伊吹	曲谷
字史 伊吹のあゆみ	平成 13 年 3 月 10 日	伊吹区事務局編集・伊吹親和会監修・垂井日之出印刷所印刷。	伊吹	伊吹
伊吹山	明治 38 年	中川泉三著。	伊吹	上野
伊吹山名勝記	大正 2 年	中川泉三著。	伊吹	上野
伊吹山案内	大正 8 年	中川泉三著。	伊吹	上野
上野ことば	昭和 58 年 5 月 28 日	冠婚葬祭等の挨拶を取りまとめたもの。	伊吹	上野
写真でふりかえる伊吹山物語-神の山とあゆむ上野人	平成 27 年 3 月 31 日	みんなが楽しい伊吹山プロジェクト。	伊吹	上野
勝居神社に関わる文化財	平成 17 年	杉澤文化財保存委員会。	伊吹	杉澤
温故創新クラブ活動記録		大澤勉氏製作 DVD。	伊吹	杉澤
鐵道敷地域 野取絵図帳 下			米原	梅ヶ原
山絵図帳	明治 19 年		米原	梅ヶ原
坂田郡梅ヶ原村		ほか文書名読み取りにくいもの 2 部。	米原	梅ヶ原
梅ヶ原村地引全図	明治 21 年		米原	梅ヶ原
梅ヶ原構図		巻物 20 巻以上。	米原	梅ヶ原
御勸章	1665 年(寛文 5)	9 冊 歴代門主が門徒へ向けて書いた手紙。	米原	下多良
年中行事(差定)書写本		1800～1839 年(天保 10)頃。	米原	下多良
親鸞聖人門侶交名帳		1740 年(元文 5)頃の写本。	米原	下多良
筑摩大神之紀	1567 年(永禄 10)	1813 年(文化 10)に再模写。	米原	筑摩
筑摩字誌	平成 14 年		米原	筑摩
犬上縣管轄第二十区戸籍之二・磯村	明治 5 年	コピー(私物)。	米原	磯
磯崎神社春例祭お渡りについて	平成 21 年	磯崎神社春例祭お渡り実行委員会。	米原	磯
常燈講名簿	平成 25 年～		米原	磯
常燈講決算書	平成 25 年～		米原	磯
常燈講布教題目	平成 7 年～		米原	磯
常燈講名簿関係	明治 13 年～		米原	磯
常燈講会計関係	明治 13 年～		米原	磯
常燈講 本山からのご文書	明治 7 年～		米原	磯
常燈講永代経関係	明治 34 年ほか		米原	磯
常燈講金貸付利子受取控え	明治 17 年ほか		米原	磯
焼場料受取帳	明治 27 年ほか		米原	磯
御開山見真大師	明治 39 年ほか		米原	磯
聖徳太子	昭和 39 年	1350 年報恩講。	米原	磯

参考資料

文献名	発行年	備考	報告地区	
手紙関係			米原	磯
近江国坂田郡門根村 地券惣繪圖	明治6年		米原	南三吉
田畑地券打	明治8年		米原	南三吉
醒井宿かわらばん	平成元年～平成19年	市川個人による編集。	米原	醒井
枝折の里		山口敏一氏が個人的に作成。	米原	枝折
平林神社歳時記		平林神社蔵。	米原	下丹生
近江国坂田郡下丹生村村誌		西川清 編集。	米原	下丹生
下丹生の事いろいろ			米原	下丹生
字誌上丹生	平成17年1月吉日	上丹生歴史編集委員会・上丹生の歴史を探る会。	米原	上丹生
木彫りの里、仏壇作りの里 上丹生	2000年10月30日	上丹生木彫組合。	米原	上丹生
真綿の里 多和田の歴史	平成25年	真綿の里 歴史年表作成委員会編。	近江	多和田
ふるさと寺倉	平成16年		近江	寺倉
ふる里西門寺 随感録	平成17年	松岡豊秋編集。	近江	西門寺
(仮) 岩脇区史		2022年以降刊行予定。	近江	岩脇
白鳳の里 たかみぞ	平成15年	高溝口マンの里編集委員会。	近江	高溝
田中孫作の里 高溝	平成18年	高溝田中孫作会。	近江	高溝
一豊と千代そして法秀院	平成18年	「功名が辻」実行委員会歴史文化部会。	近江	高溝
ふるさとごうど 大鳥居に寺五ヶ寺	平成11年	顔戸郷づくり実行委員会。	近江	顔戸
湧水の郷 宇賀野	平成24年	宇賀野櫛集委員会。	近江	宇賀野
ふるさと いむら	平成10年	飯郷づくり実行委員会編。	近江	飯

(3) の江戸もしくは明治時代以降の文献で、地域として大切に保管している文献資料については、以下のように各自治会から回答があった。

地区名	古文書の有無	所有場所	備考
山東 柏原	有	生頼家	若干の古文書。
山東 市場	有	市場会議所	
山東 池下	有	池下公民館および区長	
山東 堂谷	有	久志神社社務所収蔵庫、堂谷公民館	公的に保管管理され閲覧できる状況ではない。
山東 長岡	有		郷野文書。
山東 天満	有	自治会倉庫	天満太鼓踊り。
伊吹 曲谷	有	曲谷集会所、自治会長自宅等	
伊吹 大久保	有	大久保区公民館ロッカー	大久保区古文書。
伊吹 伊吹	有	伊吹生活改善センター(区有文書)	自治会館、神社の社務所等。
伊吹 上野	有	上野会館	
米原 梅ヶ原	有	梅ヶ原公民館	
米原 下多良	有	佛道寺	
米原 筑摩	有	筑摩神社	
米原 磯	有	常燈講役員	
米原 南三吉	有	南三吉区門根集会所内	
米原 醒井	有	自宅(個人所有)	
米原 枝折	有	八幡神社の社務所	「九所権現社紀」の頁。
米原 下丹生	有	下丹生集会所(保存歴史資料)保管ロッカー	
近江 多和田	有	自治会館(多和田会館)	
近江 寺倉	有	自治会館	
近江 西門寺	有	自治会・寺	
近江 岩脇	有	自治会館	
近江 高溝	有	自治会館・神社倉庫	
近江 顔戸	有	日撫神社社務所	
近江 飯	有	いむら会館・八幡神社・春日神社社務所	

参考資料

(4) の文化財や歴史・文化・自然遺産に関する自由回答で以下のような内容の回答があった。

<p>・磯山城遺跡が滋賀でも最古級であり（特に人骨と出土品）、浄水場の中には説明の看板があるが、区民運動場の横にあるので、浄水場ではなく道路の下のところ看板を接着してほしい。（区民の人も知らない人が多いし、磯山城遺跡をはじめ、磯崎神社、磯村に歴史の宝庫であるのに、啓発の意味もあり、事実を区民にも一般の人に認識してもらいたい。）</p>
<p>・地域の伝承話の中には科学的根拠のない迷信として片付けられてきたものがありますが、何らかの根拠付けがあると思います。例えば、川に向かってオンッコをしてはいけない。石垣に住む蛇は、その土地の主であるため殺してはいけない。亀虫が多く発生するとその年は寒い冬になる。など。立派な文化財よりも私たち庶民が歩んできた生活の知恵や歴史こそ伝えていく必要があると思います。</p>
<p>・今回の回答に際しては、前述の「ふるさと寺倉」をベースとし区民数名の方にも情報提供を依頼し、作成したものです。資料等は区の財産ですので、広く公開、持ち出す場合は区民の同意が必要です。今回提供したのに対し、更に調査等を実施する場合は事前に区内で了解を得る必要があるものもあります。その点、御理解下さい。</p>
<p>・今まで行政機関が組織的総合的に調査研究を行ったことはなかったと思います。文化財の管理や保存にとって不可欠な作業と存じますので、関係者の皆様のご努力に対し敬意を表したいと思います。現代社会の著しい進歩や変革とともに、残念ながら多くの遺産・遺物や文化財が姿を消していきます。そんな時代においてこのような企画をしていただけることは誠に時宜を得た行政であり、その成果を大いに期待する者のひとりです。さて米原市においてもそれぞれの集落で過疎化、高齢化の波が押し寄せています。それとともに空家が増加していることはさらに深刻な問題となっているようです。すなわち民家の荒廃、治安の問題等、また古民家の減少、庭をつぶして駐車場に改造、老朽化した門や土蔵の消滅、我々の祖先が築いてきた集落を形成する歴史的景観が年々変化している現状があります。その家の後継者がなくなればたちまちこうした課題に直面します。当区でも近年「蒸気機関車避難壕」および「岩屋善光堂」が米原市指定文化財に指定されました。そのため住民の認知度や理解度も向上し、郷土の文化財への関心が高まってきたと感じています。年々見学者も増加していることはその証だと思っております。米原市にはどの集落にもまだまだ豊かな農村風景とともにそれを形成する多くの文化財や集落の顔があります。今回の調査はそれらの保存と活用の第一歩になるよう期待しています。</p>
<p>・飯地区の元酒造業をされていた伊部家の門（民家の門としては最大級）が荒れるにまかせています。何とか救済の手はないのでしょうか。できれば文化財保護委員会や行政担当者の視察をお願いします。長い目で見ても米原市の財産・観光資源だと思っています。</p>
<p>・各地区の宮さんは歴史、文化等の宝庫です。重点的に調べられてはいかがでしょうか。</p>
<p>・地域おこしとしての案内看板の設置又は取り替えを進めて欲しい（例）米原～長浜間の要所に「北陸道」の由緒書きや案内する看板。</p>
<p>・自然いっぱい米原の景観・風景のおすすめスポットの紹介し、メディア媒体で訴求してほしい。（例）琵琶湖岸の田園と夕日の撮影スポット・JRの写真の撮影スポット。</p>
<p>・それぞれの地域の魅力を発信できるようなガイドブックのようなものがまとまるとよいかと思えます。</p>
<p>・インターネットで文化財が閲覧できるよう、インターネット上に「米原市博物館」を設置していただければ、文化伝承に役立つと思う。</p>
<p>・文化財の保全・保護については、私たち市民も気になっております。重要な建造物で人が住んでいない場合は特にリスクが大きく、落雷や放火で焼失したり、人や野生動物が荒らすこともあります。また、上平寺の京極氏館のように、歴史的価値に対する認識が乏しいと思われる人が破壊してしまうことが今後もあり得ます。最も可能性が高いのは、盗難のリスクです。仏像泥棒にご本尊や貴重な文化財を盗まれる心配は、無住の寺や、村落の一隅に安置されている場合には特に大きいと言えます。盗まれた仏像が海外で発見されても、屁理屈を申し立てて返還しないという報道もあります。重要文化財級の物を個々の寺や村落の収蔵庫に保管するのは、盗賊に便宜を与えているようなものです。消失の危険も少なくありません。できれば、市で一括して厳重に保管できればと思います。そのために新たな建物を用意するのは、市の予算規模から考えれば無理でしょう。しかし、空きができる庁舎の一部を改修して、防災・防犯設備を整えることで、比較的低コストで安全に保管できる場所を整えることができます。是非、ご一考ください。現在残っている物を今後も維持し続けることは極めて難しいことです。いつかは無くなってしまふ、ということをお前提に、それを画像データ（X線写真を含む）で残すことを急いでもらいたいと思います。この電子データは、市で保存するだけでなく、県や国のしかるべき場所にも保存することで、焼失・散逸のリスクを減らす必要があります。</p>
<p>・何でも同じであるが無くして分かる文化・自然遺産。無くなってからでは復興は無理ですから、区でもっと文化等々を考えなければならぬ。ついめんどろ等々に流されてしまうが今回のアンケートを答える為に山東昔ばなしを参考にしています。それらを基に古老と話をしても分からないとの事で残念でならない。リストアップした項目の全てが消えつつあり、何とかしたいなあ。区民、特に小中学生を集めて山東昔話をもとに読み聞かせ、古老の話し等の計画が必要と感じました。</p>
<p>・「ふるさと」を知ることの一つにふるさとの歴史を知ることがある。堂谷にも歴史的に意義深い建造物や史蹟が数多くあり、これらを後世に正しく伝える義務がある。しかしながら、現在ある公的な刊行物の中には、誤って伝えられているものもあり、修正が必要である。また資料不足のため、もっと明らかにさせたい事項も少なくない。現在、当区では郷土史に興味・関心を持つ有志が「堂谷地誌研究会」を組織し、様々な歴史的事案を一つ一つ複数の眼で調査・検証し、また新たな典拠を探りながらこれらの解釈を整理して後世に残し、伝える研究を進めている。こうした取り組みをふるさと創生への基盤づくりと捉え、自治会延いては市関係部署の後押しを願いたい。指導・助言、資料提供・助成等の支援が得られればありがたい。</p>
<p>・以前は「家業」といわれるような「なりわい」を多くの家が持っていましたが、ほとんど消滅しました。「老人サロン」で記憶を思い起してもらって地図にしたことがあります。又、地域に「小字名」「通称名（地域の呼び名）」がありましたが、近年ほとんど忘れられています。また、冠婚葬祭の習慣も大きく変わり民俗的な記録に残す必要を感じています。「生活文化」という意味で大切なのではないかと考えます。（個人的には能力的に困難です）</p>
<p>・米原市は全国的にもまれな虫保護条例を定めている。しかし、日常の虫生息地に対する、自然保護観察、管理の担当部署が不明のように思われます。少し整理する時期に来ていると思われます。</p>
<p>・各地区の古文書が保管できるように市で施設等をつくり保管していただけるとありがたい。</p>
<p>・当自治会の場合、平成31年から市の地域創造支援事業の補助を受け、「池下区再発見プロジェクトチーム」を立ち上げ、3年計画で区史の発刊、講演会・シンポジウムの開催、池下遺産ウォーキング、三島池伝説の紙芝居制作、石柱・石碑の建立、広報紙の発行等に取り組んできました。このことにより、池下区への誇りと愛郷心の醸成が図れた。あわせて市内外への情報発信をすることが出来、地域の文化財、歴史文化の磨き上げにつながったと確信している。今後とも市がこれらの事業を支援することで底上げが図れると思う。なお、当自治会では事業終了後も月1回、区史編集委員会から広報紙を発行、全世界に配布すると共に、山東図書館で一般の閲覧に供している。</p>
<p>・行事・祭礼は担い手不足が深刻で、年々簡略化しているが、それでも継続が困難になってきている。</p>
<p>・神社・寺院建築・貴重な山野草等の保存管理について、減少いじめるしい住民の努力のみでは困難な状況にある。地域活性化のために、努めている蕎麦屋（久次郎）、キャンプ場（姉川パーク）の持続的な発展を期待している。神社と三寺院は信仰のみでなく、地域の文化財として大切に護持したい。</p>

- そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
3. 文化財の現在の状況についてきちんと記録したいと思いますか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

4. 市などに寄贈・寄託したいと思いますか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

IV. 文化財のこれからの活用に関する意向についてお聞きします。

1. 現在よりも、もっと積極的に活用していきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

2. 観光などで訪れる地域内外の見学者に対して積極的に公開、対応していきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

3. 地域の方々や子ども達に積極的に伝えていきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

4. 地域のまちづくり活動等に積極的に活用していきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

5. 地域内外に対してもっと積極的に情報発信していきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

6. 学術的な研究に協力していきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

7. 他の文化財等の地域資源と連携していきたいと思いませんか？

そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

IV. その他、文化財の保存活用に関して、積極的に取り組んでいきたいことや要望等をお書きください。（自由回答）

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

ii) 指定文化財等所有者（管理者）：民俗文化財等向けのアンケート

1. 所有・管理されている文化財を教えてください。

- ・文化財の名称
- ・所在地（住所）
- ・ご記入者
- ・所属・役職
- ・ご連絡先

下記の質問について、最もあてはまる項目に印（✓または○）をつけてください。

I. 文化財の保存・活用に関する現在の状況についてお聞かせください。

1. 文化財指定後の状況について教えてください。
 - 全く変化していない やや変化（簡素化）した かなり変化（簡素化）した
 - 休止中 その他
2. 見学希望者等への対応は行っていますか？
 - 積極的に行っている 問合せ等があれば行っている 行っていない
 - その他
3. 保存会等の構成を教えてください（複数回答可）。
 - 氏子または檀家 区民 講 有志 外部の協力者 その他（ ）
4. 保存会等の世代ごとの人数を教えてください。
 - 10代以下（ ）名 20代（ ）名 30代（ ）名 40代（ ）名
 - 50代（ ）名 60代（ ）名 70代（ ）名 80代以上（ ）名
 - 合計（ ）名

II. 保存に関する現在の課題についてお聞きします。

1. 文化財の保存・継承に関して困難や不安を感じることがありますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
2. 日常的な手間（道具や衣装の管理等）が課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
3. 実施するための費用の負担が課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
4. 担い手（後継者）の確保が課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
5. 次世代への伝承方法が課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
6. 道具等の老朽化への対策（修繕等）が課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
7. 見学者希望者等への対応（案内や情報提供など）が課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
8. 文化財に対する理解が十分ではないことが課題と感じていますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他

III. 文化財のこれからの保存に関する意向についてお聞きします。

1. 現在と変わらず保存・継承していく予定ですか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
2. 専門家などの地域外の方々の協力のもと実施体制を強化する必要があると思いますか？
 - そう思う やや思う あまり思わない まったく思わない その他
3. 現在の状況についてきちんと記録したいと思いますか？

- ・文化財等の保全（草刈等）
- ・歴史的な街並の保全
- ・清掃活動への参加
- ・文化財もある里山の保全
- ・動植物の保全
- ・郷土芸能の伝承活動
- ・社寺の行事の伝承活動
- ・地域の食文化の伝承
- ・歴史的建造物の活用
- ・空家や古民家の活用
- ・古文書(こもんじょ)などを利用した歴史研究
- ・情報発信（広報紙・SNS等）
- ・自治会史等の作成
- ・案内ガイドや昔がたり
- ・ワークショップの開催
- ・ふるさとウォークの開催
- ・自然風景や文化財の写真コンテスト
- ・文化財とアートとの融合
- ・想いで風景や民具の展示を通じた認知症予防対策
- ・文化的景観の活用
- ・その他（)

4. 文化財保護のため、行政・地域・学校は何をしていくべきだと思いますか。（該当するものに○/複数可）

- ・維持管理
- ・情報発信
- ・財政支援
- ・修理、補修
- ・歴史資料展示施設等の整備
- ・調査、報告書の作成、公表
- ・防火、防災対策
- ・伝統芸能等の体験教室
- ・講演会、シンポジウム
- ・後継者の育成
- ・案内板の整備
- ・ボランティアの活用
- ・郷土芸能の再興
- ・文化財講座、イベントの開催
- ・授業等による児童、生徒への継承
- ・清掃などの直接触れる体験活動
- ・歴史資料の見学・ツアー
- ・その他（)

5. 最後に、文化財の保存活用に関して要望やアイデアなどがありましたら、ご自由にお書きください。

○アンケートは以上で終了です。

よろしければ、記入いただいた方のお名前とご連絡先を教えてください。

- ・お名前
- ・ご連絡先（電話・Email など)

(2) 第2回アンケートの実施結果

i) 指定文化財等所有者(管理者):有形文化財向けのアンケート結果

I 文化財の現在の状況についてお聞かせください

1. 文化財の状態について教えてください。

i 良好	50 (48%)
ii 軽微な老朽化・毀損有	30 (29%)
iii 修復を要する老朽化・毀損有	22 (21%)
iv 滅失	0
v その他	1
vi 無回答	1

2. 文化財の保管状況について教えてください

i 屋外	35 (34%)
ii 屋内(公開)	26 (25%)
iii 屋内(倉庫等に収蔵)	28 (27%)
iv 寄託	13 (13%)
v その他	2
vi 無回答	0

3. 文化財の公開状況について教えてください

i 一般公開	28 (27%)
ii 一般公開(有料)	13 (13%)
iii 期間を決めて限定公開	10 (10%)
iv 問い合わせがあれば公開	16 (15%)
v 非公開	24 (23%)
vi その他	4
vii 無回答	9

4. 文化財の保存・活用に関して地域の方々の関わりはありますか

i とてもある	22 (21%)
ii ややある	20 (19%)
iii あまりない	18 (17%)
iv 全くない	27 (26%)
v その他	1
vi 無回答	16

◆自由回答

- ・虫喰いやネズミの被害が心配である(彫刻)
- ・倒木の除去や獣害対策が必要である(名勝)
- ・気軽に相談できる環境が欲しい
- ・盗難の心配がある

- ・所有者が県外在住で、連絡がなかなか取れない
- ・老朽化が進んでおり、台風等による損傷が心配である（記念物）
- ・周辺環境の維持が困難になってきている（記念物）
- ・盗難と自然災害への対応を強化してほしい（彫刻）
- ・風化が著しいので対策をとってほしい（石造物）
- ・燻蒸等の適切な管理をお願いしたい（彫刻）
- ・枝払い等の補助金がほしい（記念物）
- ・所有者の高齢化が進み、世代交代した場合、立ち入りさえできなくなるおそれがある。
- ・公有地化してほしい（史跡）
- ・老朽化が著しい（建造物）
- ・応急的な措置を施しているが、抜本的な解決になっていない（建造物）
- ・環境整備のための費用がかさんでいる（史跡）
- ・保管庫や道具の劣化が著しい（有形民俗）
- ・保全活動を紹介する施設が欲しい（記念物）
- ・見学ルートの整備をお願いしたい（史跡）

II 文化財を保存する上で現在の課題についてお聞きします

1 文化財の保存に関して困難や不安を感じることがありますか。

i	そう感じる	39 (38%)
ii	やや感じる	30 (29%)
iii	あまり感じない	13 (13%)
iv	全く感じない	6 (6%)
v	その他	0
vi	無回答	16

2 保存にかかわる日常的な手間（清掃や点検等）が課題とありますか。

i	そう感じる	31 (30%)
ii	やや感じる	26 (25%)
iii	あまり感じない	24 (23%)
iv	全く感じない	6 (6%)
v	その他	0
vi	無回答	17

3 保存にかかる費用の負担が課題とありますか。

i	そう思う	36 (35%)
ii	やや思う	23 (22%)
iii	あまり思わない	19 (18%)
iv	全く思わない	10 (10%)
v	その他	0

- | | | |
|----|-----|----|
| vi | 無回答 | 16 |
|----|-----|----|
- 4 保存の担い手（後継者）がいなくなってしまうことが課題といますか。
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 34 (33%) |
| ii | やや思う | 36 (35%) |
| iii | あまり思わない | 11 (11%) |
| iv | 全く思わない | 6 (6%) |
| v | その他 | 1 |
| vi | 無回答 | 16 |
- 5 自然災害や火災等に対する備えが課題といますか
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 42 (40%) |
| ii | やや思う | 25 (24%) |
| iii | あまり思わない | 17 (16%) |
| iv | 全く思わない | 3 (3%) |
| v | その他 | 1 |
| vi | 無回答 | 16 |
- 6 防犯に対する対策が課題といますか
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 28 (27%) |
| ii | やや思う | 26 (25%) |
| iii | あまり思わない | 24 (23%) |
| iv | 全く思わない | 9 (9%) |
| v | その他 | 1 |
| vi | 無回答 | 16 |
- 7 文化財の老朽化（保全・修繕）への対策が課題といますか。
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 41 (39%) |
| ii | やや思う | 24 (23%) |
| iii | あまり思わない | 18 (17%) |
| iv | 全く思わない | 4 (4%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 17 |
- 8 見学希望者等への対応（案内や情報提供など）が課題といますか。
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 16 (15%) |
| ii | やや思う | 22 (21%) |
| iii | あまり思わない | 34 (33%) |
| iv | 全く思わない | 15 (14%) |
| v | その他 | 1 |
| vi | 無回答 | 16 |
- 9 保存活用に関する専門的な知識が不足していることが課題といますか
- | | | |
|---|------|----------|
| i | そう思う | 21 (20%) |
|---|------|----------|

ii	やや思う	25 (24%)
iii	あまり思わない	34 (33%)
iv	全く思わない	4 (4%)
v	その他	1
vi	無回答	20

10 文化財の価値に対する評価が十分ではないことが課題と認めますか。

i	そう思う	18 (17%)
ii	やや思う	23 (22%)
iii	あまり思わない	34 (33%)
iv	全く思わない	10 (10%)
v	その他	0
vi	無回答	19

◆自由回答

- ・高齢化が著しく、継承が危ぶまれる（有形民俗）
- ・保管施設の老朽化が激しい（彫刻）
- ・保存し維持するためにはお金がかかる。収入する手段を増やしたい（名勝）
- ・環境維持のための経費がない（記念物）
- ・文化財の価値をしっかりと説明できる人材がいない
- ・災害等による損壊や経年劣化の修繕の必要がある（石造物）
- ・斜面地のため倒壊の心配がある（石造物）
- ・台風等により倒壊し、周辺に損害を与えないか心配である（記念物）
- ・管理する後継者がいない（史跡）
- ・維持することができない（石造物）
- ・案内板等の解説が欲しい（史跡）
- ・公開するためにも複製品が欲しい（書跡）
- ・文化財の価値を発信する施設がない（記念物）
- ・環境保全に力を入れてほしい（記念物・史跡）
- ・指定文化財の周辺の建造物等を修繕する費用が必要（工芸品）
- ・指定文化財の今後について相談する手立てがない（建造物）

III 文化財のこれからの保存に関する意向についてお聞きします。

1 現在と変わらず保存（管理）をしていこうと思う

i	そう思う	66 (63%)
ii	やや思う	14 (13%)
iii	あまり思わない	4 (4%)
iv	全く思わない	1 (1%)
v	その他	0

- vi 無回答 19
- 2 保存に関して、地域の方々や関係する文化財所有者の協力のもと体制を強化する必要があると思いますか。
- i そう思う 35 (34%)
- ii やや思う 24 (23%)
- iii あまり思わない 18 (17%)
- iv 全く思わない 8 (8%)
- v その他 0
- vi 無回答 19
- 3 保存に関して専門家の協力のもと、体制を強化する必要があると思いますか。
- i そう思う 37 (36%)
- ii やや思う 14 (13%)
- iii あまり思わない 24 (23%)
- iv 全く思わない 10 (10%)
- v その他 0
- vi 無回答 19
- 4 文化財の現在の状況についてきちんと記録したいと思いますか。
- i そう思う 32 (31%)
- ii やや思う 25 (24%)
- iii あまり思わない 22 (21%)
- iv 全く思わない 5 (5%)
- v その他 0
- vi 無回答 20
- 5 行政（県・市）へ寄贈したいと思いますか
- i そう思う 6 (6%)
- ii やや思う 22 (21%)
- iii あまり思わない 25 (24%)
- iv 全く思わない 30 (29%)
- v その他 1
- vi 無回答 20

◆自由回答

- ・景観維持のため補植等が必要で補助をしてほしい（記念物）
- ・地区だけでは維持管理費が捻出できない（彫刻）
- ・環境保全の費用を負担してほしい（記念物）
- ・市に展示・収蔵施設が欲しい⇒寄託できる（絵画等）
- ・風化を止めるために覆い屋等が必要（石造物）
- ・個人で維持管理するのは限界である（建造物）

- ・行政がもっと積極的に文化財の保存・継承に関わるべきではないか（建造物・記念物）
- ・利活用しやすいように改装する必要がある（建造物）
- ・文化財に対する意識が低くなっている（有形民俗）
- ・行政の方から積極的な支援（財政支援・アドバイス）をお願いしたい（史跡）
- ・維持管理費がかさむばかりである（建造物）
- ・火災・盗難が心配である（彫刻）
- ・登録の経緯等を含め、しっかりと文化財の価値を教えてほしい（建造物）
- ・代替わりしたら維持管理ができないと思う（建造物）

IV 文化財を活かしていくこと（活用）に関する意向についてお聞きします。

1 現在よりももっと積極的に活かしていきたいと思いませんか。

i	そう思う	28 (27%)
ii	やや思う	31 (30%)
iii	あまり思わない	18 (17%)
iv	全く思わない	9 (9%)
v	その他	0
vi	無回答	0

2 観光などで訪れる地域外の見学者に対して積極的に公開、対応していきたいと思いませんか。

i	そう思う	22 (21%)
ii	やや思う	29 (28%)
iii	あまり思わない	24 (23%)
iv	全く思わない	12 (12%)
v	その他	0
vi	無回答	0

3 地域の方々や子ども達に積極的に伝えていきたいと思いませんか。

i	そう思う	36 (35%)
ii	やや思う	27 (26%)
iii	あまり思わない	19 (18%)
iv	全く思わない	5 (5%)
v	その他	0
vi	無回答	0

4 地域のまちづくり活動等に積極的に活用していきたいと思いませんか。

i	そう思う	25 (24%)
ii	やや思う	16 (15%)
iii	あまり思わない	39 (38%)
iv	全く思わない	7 (7%)
v	その他	0

- | | | |
|----|-----|---|
| vi | 無回答 | 0 |
|----|-----|---|
- 5 地域内外に対してもっと積極的に情報発信していきたいと思いませんか。
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 21 (20%) |
| ii | やや思う | 35 (34%) |
| iii | あまり思わない | 21 (20%) |
| iv | 全く思わない | 9 (9%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |
- 6 学術的な研究に協力していきたいと思いませんか。
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 29 (28%) |
| ii | やや思う | 33 (32%) |
| iii | あまり思わない | 15 (14%) |
| iv | 全く思わない | 10 (10%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |
- 7 他の文化財等の地域資源と連携していきたいと思いませんか。
- | | | |
|-----|---------|----------|
| i | そう思う | 28 (27%) |
| ii | やや思う | 27 (26%) |
| iii | あまり思わない | 25 (24%) |
| iv | 全く思わない | 6 (6%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |

◆自由回答

- ・地域で有効活用できると良い（彫刻）
- ・地域の若年層にしっかりと文化財の価値をアピールしてほしい（彫刻）
- ・所有者・管理団体に対してしっかりと行政がバックアップをしてほしい（名勝）
- ・市で文化財収蔵庫ができれば寄託する（彫刻）
- ・周辺環境の維持の補助が必要（石造物）
- ・植物等の解説版が必要（記念物）
- ・文化財を活用するための人材の育成が必要（彫刻）
- ・活用とあわせて盗難対策をしっかりとしてほしい（彫刻）
- ・QRコードを利用した解説版を設置してほしい（建造物）
- ・見学者に対して安全対策をしっかりとしてほしい（石造物）
- ・風化が激しいので何とか維持したい（石造物）
- ・文化財を積極的に観光資源化するべきである（史跡）
- ・観光客に対して文化財の公開方法を検討するべき（史跡）
- ・環境整備に協力してもらえらるボランティアが必要では（史跡）

- ・高齢化が進み、今後、現体制を維持できるか不安である（有形民俗）
- ・活用していくことが保存につながる（史跡）
- ・正しい文化財の価値を説明できる人材が必要（史跡）
- ・継続的に行政の支援が受けられる仕組みが必要（名勝・建造物）
- ・維持していくのは個人では限界である（名勝）
- ・便益施設が不足している（史跡）
- ・積極的に文化財の情報発信をしてほしい（建造物）
- ・修繕計画等を建築士等の専門家と相談できる仕組みが欲しい（建造物）
- ・地域の人に文化財の価値を知ってほしい（建造物）

ii) 指定文化財等所有者（管理者）：民俗文化財等向けのアンケート結果

I 文化財現在の状況について教えてください

1 文化財指定後の状況について教えてください。

i 全く変化していない	4 (44%)
ii やや変化（簡素化）した	4 (44%)
iii かなり変化（簡素化）した	1 (12%)
iv 休止中	0
v その他	0
vi 無回答	0

2 見学希望者等への対応は行っていますか。

i 積極的に行っている	1 (12%)
ii 問い合わせがあれば行っている	7 (76%)
iii 行っていない	1 (12%)
iv その他	0
v 無回答	0

3 保存会等の構成を教えてください（複数回答可）

i 氏子または檀家	1
ii 区民	6
iii 講	0
iv 有志	4
v 外部の協力者	2
vi その他	0
vii 無回答	0

4 保存会等の世代ごとの人数を教えてください。

【中心世代】

10～30代	1 団体
40～50代	1 団体

60代から	6団体
不明	1団体

【総人数】

10名以下	2団体
11～30名	3団体
31～50名	3団体
51名～	1団体

◆自由回答

- ・コロナの影響もあり、行事が実施できなかった。今後の継承に不安がある
- ・後継者がいない
- ・基本を残しながら、今に合わせて変わるべきである
- ・地域の外の若い人の参加を促進しても良いのでは
- ・道具等の経年劣化が著しい
- ・指導者の高齢化が進んでいる
- ・今の価値観と合わないのではないか

II 保存に関する現在の課題についてお聞きします。

1 文化財の保存・継承に関して困難や不安を感じることがありますか。

i そう感じる	5 (55%)
ii やや感じる	3 (33%)
iii あまり感じない	1 (12%)
iv 全く感じない	0 (0%)
v その他	0
vi 無回答	0

2 日常的な手間（道具や衣装の管理等）が課題とありますか。

i そう思う	2 (23%)
ii やや思う	3 (33%)
iii あまり思わない	4 (44%)
iv 全く思わない	0 (0%)
v その他	0
vi 無回答	0

3 実施するための費用の負担が課題とありますか。

i そう思う	4 (44%)
ii やや思う	2 (23%)
iii あまり思わない	3 (33%)
iv 全く思わない	0 (0%)
v その他	0

- | | | |
|----|-----|---|
| vi | 無回答 | 0 |
|----|-----|---|
- 4 担い手（後継者）の確保が課題とと思いますか。
- | | | |
|-----|---------|---------|
| i | そう思う | 5 (55%) |
| ii | やや思う | 3 (33%) |
| iii | あまり思わない | 1 (12%) |
| iv | 全く思わない | 0 (0%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |
- 5 次世代への伝承方法が課題とと思いますか。
- | | | |
|-----|---------|---------|
| i | そう思う | 4 (44%) |
| ii | やや思う | 4 (44%) |
| iii | あまり思わない | 1 (12%) |
| iv | 全く思わない | 0 (0%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |
- 6 道具等の老朽化への対策（修繕等）が課題とと思いますか。
- | | | |
|-----|---------|---------|
| i | そう思う | 3 (33%) |
| ii | やや思う | 3 (33%) |
| iii | あまり思わない | 3 (33%) |
| iv | 全く思わない | 0 (0%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |
- 7 見学希望者等への対応（案内や情報提供など）が課題とと思いますか。
- | | | |
|-----|---------|---------|
| i | そう思う | 0 (0%) |
| ii | やや思う | 5 (55%) |
| iii | あまり思わない | 3 (33%) |
| iv | 全く思わない | 1 (12%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |
- 8 文化財に対する理解が十分でないことが課題とと思いますか。
- | | | |
|-----|---------|---------|
| i | そう思う | 0 (0%) |
| ii | やや思う | 5 (55%) |
| iii | あまり思わない | 4 (44%) |
| iv | 全く思わない | 0 (0%) |
| v | その他 | 0 |
| vi | 無回答 | 0 |

◆自由回答

- ・活動施設の老朽化が著しい
- ・後継者不足
- ・高齢化が著しい
- ・文化財の本質的な価値が地域にしっかりと根付いていないのではないか
- ・祭の道具類の維持管理の支援をお願いしたい
- ・多くの時間が割かれる
- ・コロナの影響で継承が止まっている

Ⅲ 文化財のこれからの保存に関する意向についてお聞きします。

1 現在と変わらず保存・継承していこうと思いますか。

i	そう思う	7 (77%)
ii	やや思う	2 (23%)
iii	あまり思わない	0 (0%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

2 保存に関して専門家の協力のもと、体制を強化する必要があると思いますか。

i	そう思う	3 (33%)
ii	やや思う	0 (0%)
iii	あまり思わない	6 (67%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

3 文化財の現在の状況についてきちんと記録したいと思いますか。

i	そう思う	2 (23%)
ii	やや思う	5 (55%)
iii	あまり思わない	2 (23%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

◆自由回答

- ・基本をしっかりと押さえて、今風に変えていくことも必要
- ・若年層（小学生）を巻き込んで活動を広げていきたい
- ・他の地域と積極的に交流して盛り上げたい
- ・披露する場を積極的に設けてほしい

Ⅳ 文化財を活かしていくこと（活用）に関する意向についてお聞きします。

1 現在よりももっと積極的に活かしていきたいと思いませんか。

i	そう思う	3 (33%)
ii	やや思う	3 (33%)
iii	あまり思わない	3 (33%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

2 観光などで訪れる地域外の見学者に対して積極的に公開、対応していきたいと思いませんか。

i	そう思う	3 (33%)
ii	やや思う	2 (22%)
iii	あまり思わない	4 (44%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

3 地域の方々や子ども達に積極的に伝えていきたいと思いませんか。

i	そう思う	6 (66%)
ii	やや思う	2 (22%)
iii	あまり思わない	1 (12%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

4 地域のまちづくり活動等に積極的に活用していきたいと思いませんか。

i	そう思う	4 (44%)
ii	やや思う	3 (33%)
iii	あまり思わない	2 (23%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

5 地域内外に対してもっと積極的に情報発信していきたいと思いませんか。

i	そう思う	3 (33%)
ii	やや思う	2 (22%)
iii	あまり思わない	4 (44%)
iv	全く思わない	0 (0%)
v	その他	0
vi	無回答	0

6 学術的な研究に協力していきたいと思いませんか。

i	そう思う	3 (33%)
---	------	---------

- ii やや思う 3 (33%)
- iii あまり思わない 3 (33%)
- iv 全く思わない 0 (0%)
- v その他 0
- vi 無回答 0

7 他の文化財等の地域資源と連携していきたいといますか。

- i そう思う 2 (23%)
- ii やや思う 3 (33%)
- iii あまり思わない 4 (44%)
- iv 全く思わない 0 (0%)
- v その他 0
- vi 無回答 0

◆自由回答

- ・役員等の負担が大きく、簡素化が必要である。
- ・魅力はあるので積極的に情報発信をしてほしい。
- ・衣装等が高額化している。
- ・地域の魅力として、継承していつてもらいたい。
- ・どのように活用するのが良いのか分からない。
- ・必要に応じて変化していくべき。

iii) 活用団体向けのアンケート結果

アンケートの結果を以下のようにまとめた。

施策		支援先			合計	
		行政	地域	学校		
財政支援		24	13	1	38	38
維持管理	維持管理	19	19	1	39	98
	修理補修	16	9	0	25	
	防火・防災	10	6	2	18	
	歴史資料等の展示施設の整備	10	2	4	16	
情報発信	情報発信	22	14	5	41	125
	案内板の整備	12	10	1	23	
	講演会・シンポジウム	8	3	2	13	
	文化財講座・イベントの開催	11	5	1	17	
	歴史資料の見学やツアーの実施	11	7	13	31	
調査	調査・報告書の作成・公表	6	2	1	9	9

施策		支援先			合計	
		行政	地域	学校		
育成	伝統芸能の体験教室	1	3	7	11	151
	後継者の育成	11	20	6	37	
	郷土芸能の再興	2	6	2	10	
	ボランティアの活用	8	10	9	27	
	授業等による児童・生徒への継承	10	6	34	50	
	清掃などの直接触れる体験活動	2	2	12	16	

◆自由回答

- ・コロナの影響で活動が中止となっている。
- ・会員の高齢化が心配である。
- ・他地域からの応援ができる仕組みがほしい。
- ・地域の団体と行政が定期的に顔を合わせて将来への展望を共有できる仕組みを整えてほしい。
- ・市が中心となってボランティア団体を作ってほしい。
- ・少子高齢化と社会的な価値観の変化からかかわりを持つ人材が減少してきている。
- ・地域と一緒に盛上げるイベントを増やしてほしい。
- ・自然環境・歴史文化遺産・食など活用できる資源がたくさんあると考える。地域を巻き込みながら発信してほしい。
- ・地域だけではなく、外との交流を通して地域を再発見できるようになってほしい。
- ・歴史的な拠点をつなげて、周遊ルートの提案・整備をお願いしたい。
- ・活動場所に関してもう少し交通の便の良いところを用意してほしい。
- ・民間事業者を巻き込んだ活動を展開してほしい。
- ・活動を支援してくれる仕組みがほしい。
- ・キーワードとして健康や高齢者×歴史遺産ような取組を展開してほしい。
- ・期間限定ではなく、継続的な活動の支援をお願いしたい。
- ・人口減少と高齢化に伴い、行事の簡素化を進めている。
- ・市外への発信を強化してもらいたい。
- ・後継者不足が深刻である。
- ・県・市を越えた広域の連携と首都圏や大阪などの大都市へのPRを強化してほしい。

米原市文化財保存活用地域計画

文化庁認定 令和5年（2023年）7月21日

発行年月日 令和5年（2023年）11月10日

発行・編集 米原市教育委員会事務局生涯学習課

〒521-8501 滋賀県米原市米原 1016 番地

TEL 0749-53-5154 FAX 0749-53-5129

編集・支援 公益財団法人滋賀県文化財保護協会

印刷 R I N R I E デザイン



令和2～5年度 文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)